
保健管理センター年報

第 27 号

(平成14年度)

岐阜大学保健管理センター

巻 頭 言

1. はじめに

日本の経済の停滞・落ち込みが続き健康保険本人の自己負担が3割となるなど、国民の健康維持・増進を図る上で経済的に厳しく成っています。一方世界に目を向けると、国連決議を経ない米英豪に依るイラク攻撃、新型肺炎の世界的流行が続き世界の政治、経済、健康への影響が懸念されています。このような状況のもとに、岐阜大学は例年のように3月には卒業生を送り出し、4月には新入生を迎え入れました。そして4月7日の入学式当日と8日の2日間をかけて全学の学生相談室員総出による新入生の全員面接が始まり、4月24、25日の特殊健診、4月16日から5月14日にかけて定期健康診断、その事後処理、7月29、30、31日の職員の健康診断、その事後処理としての個人に対する結果説明と日常活動は忙しく過ぎて行きます。

2. 保健管理センターの現状

保健管理センターの業務は言うまでも無く、学生及び教職員の健康の保持・増進です。学生の生活習慣の是正、学生相談等、教職員に対する産業医的業務、日常診療活動等、業務の質・量の増加とともにその重要性も増しています。その一方で、改善すべき点多々あります。保健管理センターは効率の悪い健康診断機関だと揶揄する人もあります。確かに現在実施されている健康診断項目には健診の1つの目的である早期発見、早期治療の面ではcost benefitの上からはその効果が否定されているものもあります。二十歳前後の学生は少々の生活習慣の乱れは多くの場合、健康診断項目に異常を来すことはありません。悪い生活習慣にも拘わらず健診結果が正常であると、その生活習慣が是正の必要がないものと勘違いされ、むしろ逆効果だと云う人さえいます。

然し現在行われている健康診断の大きな目的は早期発見・早期治療ではなく、健康教育です。現在死亡や入院等を有する重大な事象を来す疾患の多くは素因とともに若年期からの生活習慣が大きく関与する生活習慣病です。本学では医学部医師の協力のもとに健康診断当日の個人に対する健康指導とともに事後指導に於いて、きめ細かく指導するように努めています。その結果、全国的には肥満者と羸瘦者が増加し、“体重”の二極化が指摘されていますが、本学においては保健管理センター職員と関係各位のご協力により、肥満者と羸瘦者が減少し、所謂正常者が増加しているなどの多くの成果を上げています。現在健康診断の必須項目は法律で定められており、それに従って行われています。然し学生の健康診断には血圧測定が含まれていないなど問題点も少なくありません。本学では単に法律に基づいて義務として処理するのではなく、Evidenceに基づいて必要な項目を追加（血圧測定）したり、学生教職員の興味のある項目をオプションとして追加し、「楽しくてためになる健診」を目指しています。幸いなことに、本学では医学部口腔外科や工学部野方教室の全面的な協力の基に歯科健診、骨密度測定を実施しております。

日常診療活動は予算の関係もあり十分な事は出来ていませんが、医学部の第一、二、三内科のご協力

により各専門家の外来を週一回、皮膚科、婦人科、整形外科の相談日を月に一回設け、学生・教職員の健康に関する種々の問題について相談を受け、健康の維持・増進に勤めております。

3. 今後の問題

国立大学法案が可決され、岐阜大学も平成16年4月から国立大学法人化されます。従来大学の学部の改組などでは文部科学省の認可を必要とするなど、入り口において厳しい規制が行われて来ました。然し国立大学法人化以後は各大学である程度自由に改組することが許され、後ほど評価されることになりました。岐阜大学の保健管理センターは保健師・看護師の努力によってこの業界（大学保健管理研究会等）においてはそれなりの評価を受けています。然し今後は個々の大学においてそれぞれ大学独自で改組が可能になります。学内最小の機関である保健管理センターはややもすると知る人ぞ知るという施設に成りかねません。学内各層の皆さんに、保健管理センターの重要性と活動状況を十分にアピールすると共にご理解・ご支援を頂かなければ保健管理センターの業務は成立しません。今後とも皆様のご指導ご鞭撻と共にご叱正を宜しくお願い致します。

保健管理センター所長 後藤 紘司

平成15年8月末日

目 次

巻 頭 言

岐阜大学保健管理センター所長 後 藤 紘 司

I 平成14年度学生の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画	1
2. 定期健康診断	2
1) 定期健康診断受診率・年次推移	2
2) 検査項目別有所見率	8
3) 胸部X線撮影	10
4) 尿検査	11
5) 血圧測定	14
6) 内科診察	15
(1) 二次検査	16
(2) 高脂血症検査	17
7) 肥満・やせ二次検診	18
3. 復学者健康診断	23
4. 外国人留学生特別健康診断	24
5. 放射線取扱者特別健康診断	27
6. 新入学生健康調査面接とフォローアップ状況	29
7. 国家資格授与認可医療診察	29
8. 入学志願者(前・後期日程)に係る健康状況の確認について	30
9. 各種行事(岐大祭・入試等)救護	31
10. 疾病分類別要管理者内訳	32

II 平成14年度職員の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画	33
2. 一般定期健康診断	34
3. 特別定期健康診断等	36

III 平成14年度保健管理センター業務報告

1. 年間業務報告(関係行事)	37
2. 保健管理センター利用状況	39
3. 学生相談室活動状況	43

IV 研究・調査報告

1. 入学時UPI（及び下位分類）とBMI及びその後の推移について	45
2. 本学における健康診断時のBMI推移	47
3. 肥満健診の波及効果	50
4. BMI・血圧・生活習慣における日本人大学生と外国人留学生との比較について	53
5. 教職員の生活習慣調査の結果	56

V 教育・広報活動

1. エイズ講演会	61
2. タバコに関する講演会	61
3. 保健管理センター利用案内	62
4. 広報「岐大ひろば」への掲載	63

VI 保健管理センター規則等

1. 岐阜大学保健管理センター規則	65
2. 岐阜大学保健管理センター運営委員会規則	66
3. 岐阜大学保健管理センター学生相談室細則	68
4. 岐阜大学健康管理機構略図	69
5. 保健管理センター学生相談室員・学校医	70
6. 保健管理センター関係委員会及び関係職員	72
7. 保健管理センター位置図	73

I 平成14年度 学生の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画
2. 定期健康診断
3. 復学者健康診断
4. 外国人留学生特別健康診断
5. 放射線取扱者特別健康診断
6. 新入学生健康調査面接とフォローアップ状況
7. 国家資格授与認可医療診察
8. 入学志願者（前・後期日程）に係る健康状況の確認について
9. 各種行事（岐大祭・入試等）救護
10. 疾病分類別要管理者内訳

I 平成14年度 学生の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画

*印は新規事業

区 分		対 象 者	実 施 時 期	検 査 項 目	
健康調査 (UPI)	健康調査及び個人面接	全 員 面 接	新入生・編入生全員	4 / 7・8	健康調査カード (UPI) による粗面接
		二 次 面 接	要再面接者	6月下旬	精神科医等による再面接
定 期 健 康 診 断	定 期 健 康 診 断		学部、院、専攻科、 別科、研究生	4 / 17~5 / 15 3月	問診、内科診察、胸部間接撮影、 身体計測、体脂肪測定、視力測定、 血圧測定、尿検査 (蛋白・糖・潜 血)、歯科健康診断
			喫煙者		スモーカーライザーテスト
	定期健康診 断事後措置	肥 満	BMI25以上の工学部 の新入生 <small>半数</small> 経過観察者 BMI30以上一全学生	5月下旬~7月 10月~12月	問診、血液検査、保健指導
		や せ	BMI16.5以下 (既受診者で異常な しを除く)		問診、血液検査、保健指導
		胸部レントゲン	間接撮影有所見者		胸部直接撮影
		血 圧	最高血圧 <u>135以上</u> 最低血圧 <u>85以上</u>	5月下旬~7月	血圧測定、保健指導
		貧 血	内科診察有所見者	春の要経過観察 者 10月~12月	血液検査、保健指導
		不 整 脈 等			心電図検査、保健指導
		そ の 他			内科診察等
		尿 糖	尿糖陽性者		尿検査、血液検査、保健指導
尿 検 査 (蛋白・潜血)	尿蛋白・潜血陽性者		尿検査		
* 復 学 者 健 康 診 断		後期復学者	10月	定期健康診断に準じる	
特 別 健 康 診 断 等	放射線・R I取扱者健康診断		該当者	4月、10月、1月	問診、血液検査
	留 学 生 健 康 診 断 <small>平均27.8才</small>		該当者	11月	定期健康診断に準ずる (胸部直接撮影、血液検査を追加 実施)
	特別健康診 断事後措置	放射線・R I健診	有所見者	随時	血液検査、保健指導
		留学生健康診断	有所見者	12月	血液検査等、保健指導
臨 時 健 康 診 断		伝染病が発生した時に必要に応じて行う			
健康教育	講 演 会	学生・教職員	11月、1月	エイズ講演会 タバコ講演会	
そ の 他	入 試 救 護 ・ 健 康 調 査	該当者	センター入試、 前後期入試	入試時応急処置 入学志願者健康状態の確認	
	国家資格授与認可医療診察	医学部看護学科 農学部獣医学科	3月	問診、精神科医面接	
	応 急 処 置	学生、本学来訪者	通年	内科診察、処置、投薬、所内検査 等	

2. 定期健康診断

平成14年度 学生定期健康診断実施結果

定期健康診断は、本学に在籍する全学生（7,549人）を対象に実施した。14年度は、次年度卒業・終了予定者の早期健康診断を3月に4日間実施し、4月～5月までの12日間と合わせ延べ16日間実施し、6,092人（83.1%）が受診した。

年々低下する健康診断受診率の対策として、健康診断問診票を事前配布し実施日の広報活動を重点的に行い、受診者には「健康診断受診済証」を発行し、講義への出席に配慮するなどの優遇措置を行っている。14年度受診率は学部生85.7%（13年度85.9%）、研究科73.3%（13年度67.5%）と学部生受診率はわずかに減少した。今後も受診率上昇のために、健診時の担当教官等の協力、学務係等の協力は必須である。

1) 定期健康診断受診率・年次推移

A) 学年別推移

(単位 %)

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
1年	89.3	92.9	84.5	82.8	91.0	90.7	92.4
2年	77.5	72.2	70.0	68.3	71.7	84.5	78.6
3年	86.4	76.6	86.1	73.9	83.8	85.1	89.4
4年	88.2	83.4	80.4	83.1	82.5	82.4	82.7
5年	92.9	84.7	69.5	73.1	80.0	94.6	84.6
6年	98.3	95.5	98.0	90.2	99.1	99.0	92.2
学部全体	85.9	81.9	80.3	77.5	82.5	85.9	85.7

B) 学部別推移

(単位 %)

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
教育学部	93.6	91.4	89.5	90.7	91.5	94.5	95.9
地域科学部		97.3	88.8	81.5	85.8	87.9	89.9
医学部（医学科）	86.7	70.7	67.1	70.3	72.6	87.1	88.7
医学部（看護学科）						97.5	85.5
工学部（昼間）	81.9	78.3	78.3	74.0	81.1	82.2	82.1
工学部（夜間）	68.1	57.6	55.9	59.1	71.4	74.0	67.1
農学部	90.4	90.0	87.4	79.3	83.4	87.7	85.7
学部全体	85.9	81.9	80.3	77.5	82.5	85.9	85.7

平成14年度 学生定期健康診断受診状況

		学生数	休学・ 留学数	他機関 受診数	対象者数	受診者数	受診率
学 部	教育学部	1,156	13	0	1,143	1,096	95.9%
	地域科学部	464	14	1	449	403	89.8%
	医学部(医学科)	498	10	0	488	433	88.7%
	医学部(看護学科)	159	0	0	159	136	85.5%
	工学部(昼間)	2,424	28	0	2,396	1,968	82.1%
	工学部(夜間主)	353	11	5	337	226	67.1%
	農学部	940	21	0	919	788	85.7%
	計	5,994	97	6	5,891	5,050	85.7%
医療技術短期大学部		89	0	0	89	89	100.0%
大 学 院	教育学研究科	155	13	19	123	64	52.0%
	地域科学研究科	56	3	0	53	28	52.8%
	医学研究科	190	3	26	161	68	42.2%
	医学研究科(前期課程)	11	1	0	10	10	100.0%
	医学研究科(後期課程)	20	0	6	14	7	50.0%
	工学研究科(前期課程)	541	10	0	531	456	85.9%
	工学研究科(後期課程)	120	11	2	107	56	52.3%
	農学研究科	163	4	1	158	149	94.3%
	連合農学研究科	65	6	2	57	56	98.2%
	連合獣医学研究科	28	2	1	25	14	56.0%
	計	1,349	53	57	1,239	908	73.3%
特殊教育特別専攻科・農業別科		12	2	0	10	1	10.0%
研 究 生 等	教育学部	36			36	12	33.3%
	地域科学部	15			15	2	13.3%
	医学部						
	工学部	15			15	8	53.3%
	農学部	12			12	6	50.0%
	留学生センター	12			12	12	100.0%
	その他(研究科等)	15			15	4	26.7%
	計	105			105	44	41.9%
合計		7,549	152	63	7,334	6,092	83.1%

↑
2割(1200人)
再診

平成14年度 定期健康

学部名	学科名	1 年 次					2 年 次					3 年 次							
		学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率
教育学部	国語教育	20			20	20	100.0%	19			19	19	100.0%	19			19	18	94.7%
	社会科教育(史学)	9			9	9	100.0%	11			11	11	100.0%	10			10	10	100.0%
	社会科教育(地理学)	13			13	12	92.3%	10			10	10	100.0%	9			9	9	100.0%
	社会科教育(法律・経済学)	9			9	8	88.9%	9			9	9	100.0%	8			8	8	100.0%
	社会科教育(哲学)	9			9	9	100.0%	10			10	10	100.0%	9			9	8	88.9%
	数学教育	19			19	18	94.7%	16			16	16	100.0%	18			18	18	100.0%
	理科教育(物理学)	11			11	11	100.0%	10			10	10	100.0%	11	1		10	9	90.0%
	理科教育(化学)	11			11	11	100.0%	12	1		11	10	90.9%	11			11	11	100.0%
	理科教育(生物学)	11			11	11	100.0%	10			10	10	100.0%	11			11	10	90.9%
	理科教育(地学)	9			9	9	100.0%	11			11	10	90.9%	11			11	11	100.0%
	音楽教育	14			14	14	100.0%	14			14	14	100.0%	14			14	14	100.0%
	美術教育	13			13	13	100.0%	11			11	11	100.0%	11	1		10	10	100.0%
	保健体育	14			14	14	100.0%	15			15	15	100.0%	14			14	11	78.6%
	技術教育	11			11	11	100.0%	13			13	13	100.0%	14			14	14	100.0%
	家政教育	15			15	15	100.0%	13			13	13	100.0%	12			12	12	100.0%
	英語教育	17			17	16	94.1%	14			14	14	100.0%	20			20	20	100.0%
	障害児教育	18			18	18	100.0%	17			17	17	100.0%	17			17	17	100.0%
	学校教育(教育学)	7	1		6	6	100.0%	7			7	7	100.0%	7			7	7	100.0%
	学校教育(心理学)	6			6	6	100.0%	9			9	8	88.9%	8			8	8	100.0%
	生涯教育	10			10	10	100.0%	8			8	8	100.0%	9			9	9	100.0%
生涯教育課程	38			38	37	97.4%	38			38	37	97.4%	38			38	37	97.4%	
教育学部計	284	1	0	283	278	98.2%	277	1	0	276	272	98.6%	291	2	0	279	271	97.1%	
地域科学科	112			112	107	95.5%	108		1	107	86	80.4%	115	1		114	100	87.7%	
地域科学部計	112	0	0	112	107	95.5%	108	0	1	107	86	80.4%	115	1	0	114	100	87.7%	
医学部	医学科	82			82	81	98.8%	84	5		79	66	83.5%	85	1		84	78	92.9%
	看護学科	81			81	78	96.3%	78			78	58	74.4%						
	医学部計	163	0	0	163	159	97.5%	162	5	0	157	124	79.0%	85	1	0	84	78	92.9%
工学部(昼)	社会基盤工学科	60			60	57	95.0%												
	機械システム工学科	64			64	60	93.8%												
	応用化学科	58			58	50	86.2%												
	電気電子工学科	68			68	59	86.8%												
	生命工学科	62			62	56	90.3%												
	応用情報工学科	79			79	74	93.7%												
	機能材料工学科	61			61	52	85.2%												
	人間情報システム工学科	53			53	46	86.8%												
	数理デザイン工学科	45			45	39	86.7%												
	土木工学科*	2			2	2	100.0%	90			90	46	51.1%	106			106	83	78.3%
	機械システム工学科*							105			105	91	86.7%	122	2		120	101	84.2%
	応用精密化学科*	2			2		0.0%	99			99	75	75.8%	101	1		100	93	93.0%
	生命工学科*	1			1		0.0%	68			68	55	80.9%	57	1		56	51	91.1%
	電気電子工学科*	2			2		0.0%	86			86	58	67.4%	104			104	88	84.6%
	応用情報工学科*	1			1		0.0%	79			79	49	62.0%	89	1		88	80	90.9%
	土木工学科#																		
	機械工学科#																		
	応用化学科#																		
	電子情報工学科#																		
	工学部(昼)計	558	0	0	558	495	88.7%	527	0	0	527	374	71.0%	579	5	0	574	496	86.4%
工学部(夜)	社会基盤工学科	5			5	4	80.0%												
	機械システム工学科	6		1	5	3	60.0%												
	応用化学科	5			5	3	60.0%												
	電気電子工学科	6			6	4	66.7%												
	生命工学科	6			6	2	33.3%												
	応用情報工学科	6			6	5	83.3%												
	機能材料工学科	4			4	4	100.0%												
	人間情報システム工学科	6			6	5	83.3%												
	土木工学科*							21	1		20	18	90.0%	18			18	15	83.3%
	機械システム工学科*							21			21	13	61.9%	23	2		21	21	100.0%
	応用精密化学科*							22	1		21	11	52.4%	20			20	17	85.0%
	電気電子工学科*							11	1		10	7	70.0%	11			11	3	27.3%
	応用情報工学科*							12			12	7	58.3%	14	1		13	12	92.3%
	土木工学科#																		
	機械工学科#																		
	応用化学科#																		
	電子情報工学科#																		
	工学部(夜)計	44	0	1	43	30	69.8%	87	3	0	84	56	66.7%	86	0	3	83	68	81.9%
	農学部	生物資源生産学科	56			56	53	94.6%	56			56	53	94.6%	57	1		56	51
生物生産システム学科		59	1		58	52	89.7%	56	1		55	32	58.2%	57			57	47	82.5%
生物資源利用学科		56			56	54	96.4%	56			56	37	66.1%	61	1		60	54	90.0%
獣医学科		25			25	23	92.0%	26			26	22	84.6%	31			31	31	100.0%
農学部計		196	1	0	195	182	93.3%	194	1	0	193	144	74.6%	206	2	0	204	183	89.7%
学部生合計	1,367	2	1	1,354	1,251	92.4%	1,355	10	1	1,344	1,056	78.6%	1,352	11	3	1,338	1,196	89.4%	

診断学科別受診率

4 年 次					5 年 次					6 年 次					総 計								
学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率
18			18	18	100.0%													76	0	0	76	75	98.7%
11			11	10	90.9%													41	0	0	41	40	97.6%
13	1		12	10	83.3%													45	1	0	44	41	93.2%
12			12	10	83.3%													38	0	0	38	35	92.1%
13	1		12	4	33.3%													41	1	0	40	31	77.5%
19			19	18	94.7%													72	0	0	72	70	97.2%
8			8	7	87.5%													40	1	0	39	37	94.9%
7			7	4	57.1%													41	1	0	40	36	90.0%
14	2		12	12	100.0%													46	2	0	44	43	97.7%
12			12	10	83.3%													43	0	0	43	40	93.0%
17			17	15	88.2%													59	0	0	59	57	96.6%
17	1		16	14	87.5%													52	2	0	50	48	96.0%
18			18	14	77.8%													61	0	0	61	54	88.5%
14	1		13	13	100.0%													52	1	0	51	51	100.0%
13			13	13	100.0%													53	0	0	53	53	100.0%
22	2		20	21	105.0%													73	2	0	71	71	100.0%
19			19	19	100.0%													71	0	0	71	71	100.0%
8			8	7	87.5%													29	1	0	28	27	96.4%
6			6	6	100.0%													29	0	0	29	28	96.6%
13			13	12	92.3%													40	0	0	40	39	97.5%
40	1		39	38	97.4%													154	1	0	153	149	97.4%
314	9	0	305	275	90.2%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,156	13	0	1,143	1,096	95.9%
129	13		116	110	94.8%													464	14	1	449	403	89.8%
129	13	0	116	110	94.8%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	464	14	1	449	403	89.8%
82	2		80	60	75.0%	83	1		82	73	89.0%	82	1		81	75	92.6%	498	10	0	488	433	88.7%
																		159	0	0	159	136	85.5%
82	2	0	80	60	75.0%	83	1	0	82	73	89.0%	82	1	0	81	75	92.6%	657	10	0	647	569	87.9%
																		60	0	0	60	57	95.0%
																		64	0	0	64	60	93.8%
																		58	0	0	58	50	86.2%
																		68	0	0	68	59	86.8%
																		62	0	0	62	56	90.3%
																		79	0	0	79	74	93.7%
																		61	0	0	61	52	85.2%
																		53	0	0	53	46	86.8%
																		45	0	0	45	39	86.7%
132	1		131	118	90.1%													330	1	0	329	249	75.7%
158	3		155	128	82.6%													385	5	0	380	320	84.2%
131	2		129	110	85.3%													333	3	0	330	278	84.2%
64			64	58	90.6%													190	1	0	189	164	86.8%
118	3		115	93	80.9%													310	3	0	307	239	77.9%
120	4		116	85	73.3%													289	5	0	284	214	75.4%
6	1		5		0.0%													6	1	0	5	0	0.0%
3	1		2	1	50.0%													3	1	0	2	1	50.0%
9	3		6	3	50.0%													9	3	0	6	3	50.0%
19	5		14	7	50.0%													19	5	0	14	7	50.0%
760	23	0	737	603	81.8%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,424	28	0	2,396	1,968	82.1%
																		5	0	0	5	4	80.0%
																		6	0	1	5	3	60.0%
																		5	0	0	5	3	60.0%
																		6	0	0	6	4	66.7%
																		6	0	0	6	2	33.3%
																		6	0	0	6	5	83.3%
																		4	0	0	4	4	100.0%
																		6	0	0	6	5	83.3%
32		1	31	21	67.7%													71	1	1	69	54	78.3%
38	4		34	22	64.7%													82	4	2	76	56	73.7%
24	1		23	19	82.6%													66	2	0	64	47	73.4%
14			14	4	28.6%													36	1	0	35	14	40.0%
17			17	6	35.3%													43	0	1	42	25	59.5%
5	1		4		0.0%													5	1	0	4	0	0.0%
2			2		0.0%													2	0	0	2	0	0.0%
2	1		1		0.0%													2	1	0	1	0	0.0%
2	1		1		0.0%													2	1	0	1	0	0.0%
136	8	1	127	72	56.7%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353	11	5	337	226	67.1%
76	6		70	58	82.9%													245	7	0	238	215	90.3%
77	5		72	65	90.3%													249	7	0	242	196	81.0%
83	3		80	68	85.0%													256	4	0	252	213	84.5%
37	2		35	30	85.7%	35			35	26	74.3%	36	1		35	32	91.4%	190	3	0	187	164	87.7%
273	16	0	257	221	86.0%	35	0	0	35	26	74.3%	36	1	0	35	32	91.4%	940	21	0	919	788	85.7%
1,694	71	1	1,622	1,341	82.7%	118	1	0	117	99	84.6%	118	2	0	116	107	92.2%	5,994	97	6	5,891	5,050	85.7%

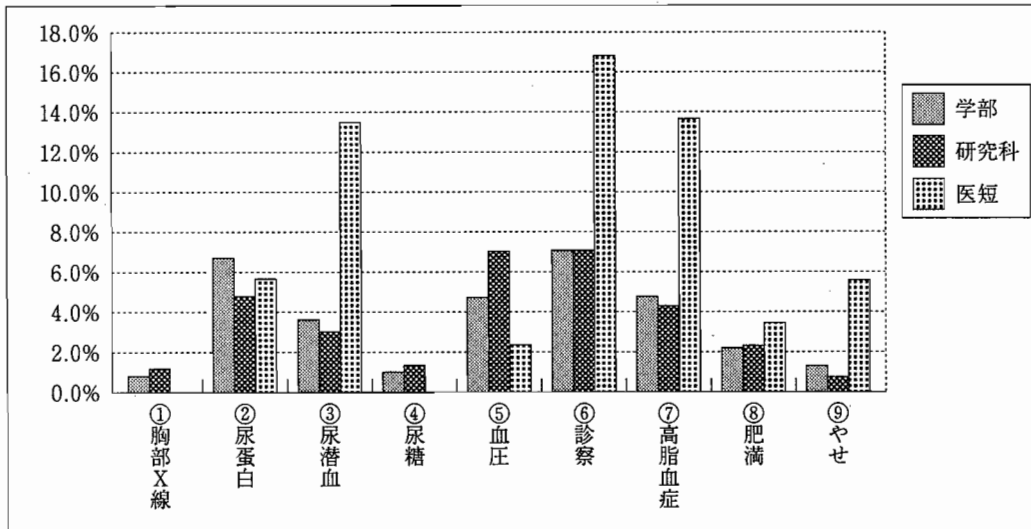
平成14年度 定期健康

学部名	学 科 名	1 年 次					2 年 次					3 年 次							
		学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率
教育学部	教科教育専攻・国語教育専修	2			2	2	100.0%	5	1		4	2	50.0%						
	教科教育専攻・社会科教育専修	4			4	2	50.0%	6		1	5	2	40.0%						
	教科教育専攻・数学教育専修	5			5	5	100.0%	5	2		3	3	100.0%						
	教科教育専攻・理科教育専修	6	1		5	5	100.0%	10			10	8	80.0%						
	教科教育専攻・音楽教育専修	3		1	2	2	100.0%	6	1		5	4	80.0%						
	教科教育専攻・美術教育専修	1			1	1	100.0%	3			3	2	66.7%						
	教科教育専攻・保健体育専修	5		1	4	1	25.0%	6	1		5	3	60.0%						
	教科教育専攻・技術教育専修	3			3	2	66.7%	2			2	1	50.0%						
	教科教育専攻・家政教育専修	2		2	0			4			4	1	25.0%						
	教科教育専攻・英語教育専修	5		1	4	4	100.0%	4	1		3		0.0%						
	障害児教育専攻・障害児教育専修	2		1	1		0.0%	3		1	2	2	100.0%						
	学校教育専攻・学校教育専修	15		7	8	4	50.0%	36	5	3	28	5	17.9%						
	学校教育専攻・学校教育専修(心理学)							2	1		1		0.0%						
	カリキュラム開発専攻	10		1	9	3	33.3%												
教育学部研究科計	63	1	14	48	31	64.6%	92	12	5	75	33	44.0%	0	0	0	0	0	0	
地域研究	地域政策専攻	19	1		18	9	50.0%	22	1		21	12	57.1%						
	地域文化専攻	3			3	1	33.3%	12	1	0	11	6	54.5%						
	地域科学研究科計	22	1	0	21	10	47.6%	34	2	0	32	18	56.3%	0	0	0	0	0	0
医学研究科	医科学専攻	40		8	32	14	43.8%			1									
	形態系専攻							4			3	2	66.7%	4			4	3	75.0%
	機能系専攻							4			4	3	75.0%						
	社会医学系専攻							5	1		4	3	75.0%	1			1	1	100.0%
	内科系専攻							26	1	7	18	6	33.3%	28		3	25	10	40.0%
	外科系専攻							14		3	11	3	27.3%	21	1	1	19	4	21.1%
医学研究科計	40	0	8	32	14	43.8%	53	1	12	40	17	42.5%	54	1	4	49	18	36.7%	
医研M	再生医科学専攻	11	1		10	10	100.0%												
	医学研究科M計	11	1	0	10	10	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医研D	再生医科学専攻	20		6	14	7	50.0%												
	医学研究科D計	20	0	6	14	7	50.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学研究科M	土木工学専攻	40			40	31	77.5%	35			35	31	88.6%						
	機械システム工学専攻	49			49	42	85.7%	36			36	34	94.4%						
	応用精密化学専攻	45	2		43	37	86.0%	40			40	40	100.0%						
	生命工学専攻	33			33	33	100.0%	24			24	23	95.8%						
	電気電子工学専攻	45	1		44	41	93.2%	34	2		32	28	87.5%						
	応用情報学専攻	39			39	20	51.3%	39			39	35	89.7%						
	環境エネルギーシステム専攻	39	1		38	26	68.4%	34	1		33	32	97.0%						
	機械工学専攻							1			1	1	100.0%						
	応用化学専攻							1			1		0.0%						
	電子情報工学専攻							7	3		4	2	50.0%						
工学研究科M計	290	4	0	286	230	80.4%	251	6	0	245	226	92.2%	0	0	0	0	0	0	
工研D	生産開発システム工学専攻	8		2	6	4	66.7%	10			10	6	60.0%	19	1		18	5	27.8%
	物質工学専攻	11			11	7	63.6%	5	1		4	2	50.0%	11	1		10	7	70.0%
	電子情報システム工学専攻	4			4	1	25.0%	9			9	3	33.3%	19	6		13	6	46.2%
	環境エネルギーシステム専攻	11			11	9	81.8%	13	2		11	6	54.5%						
	工学研究科D計	34	0	2	32	21	65.6%	37	3	0	34	17	50.0%	49	8	0	41	18	43.9%
農研	生物資源生産学専攻	24			24	20	83.3%	29	2		27	26	96.3%						
	生物生産システム学専攻	28			28	26	92.9%	22	1	1	20	20	100.0%						
	生物資源利用学専攻	31			31	29	93.5%	29	1		28	28	100.0%						
	農学研究科計	83	0	0	83	75	90.4%	80	4	1	75	74	98.7%	0	0	0	0	0	0
連農	生物生産学専攻	8		1	7	6	85.7%	3			3	2	66.7%	6	1		5	5	100.0%
	生物環境科学専攻	8		1	7	5	71.4%	6	1		5	5	100.0%	7	2		5	8	160.0%
	生物資源科学専攻	7			7	7	100.0%	9			9	9	100.0%	11	2		9	9	100.0%
	連合農学研究科計	23	0	2	21	18	85.7%	18	1	0	17	16	94.1%	24	5	0	19	22	115.8%
連獣	獣医学専攻(病態連合講座)	4		1	3	1	33.3%	3			3	1	33.3%						
	獣医学専攻(応用連合講座)	3			3	2	66.7%	3			3	2	66.7%						
	獣医学専攻												11			11	6	54.5%	
連合獣医学研究科計	7	0	1	6	3	50.0%	6	0	0	6	3	50.0%	11	0	0	11	6	54.5%	
研究科合計	593	7	33	553	419	75.8%	571	29	18	524	404	77.1%	138	14	4	120	64	53.3%	
医療技術短期大学部													89			89	89	100.0%	
特殊教育特別専攻科	11	2		9		0.0%													
農業別科	1			1	1	100.0%													
研究生等	105			105	44	41.9%													
その他合計	117	2	0	115	45	39.1%	0	0	0	0	0	0	89	0	0	89	89	100.0%	
総計	2,067	11	34	2,022	1,715	84.8%	1,926	39	19	1,868	1,460	78.2%	1,579	25	7	1,547	1,349	87.2%	

診断学科別受診率

4 年 次					5 年 次					6 年 次					総 計								
学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率	学生数	休学中	他機関	対象数	受診数	受診率
																		7	1	0	6	4	66.7%
																		10	0	1	9	4	44.4%
																		10	2	0	8	8	100.0%
																		16	1	0	15	13	86.7%
																		9	1	1	7	6	85.7%
																		4	0	0	4	3	75.0%
																		11	1	1	9	4	44.4%
																		5	0	0	5	3	60.0%
																		6	0	2	4	1	25.0%
																		9	1	1	7	4	57.1%
																		5	0	2	3	2	66.7%
																		51	5	10	36	9	25.0%
																		2	1	0	1	0	0.0%
																		10	0	1	9	3	33.3%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155	13	19	123	64	52.0%
																		41	2	0	39	21	53.8%
																		15	1	0	14	7	50.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	3	0	53	28	52.8%
																		40	0	8	32	14	43.8%
3			3	2	66.7%													11	0	1	10	7	70.0%
3			3	3	100.0%													7	0	0	7	6	85.7%
1			1	1	100.0%													7	0	1	6	5	83.3%
15	2		13	5	38.5%													69	1	12	56	21	37.5%
21	1		20	8	40.0%													56	2	4	50	15	30.0%
43	1	2	40	19	47.5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	3	26	161	68	42.2%
																		11	1	0	10	10	100.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	0	10	10	100.0%
																		20	0	6	14	7	50.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	6	14	7	50.0%
																		75	0	0	75	62	82.7%
																		85	0	0	85	76	89.4%
																		85	2	0	83	77	92.8%
																		57	0	0	57	56	98.2%
																		79	3	0	76	69	90.8%
																		78	0	0	78	55	70.5%
																		73	2	0	71	58	81.7%
																		1	0	0	1	1	100.0%
																		1	0	0	1	0	0.0%
																		7	3	0	4	2	50.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	541	10	0	531	456	85.9%
																		37	1	2	34	15	44.1%
																		27	2	0	25	16	64.0%
																		32	6	0	26	10	38.5%
																		24	2	0	22	15	68.2%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	11	2	107	56	52.3%
																		53	2	0	51	46	90.2%
																		50	1	1	48	46	95.8%
																		60	1	0	59	57	96.6%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163	4	1	158	149	94.3%
																		17	1	1	15	13	86.7%
																		21	3	1	17	18	105.9%
																		27	2	0	25	25	100.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	6	2	57	56	98.2%
																		7	0	1	6	2	33.3%
																		6	0	0	6	4	66.7%
4	2		2	2	100.0%													15	2	0	13	8	61.5%
4	2	0	2	2	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	2	1	25	14	56.0%
47	3	2	42	21	50.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,349	53	57	1,239	908	73.3%
																		89	0	0	89	89	100.0%
																		11	2	0	9	0	0.0%
																		1	0	0	1	1	100.0%
																		105	0	0	105	44	41.9%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	2	0	204	134	65.7%
1,741	74	3	1,664	1,362	81.9%	118	1	0	117	99	84.6%	118	2	0	116	107	92.2%	7,549	152	63	7,334	6,092	83.1%

2) 検査項目別有所見率



項目別一時健診有所見率

一次健診 有所見率 (研究生除く)

検査項目	再 検 基 準	学 部		大 学 院		医 短	
		定期健 康診断 受診数	検 査 項 目 受診数 有所見 数 有所見 率	定期健 康診断 受診数	検 査 項 目 受診数 有所見 数 有所見 率	定期健 康診断 受診数	検 査 項 目 受診数 有所見 数 有所見 率
胸部X線	① 胸部 X 線 所見あり	5,050	4,987 38 0.8%	908	900 10 1.1%	89	89 0 0.0%
尿 検 査	② 尿 蛋 白 (+)以上 蛋白(±)かつ潜血(±)以上	5,050	4,960 334 6.7%	908	906 42 4.6%	89	89 5 5.6%
	③ 尿 潜 血 (±)以上 月経中は(+)以上 潜血(±)かつ蛋白(±)以上 (月経中は蛋白(+)以上)	5,050	4,960 175 3.5%	908	906 26 2.9%	89	89 12 13.5%
	④ 尿 糖 (±)以上	5,050	4,960 49 1.0%	908	906 12 1.3%	89	89 0 0.0%
血 圧	⑤ 血 圧 最高血圧135以上または 最低血圧85以上	5,050	5,034 235 4.7%	908	906 63 7.0%	89	89 2 2.2%
診 察	⑥ 診 察 身体所見あり 治療・経過観察の疾患あり	5,050	5,016 351 7.0%	908	902 63 7.0%	89	89 15 16.9%
問 診	⑦ 高 脂 血 症 高脂血症の家族歴あり	5,050	4,971 233 4.7%	908	894 37 4.1%	89	88 12 13.6%
身体計測	⑧ BMI30以上 30以上 工学部1年生のみ25以上	5,050	5,039 106 2.1%	908	906 20 2.2%	89	89 3 3.4%
	⑨ BMI16.5以下 16.5以下	5,050	5,039 62 1.2%	908	906 6 0.7%	89	89 5 5.6%

検査項目	再 検 基 準	農 業 別 科		計	
		定期健 康診断 受診数	検 査 項 目 受診数 有所見 数 有所見 率	定期健 康診断 受診数	検 査 項 目 受診数 有所見 数 有所見 率
胸部X線	① 胸部 X 線 所見あり	1	1 0 0.0%	6,048	5,977 48 0.8%
尿 検 査	② 尿 蛋 白 (+)以上 蛋白(±)かつ潜血(±)以上	1	1 0 0.0%	6,048	5,956 381 6.4%
	③ 尿 潜 血 (±)以上 月経中は(+)以上 潜血(±)かつ蛋白(±)以上 (月経中は蛋白(+)以上)	1	1 0 0.0%	6,048	5,956 213 3.6%
	④ 尿 糖 (±)以上	1	1 0 0.0%	6,048	5,956 61 1.0%
血 圧	⑤ 血 圧 最高血圧135以上または 最低血圧85以上	1	1 1 100.0%	6,048	6,030 301 5.0%
診 察	⑥ 診 察 身体所見あり 治療・経過観察の疾患あり	1	1 0 0.0%	6,048	6,008 429 7.1%
問 診	⑦ 高 脂 血 症 高脂血症の家族歴あり	1	0 0 0.0%	6,048	5,953 282 4.7%
身体計測	⑧ BMI30以上 30以上 工学部1年生のみ25以上	1	1 1 100.0%	6,048	6,035 130 2.2%
	⑨ BMI16.5以下 16.5以下	1	1 0 0.0%	6,048	6,035 73 1.2%

延べ有所見数 学部 1,583件 大学院 279件 医短 54件 別科 2件 総計 1,918件

学生の健康診断フォロー体制

一次検査	検査項目	再検査基準	再検査および二次検査	
1. 胸部レントゲン 間接撮影	胸部X線	所見あり	直接撮影（センター医師によるふるいわけ） 所見あり	→
2. 尿検査	尿蛋白	(+)以上 蛋白(±)かつ潜血(±)以上 要観察継続者	早朝尿と随時尿 所見あり	→
	尿糖	(±)以上 要観察継続者	随時尿 空腹時血糖検査 所見あり	→ 糖負荷検査 (75gGTT) 所見あり
	尿潜血	(+)以上 蛋白(±)かつ潜血(±)以上 要観察継続者	早朝尿と随時尿 所見あり	→
3. 血圧	血圧	最高血圧135以上 または最低血圧85以上	再検査 所見あり	→ 24時間ホルター血圧計 所見あり
4. 診察	診察	身体所見あり 治療中・経過観察の疾患あり	貧血；血液検査・診察 所見あり 心臓；心電図検査・診察 所見あり その他；診察 所見あり	→ 再検査
5. 問診	高脂血症	高脂血症の家族歴あり (最終学年のみ)	血液検査（空腹時採決）所見あり *血液検査項目；TG, T-CHO, HDL, LDL, FBS	→ 要精検
	肥満	BMI 30以上 工学部1年生のみ25以上 前年度からの要観察者	5月；血液検査（空腹時採血）・心電図検査・測定（体重・ 体脂肪・血圧）・診察 希望者に食事摂取量調査とライフコーダー（運動消費 量測定）を実施。 *血液検査項目；GOT, GPT, CHE, γ -GTP, TG, T-CHO, HDL, LDL, UA, FBS, Na, K, Cl, BUN, Cre, 血球計数, インスリン (肝機能値高値の場合 HBs 抗原・ HCV抗体)	→ 10月；所見の有無にか かわらず実施 身体計測、 血液検査
6. 身体計測	やせ	BMI 16.5以下 前年度からの要観察者	5月；血液検査（空腹時採血）・心電図検査・測定（体重・ 体脂肪・血圧）・診察 *血液検査項目；TP, アルブミン, TG, T-CHO, HDL, LD L, FBS, UA, BUN, 血球計数, Fe, UIB C, インスリン	→ 10月；要再検査のみ 身体計測 血液検査

3) 胸部X線撮影

		間 接 撮 影							直 接 撮 影			管理者数 要管理率 (A+B+C) (A+B+C) /N					
		一 次 検 査			二 次 検 査				受診者 数	受診率	結 果						
		受診者 数	有所見 者数	有所見 者率	受診者 数 N	直接不要 (放置可) 放置	直接不要				要直接 撮影			受診者 数	受診率	結 果 放置可	要観察 C
							要観察 A	要治療 B									
学 部	医 学 部	566	7	1.2%	7	100%	6		1	1	100%	1		0	0.0%		
	教 育 学 部	1,091	5	0.5%	5	100%	1	2	2	2	100%	2		2	40.0%		
	工学部(昼間)	1,948	14	0.7%	14	100%	7	2	5	5	100%	3	2	4	28.6%		
	工学部(夜間主)	224	0	0.0%	0					0				0			
	地域科学部	394	5	1.3%	5	100%		3	2	2	100%	1	1	4	80.0%		
	農 学 部	764	7	0.9%	7	100%	4	2	1	1	100%	1		2	28.6%		
学 部 計		4,987	38	0.8%	38	100%	18	9	0	11	11	100%	8	3	12	31.6%	
医 短	医療技術短期大学部	89	0	0.0%	0					0				0			
院	医学研究科	67	1	1.5%	1	100%		1		0				1	100%		
	医学研究科 (博士後期課程)	7	0	0.0%	0					0				0			
	医学研究科 (博士前期課程)	10	0	0.0%	0					0				0			
	教育学研究科	63	0	0.0%	0					0				0			
	工学研究科	455	4	0.9%	4	100%			4	4	100%	3	1	1	25.0%		
	工学研究科 (博士後期課程)	55	1	1.8%	1	100%		1		0				1	100%		
	地域科学研究科	27	0	0.0%	0					0				0			
	農学研究科	149	2	1.3%	2	100%			2	2	100%		2	2	100%		
	連合獣医学研究科	14	1	7.1%	1	100%	1			0				0	0.0%		
	連合農学研究科	53	1	1.9%	1	100%			1	1	100%	1		0	0.0%		
院 計		900	10	1.1%	10	100%	1	2	0	7	7	100%	4	3	5	50.0%	
農業別科	農 業 別 科	1	0	0.0%	0					0				0			
合 計		5,977	48	0.8%	48	100%	19	11	0	18	18	100%	12	6	17	35.4%	

検査結果							
間接撮影	11人	要観察A	11人	右肺尖胸膜肥厚	1人	両側胸膜肥厚	1人
				右肺分画症	1人	心肥大	1人
				右胸膜癒着肥厚	1人	脊椎変形(側弯)	5人
				右中肺野石灰化巣	1人		
直接撮影	18人	要観察C	6人	左肺尖硬化病変	1人	陳旧性炎症巣	1人
				左上肺野索状影	1人	右上肺野気腫性のう胞	1人
				右上肺野索状影	1人	右第1肋骨外骨腫	1人
		放置可	12人				

胸部レントゲン検査

一次検査は間接撮影で実施しており、当センター医師が二次読影をしている。今年度より、二次読影の結果、要直接撮影とされた学生には、紹介状を発行し医療機関を紹介している。一次検査の結果48人が有所見となり、二次読影の結果18人が要直接撮影となった。直接撮影の結果18人全員受診し、6人が要観察となった。

4) 尿検査

尿蛋白

一次検査		受診者数 N	-	±	+	++	+++	A 蛋白±かつ 潜血±以上	B 蛋白+ 以上	有所見者数 A+B	有所見率 (A+B)/N
学部	教育学部	1,068	784	213	53	17	1	10	71	81	7.6%
	地域科学部	391	293	78	14	6		6	20	26	6.6%
	医学部	574	415	104	24	3	1	2	28	30	5.5%
	工学部(昼間)	1,955	1,494	348	73	31	9	13	113	126	6.4%
	工学部(夜間主)	222	156	45	16	4	1	3	21	24	10.8%
	農学部	777	598	142	28	6	3	10	37	47	6.0%
学部計		4,960	3,740	930	208	67	15	44	290	334	6.7%
医短	医療技術短期大学部	89	64	21	3		1	1	4	5	5.6%
院	教育学研究科	64	50	11	3				3	3	4.7%
	地域科学研究科	28	21	7				1	0	1	3.6%
	医学研究科	68	63	5					0	0	0.0%
	医学研究科 (博士前期課程)	10	6	4				1	0	1	10.0%
	医学研究科 (博士後期課程)	7	7						0	0	0.0%
	工学研究科	456	353	79	17	5	2	2	24	26	5.7%
	工学研究科 (博士後期課程)	56	46	9	1			3	1	4	7.1%
	農学研究科	148	128	17	3			1	3	4	2.7%
	連合農学研究科	56	49	4	2	1			3	3	5.4%
	連合獣医学研究科	13	13						0	0	0.0%
院計		906	736	136	26	6	2	8	34	42	4.6%
農業別科	農業別科	1	1						0	0	0.0%
総計		5,956	4,541	1,087	237	73	18	53	328	381	6.4%

尿蛋白

再検査	一次検査 受診者数	再検査 対象者	再検査 有所見率	再検査 受診者数 N	再検査 受診者率	再検査結果					要管理者 A+B+C+D	要管理者率 (A+B+C+D) /N	再検査 未受診
						正常範囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C	要医療 D			
学部	4,960	334	6.7%	277	82.9%	209	13	42	2	11	68	24.5%	57
医短	89	5	5.6%	5	100.0%	5					0	0.0%	0
院	906	42	4.6%	40	95.2%	28	2	5	1	4	12	30.0%	2
農業別科	1	0	0.0%	0									0
総計	5,956	381	6.4%	322	84.5%	242	15	47	3	15	80	24.8%	59

再検査結果

要精検C	医療機関紹介するが返信未	3人
要医療D	特発性腎出血	1人
	遊走腎	1人
	IgA腎症治療中	1人
	逆流性腎症	1人
	腎炎	1人
	腎不全	1人
	蛋白陽性	7人
	慢性腎炎疑	2人

参考：要観察・要再検査・未受診のなかで病名がついているもの

現在症	慢性腎炎	1人
-----	------	----

尿潜血

一次検査		受診者数 N	-	±	+	再掲 (月経中)			A 潜血±かつ 蛋白±以上	B 潜血+以上 (月経中+ を除く)	有所見者数 A+B	有所見率 (A+B)/N
学部	教育学部	1,068	998	31	5	(2)	10	24	10	37	47	4.4%
	地域科学部	391	369	11	6	(2)	3	2	6	9	15	3.8%
	医学部	547	505	19	4	(2)	5	14	2	21	23	4.2%
	工学部(昼間)	1,955	1,88	32	12	(2)	9	14	13	33	46	2.4%
	工学部(夜間主)	222	211	7			2	2	3	4	7	3.2%
	農学部	777	709	37	8	(4)	12	11	10	27	37	4.8%
学部計		4,960	4,680	137	35	(12)	41	67	44	131	175	3.5%
医短	医療技術短期大学部	89	71	4	3	(3)	1	10	1	11	12	13.5%
院	教育学研究科	64	64							0	0	0.0%
	地域科学研究科	28	25	2	1	(1)			1	0	1	3.6%
	医学研究科	68	62	3	1			2		3	3	4.4%
	医学研究科 (博士前期課程)	10	9	1					1	0	1	10.0%
	医学研究科 (博士後期課程)	7	7							0	0	0.0%
	工学研究科	456	443	7	1		3	2	2	6	8	1.8%
	工学研究科 (博士後期課程)	56	51	3			1	1	3	2	5	8.9%
	農学研究科	148	143	1	1	(1)	2	1	1	3	4	2.7%
	連合農学研究科	56	50	1	1	(1)	3	1		4	4	7.1%
連合獣医学研究科	13	13							0	0	0.0%	
院計		906	867	18	5	(3)	9	7	8	18	26	2.9%
農業別科	農業別科	1	1							0	0	0.0%
総計		5,956	5,619	159	43	(18)	51	84	53	160	213	3.6%

尿潜血

再検査	一次検査 受診者数	再検査 対象者	再検査 有所見率	再検査 受診者数 N	再検査 受診者率	再検査結果					要管理者 A+B+C+D	要管理者率 (A+B+C+D) /N	再検査 未受診
						正常範囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C	要医療 D			
学部	4,960	175	3.5%	147	84.0%	111	9	19	1	7	36	24.5%	40
医短	89	12	13.5%	12	100.0%	12					0	0.0%	0
院	906	26	2.9%	24	92.3%	14	1	6	1	2	10	41.7%	5
農業別科	1	0	0.0%	0	0						0	0.0%	0
総計	5,956	213	3.6%	183	85.9%	137	10	25	2	9	46	24.9%	45

再検査結果

要精検C	医療機関紹介するが返信未	2人
要医療D	17歳 腎不全	1人
	IgA腎症治療中	1人
	特発性腎出血	1人
	腎不全	1人
	尿潜血陽性	5人

参考；要観察・要再検査・未受診のなかで病名がついているもの

現在症	慢性腎炎	1人
	無症候性血尿	1人
	遊走腎	1人

尿 糖

一次検査		受診者数					有所見者数	
		N	-	±	+	++	± 以上	有所見率
学 部	教 育 学 部	1,068	1,060	4	2	2	8	0.7%
	地 域 科 学 部	391	383	3	2	3	8	2.0%
	医 学 部	547	542	2	2	1	5	0.9%
	工 学 部 (昼 間)	1,955	1,935	8	10	2	20	1.0%
	工 学 部 (夜 間 主)	222	221			1	1	0.5%
	農 学 部	777	770	5	2		7	0.9%
学 部 計		4,960	4,911	22	18	9	49	1.0%
医 短	医 療 技 術 短 期 大 学 部	89	89				0	0.0%
院	教 育 学 研 究 科	64	63			1	1	1.6%
	地 域 科 学 研 究 科	28	26		2		2	7.1%
	医 学 研 究 科	68	68				0	0.0%
	医学研究科(博士前期課程)	10	10				0	0.0%
	医学研究科(博士後期課程)	7	7				0	0.0%
	工 学 研 究 科	456	452	3	1		4	0.9%
	工学研究科(博士後期課程)	56	54	1		1	2	3.6%
	農 学 研 究 科	148	147		1		1	0.7%
	連 合 農 学 研 究 科	56	54		1	1	2	3.6%
連 合 獣 医 学 研 究 科	13	13				0	0.0%	
院 計		906	894	4	5	3	12	1.3%
農業別科	農 業 別 科	1	1				0	0.0%
総 計		5,956	5,895	26	23	12	61	1.0%

尿 糖

再検査	一次検査 受診者数	再 検 対象者	有所見率	再 検 査		再 検 査 結 果					要管理者 A+B+C+D	要管理者率 (A+B+C+D) /N	再検査 未受診
				再 検 査 受診者数 N	再 検 査 受診者率	正常範囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C	要医療 D			
学 部	4,960	49	1.0%	43	87.8%	38	5				5	11.6%	6
医 短	89	0	0.0%	0	0						0	0	0
院	906	12	1.3%	7	58.3%	6	1				1	14.3%	5
農業別科	1	0	0.0%	0	0						0	0	0
総 計	5,956	61	1.0%	50	82.0%	44	6				6	12.0%	11

参考：要観察・尿糖正常のなかで病名がついているもの

現在症	糖尿病	1人
	境界型糖尿病	1人

尿検査

再検査の対象は蛋白(+)以上、潜血(+)以上に加え、蛋白(±)かつ潜血(±)も対象としている。再検対象数は、蛋白381人(6.4%)、潜血213人(3.6%)、尿糖61人(1.0%)だった。尿蛋白と尿潜血の二次検査では、早朝尿と随時尿の検査を行い、要精密検査となった者には紹介状を発行している。尿蛋白で要観察以上の要管理者となったものは80人、尿潜血で要管理者となったものは46人であった。尿糖は、二次検査で血液検査(空腹時血糖)・尿検査を行い、6人が要管理者となった。

5) 血圧測定

		一 次 検 査			再 検 査							要管理 者 数 (A+B+C+D)	要管理率 (A+B+C+D) /N	
		受診者 数	有所見 者 数	有所見 者 率	受診者 N	受診率	未受診 者 数	結 果						
								正 常 範 囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C			要医療 D
学 部	教 育 学 部	1,095	28	2.6%	23	82.1%	5	16	6	1			7	30.4%
	地 域 科 学 部	403	13	3.2%	10	76.9%	3	6	1	2		1	4	40.0%
	医 学 部	568	24	4.2%	14	58.3%	10	10	2	2			4	28.6%
	工学部(昼間)	1,963	124	6.3%	103	83.1%	21	70	14	18	1		33	32.0%
	工学部(夜間主)	224	15	6.7%	8	53.3%	7	7			1		1	12.5%
	農 学 部	781	31	4.0%	19	61.3%	12	13	3	3			6	31.6%
学 部 計		5,034	235	4.7%	177	75.3%	58	122	26	26	2	1	55	31.1%
医 短	医療技術短期大学部	89	2	2.2%	2	100.0%	0	1		1			1	50.0%
院	教育学研究科	64	2	3.1%	0	0.0%	2						0	0
	地域科学研究科	28	5	17.9%	4	80.0%	1	4					0	0.0%
	医学研究科	68	6	8.8%	4	66.7%	2	3		1			1	25.0%
	医学研究科 (博士前期課程)	9	0	0.0%	0	0	0						0	0
	医学研究科 (博士後期課程)	7	2	28.6%	2	100.0%	0	1		1			1	50.0%
	工学研究科	456	28	6.1%	24	85.7%	4	17	6	1			7	29.2%
	工学研究科 (博士後期課程)	56	7	12.5%	3	42.9%	4	1	1	1			2	66.7%
	農学研究科	149	7	4.7%	7	100.0%	0	4	1	1	1		3	42.9%
	連合農学研究科	55	5	9.1%	1	20.0%	4	1					0	0.0%
	連合獣医学研究科	14	1	7.1%	1	100.0%	0	1					0	0.0%
院 計		906	63	7.0%	46	73.0%	17	32	8	5	1		14	30.4%
農業別科	農 業 別 科	1	1	100.0%	1	100.0%	0			1			1	100.0%
総 計		6,030	301	5.0%	226	75.1%	75	155	34	33	3	1	71	31.4%

再検結果

参考；要観察・要再検者・未受診のなかで病名がついているもの

要精検C	ホルター自動連続血圧測定 未受検	3人
要医療D	高血圧治療中	1人

現在症	境界型高血圧症	1人
-----	---------	----

血圧測定

自動血圧計で、収縮期血圧135mmHg以上または、拡張期血圧85mmHg以上を再検査対象としている。二次検査は自動血圧計で行い、それでも高い場合は医師による診察を行っている。医師による診察で要精密検査となった学生は、ホルター血圧測定を実施し、必要があれば医療機関を紹介している。再検対象者は、301人(5.0%)で、71人(31.4%)が要管理者となった。

6) 内科診察

診 察

一 次 検 査	受診者数	所見あり (実数)	診 察 結 果											有所見者数 (延べ数)	有所見者率		
			身 体 症 状										その他			既往確認	
			呼吸器	消化器	循環器	泌尿器	甲状腺	貧血	整形	皮膚	産婦人						
学 部	教育 学 部	1,091	71	1		28	3	6	18		3		6	9	74	6.8%	
	地 域 学 部	402	32			10	1		5		1		5	10	32	8.0%	
	医 学 部	565	31	1		16	1	2	5				1	3	31	5.5%	
	工学部(昼間)	1,950	123	1		55	12	7	9	3	2		13	26	128	6.6%	
	工学部(夜間主)	223	24			18	1		4				3	1	27	12.1%	
	農 学 部	785	57		1	23	2	10	2	1	1	1	10	8	59	7.5%	
学 部 計		5,016	338	3	1	150	20	25	43	4	7	2	40	56	351	7.0%	
医 短	医療技術短期大学部	89	14		1	4		2	3				3	2	15	16.9%	
院	教育学研究科	64	5							1	1		1	2	5	7.8%	
	地域科学研究科	27	6			3			2		1				6	22.2%	
	医学研究科	68	2			2									2	2.9%	
	医学研究科 (博士前期課程)	10													0	0.0%	
	医学研究科 (博士後期課程)	7													0	0.0%	
	工学研究科	454	30	1	1	13	2		1	1	1		5	7	32	7.0%	
	工学研究科 (博士後期課程)	55	3				1			1				1	3	5.5%	
	農学研究科	149	12		1	5			1		1			2	3	13	8.7%
	連合農学研究科	54	2										1	1	2	3.7%	
	連合獣医学研究科	14													0	0.0%	
院 計		902	60	1	2	23	3	0	4	3	4	1	9	13	63	7.0%	
農業別科	農 業 別 科	1													0	0.0%	
総 計		6,008	412	4	4	177	23	27	50	7	11	3	52	71	429	7.1%	

診 察

二次検査	一次健診 受診者数	再 検 査 対象者	有所見 者 率	再 検 査 受診者数 N	再 検 査 受診者率	再 検 査 結 果					要管理者 数 (A+B+C+D)	要管理率 (A+B+C+D) /N	再検査 未受診
						正常範囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C	要医療 D			
学 部	5,016	351	7.0%	287	81.8%	116	122	4	17	28	171	59.6%	64
医 短	89	15	16.9%	12	80.0%	7	4			1	5	41.7%	3
院	902	63	7.0%	61	96.8%	25	29			7	36	59.0%	2
農業別科	1	0	0.0%	0	0						0	0	0
総 計	6,008	429	7.1%	360	83.9%	148	155	4	17	36	212	58.9%	69

(1) 二次検査

要観察 A	155人	心室中隔欠損症	1人	破裂脳動脈瘤(くも膜下出血)術後	1人	肺炎・肥満	1人
		僧房弁閉鎖不全症 僧房弁逸脱症	1人	慢性腎炎	1人	アトピー性皮膚炎	7人
		心室性期外収縮	4人	両耳先天性難聴	1人	硬膜下血腫	1人
		心室中隔欠損症	5人	顔面の血管腫	1人	骨髄炎	1人
		心房中隔欠損症	2人	うつ病	1人	子宮内膜症・紫斑病	1人
		不整脈	10人	症候性てんかん	1人	10歳、骨肉腫、H12、左肢切断	1人
		心雑音	17人	気管支喘息	2人	精巣腫瘍	1人
		房室解離	1人	胸痛	1人	腰椎ヘルニア	1人
		II度A-Vブロック	1人	甲状腺のうほう	1人	腰痛	1人
		完全右脚ブロック	1人	甲状腺手術後	1人	大腸ポリープ	1人
		僧房弁逸脱症	6人	ADHD	1人	聴力障害	1人
		僧房弁閉鎖不全症	2人	子宮内膜症・腎疾患	1人	喘息	1人
		僧房弁逸脱症による僧房弁閉鎖不全症	14人	慢性腎炎	2人	胸郭変形	1人
		QT延長	1人	特発性腎出血	1人	椎間板ヘルニア	1人
		上室性期外収縮・心室性期外収縮	3人	蛋白陽性(2内)	1人	アトピー性皮膚炎	7人
		WPW症候群	4人	紫斑性腎炎	1人	リンパ節腫脹	2人
		フォロー四徴症	1人	腎炎	1人	下血	1人
		陰性T波	1人	尿潜血・肝機能障害	1人	糖尿病	1人
		右脚ブロック	2人	遊走腎	1人	肥満	4人
		完全房室ブロック	1人	甲状腺	5人	やせ	1人
		左室肥大(疑)	1人	甲状腺腫の疑い・甲状腺腫	1人	妊娠中	1人
		川崎病	2人	甲状腺腫大	2人	網膜剥離	1人
		先天性心室中隔欠損症術後	1人	慢性甲状腺炎	1人	貧血	5人
		要再検査 B	4人	不整脈	1人	無症候性血尿	1人
要精検 C	17人	VSD5歳手術歴で現在心室性期外収縮	1人	心雑音	3人	甲状腺腫	4人
		ロート胸・心電図異常	1人	不整脈	5人	尿管結石	1人
		肥大型心筋症	1人	貧血はないが体調不良自覚症状あり精査	1人		
要医療 D	36人	不整脈源性右室異形性	1人	成長ホルモン産性下垂体腺腫術後	1人	逆流性腎症	1人
		心房中隔欠損症	1人	重症筋無力症	1人	遊走腎	1人
		川崎病後遺症左右冠動脈瘤	1人	蓄膿症	1人	17歳から腎不全	1人
		心室性期外収縮	1人	中耳炎・外耳炎	1人	顔面神経麻痺	1人
		不整脈	2人	聴力異常	1人	全身性エリテマトーデス	2人
		うつ病	1人	腰痛	1人	アトピー性皮膚炎	2人
		てんかん	1人	椎間板ヘルニア	1人	IgA腎症	2人
		パセドウ病	1人	伝染性単核球症	1人	貧血	7人
		モヤモヤ病	1人	甲状腺腫瘍	1人		

参考：二次検査未受診者

未受診 63人	既往確認 7人	フォロー四徴症	1人	慢性気管支炎	1人	精神疾患既往あり	1人
		てんかん	1人	急性腎炎	1人	アトピー性皮膚炎	2人
	身体症状確認 経過うかがい 等 56人	僧房弁閉鎖、肺動脈閉鎖	1人	甲状腺肥大	5人	リンパ節腫脹	5人
		僧房弁逸脱症	1人	甲状腺腫の疑い	3人	悪性リンパ腫	1人
		血圧について相談希望	1人	左下腹痛	1人	再生不良性貧血	1人
		胸痛	2人	肺ラ音	1人	貧血	4人
		不整脈	7人	慢性腎炎	1人	精索静脈瘤	1人
		要心電図	9人	慢性腎不全	1人	アトピー性皮膚炎	1人
		心雑音	12人	良性腎出血フォロー中	1人	整形相談希望	1人
		大動脈炎	1人	手に皮疹	1人		

内科診察

二次検査は、センター医師による再診察を行っている。必要があれば心電図検査や貧血検査を行い、要精密検査となった学生は医療機関を紹介している。証明書発行時の既往確認を含め再検査対象数は429人(7.1%)に上り、212人(58.9%)が要管理者となった。中でも循環器疾患の再検査対象者が多く、177人(有所見率2.9%)中、100人(要管理率27.8%)要管理者となった。

(2) 高脂血症検査

	問診票提出者数	高脂血症家族歴あり	脂血症有所見率	高脂血症検査対象者数(最終学年のみ)	高脂血症検査受診者数 N	受診率	結 果					要管理者数 (A+B+C+D)	要管理率 (A+B+C+D) / N	
							正常範囲	要観察 A	要再検査 B	要精検 C	要医療 D			
学 部	教育 学 部	1,086	47	4.3%	14	6	42.9%	6					0	0.0%
	地 域 学 部	394	8	2.0%	5	2	40.0%	1	1				1	50.0%
	医 学 部	567	48	8.5%	14	0	0.0%						0	0.0%
	工学部(昼間)	1,939	79	4.1%	23	2	8.7%	2					0	0.0%
	工学部(夜間主)	222	5	2.3%	2	1	50.0%	1					0	0.0%
	農 学 部	763	46	6.0%	16	6	37.5%	6					0	0.0%
学 部 計		4,971	233	4.7%	74	17	23.0%	16	1	0	0	0	1	5.9%
医 短	医療技術短期大学部	88	12	13.6%	12	1	8.3%	1					0	0.0%
院	教育学研究科	64	5	7.8%	1	0	0.0%						0	0.0%
	地域科学研究科	26	2	7.7%	2	2	100.0%	2					0	0.0%
	医学研究科	66	4	6.1%	1	1	100.0%	1					0	0.0%
	医学研究科(博士前期課程)	10	1	10.0%		0	0.0%						0	0.0%
	医学研究科(博士後期課程)	7		0.0%		0	0.0%						0	0.0%
	工学研究科	450	14	3.1%	5	3	60.0%	3					0	0.0%
	工学研究科(博士後期課程)	56	2	3.6%	1	0	0.0%						0	0.0%
	農学研究科	146	7	4.8%	4	3	75.0%	3					0	0.0%
	連合農学研究科	55	1	1.8%	1	0	0.0%						0	0.0%
	連合獣医学研究科	14	1	7.1%		0	0.0%						0	0.0%
院 計		894	37	4.1%	15	9	60.0%	9	0	0	0	0	0	0.0%
農業別科	農 業 別 科	1		0.0%		0	0.0%						0	0.0%
総 計		5,954	282	4.7%	101	27	26.7%	26	1	0	0	0	1	3.7%

高脂血症検査

問診票に高脂血症の家族歴があると回答した学生は、282人(4.7%)であった。うち、101人の最終学年を対象に血液検査を実施した。27名が受診し、1名が要管理者となった。

7) 肥満・やせ二次検診

(1) 肥満二次検診（平成9年度から実施）

14年度の肥満二次検診は、BMI 30以上と工学部新生でBMI 25以上を対象とし、定期健康診断時に受診勧奨した。対象者242名中、204名受診（83.9%）し、5月と10月に血液検査・心電図検査・事後指導（食事・ライフコーダー）等を行った。また、要観察者の学生に対しては、定期身体測定・保健指導等を行った。

5月に行った血液検査の結果、男性では糖代謝・脂質・尿酸の順に有所見率が高く、女性では糖代謝・脂質・腎機能の順に有所見率が高かった。

(2) やせ二次検診（平成12年から実施）

やせ二次検診は、BMI 16.5以下を対象とし定期健康診断時に受診勧奨した。昨年受診し放置可となった4名は対象から除き、要観察者となった3名は16.5以上となっても対象とした。対象者72名中、57名（79.2%）が受診し、血液検査・心電図検査・事後指導等を行った。血液検査の結果、男女とも脂質・貧血・糖代謝に有所見率が高かった。

今後も継続的に二次検診を行い、学生のうちに自己の健康管理ができるように指導等を行ってゆきたい。

肥満二次検診実施状況

身体計測（BMI 25.0以上）肥満 15年度対象者 BMI30.0以上—全学生
BMI25.0から30.0未満—工学部新生

全学の肥満者と対象者			BMI 30 以上					BMI 25 以上 30 未満					14年度定期健康診断受診数				
身	学	部	男 a	女 b	計 c	男 a/g %	女 b/h %	計 c/i %	男 d	女 e	計 f	男 d/g %	女 e/h %	計 f/i %	男 g	女 h	計 i
学	部	教育学部	10	7	17	3.0%	0.9%		34	32	66	10.1%	4.2%		337	759	
		地域科学部	1	4	5	0.6%	1.7%		14	10	24	8.5%	4.2%		164	239	
		医学部	2	0	2	0.8%	0.0%		22	5	27	8.9%	1.5%		246	323	
		工学部（昼間）	30	3	33	1.7%	1.2%		108	3	111	6.3%	1.2%		1,722	246	
		工学部（夜間主）	4	0	4	1.9%	0.0%		16	0	16	7.7%	0.0%		208	18	
		農学部	5	1	6	1.4%	0.2%		28	9	37	7.9%	2.1%		356	432	
学部計			52	15	67	1.7%	0.7%	1.3%	222	59	281	7.3%	2.9%	5.6%	3,033	2,017	5,050
医	短	医療技術短期大学部	1	2	3	33.3%	2.3%		1	5	6	33.3%	5.8%		3	86	
医短計			1	2	3	33.3%	2.3%	3.4%	1	5	6	33.3%	5.8%	6.7%	3	86	89
院	院	教育学研究科	2	0	2	6.9%	0.0%		5	2	7	17.2%	5.7%		29	35	
		地域科学研究科	0	0	0	0.0%	0.0%		2	1	3	20.0%	5.6%		10	18	
		医学研究科	3	0	3	6.3%	0.0%		9	0	9	18.8%	0.0%		48	20	
		医学研究科（博士前期課程）	0	0	0	0.0%	0.0%		0	0	0	0.0%	0.0%		9	1	
		医学研究科（博士後期課程）	0	0	0	0.0%	0.0%		2	0	2	33.3%	0.0%		6	1	
		工学研究科	11	0	11	2.6%	0.0%		42	0	42	9.8%	0.0%		430	26	
		工学研究科（博士後期課程）	2	0	2	4.3%	0.0%		7	2	9	14.9%	22.2%		47	9	
		農学研究科	1	0	1	1.0%	0.0%		16	3	19	16.3%	5.9%		98	51	
		連合農学研究科	1	0	1	2.4%	0.0%		7	0	7	16.7%	0.0%		42	14	
		連合獣医学研究科	0	0	0	0.0%	0.0%		3	1	4	27.3%	33.3%		11	3	
院計			20	0	20	2.7%	0.0%	2.2%	93	9	102	12.7%	5.1%	11.2%	730	178	908
農業別科	農業別科		1	0	1	100.0%			-			-			1	0	1
合計			74	17	91	2.0%	0.7%	1.5%	316	73	389	8.4%	3.2%	6.4%	3,767	2,281	6,048

14年度対象者 内 男 242名 女 188名 54名		対象数 (14年度定期健康診断受診者)						継続者 (13年度からの継続者で14年度対象外の学生)			14年度対象者			14年度受診者			14年度受診率			
		BMI 30以上			BMI 25以上30未満			男	女	計										
身	分	学	部	名	男	女	計	男	女	計	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	
学	部	教育学部	10	7	17			11	18	29	21	25	46	17	23	40	81.0%	92.0%	87.0%	
		地域科学部	1	4	5			3	3	6	4	7	11	4	6	10	100.0%	85.7%	90.9%	
		医学部	2	0	2			4	4	8	6	4	10	3	2	5	50.0%	50.0%	50.0%	
		工学部(昼間)	30	3	33	35	1	36	11		11	76	4	80	67	4	71	88.2%	100.0%	88.8%
		工学部(夜間主)	4	0	4	3	0	3	4		4	11	0	11	11	0	11	100.0%		137.5%
		農学部	5	1	6				15	3	18	20	4	24	15	4	19	75.0%	100.0%	83.3%
学部計		52	15	67	38	1	39	48	28	76	138	44	181	118	40	157	87.4%	90.9%	87.7%	
医短計	医療技術短期大学部	1	2	3				0	4	4	1	6	7	1	6	7	100.0%	100.0%	100.0%	
院	教育学研究科	2	0	2				4	1	5	6	1	7	2	0	2	33.3%	0.0%	28.6%	
	地域科学研究科	0	0	0				2		2	2	0	2	1	0	1	50.0%		50.0%	
	医学研究科(M・D)	3	0	3				5	0	5	8	0	8	8	0	8	100.0%		100.0%	
	工学研究科(M・D)	13	0	13				11	1	12	24	1	25	17	1	18	70.8%	100.0%	72.0%	
	農学研究科	1	0	1				5	2	7	6	2	8	4	1	5	66.7%	50.0%	62.5%	
	連合農学研究科	1	0	1				2		2	3	0	3	3	0	3	100.0%		100.0%	
	連合獣医学研究科	0	0	0				2		2	2	0	2	1	0	1	50.0%		50.0%	
院計		20	0	20				31	4	35	51	4	55	36	2	38	70.6%	50.0%	69.1%	
農業別科	農業別科	1	0	1							1	0	1	1	0	1	100.0%		100.0%	
合計		74	17	91	38	1	39	79	36	115	191	54	245	155	48	202	81.2%	88.9%	82.4%	

1 (研究生)	1
1 (対象外)	1
	204

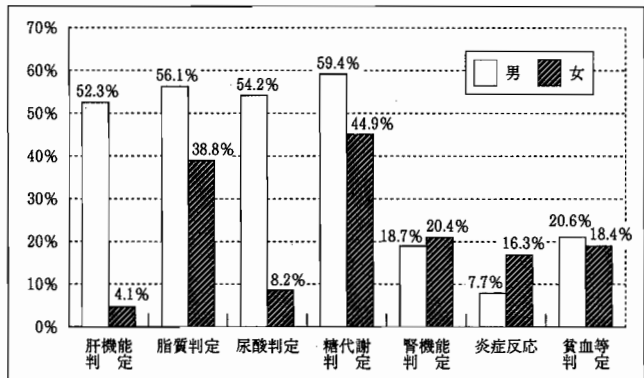
平成14年度肥満血液検査項目別集計

n = 204

* 有所見率は経過観察+要再検査+要精密検査の総数

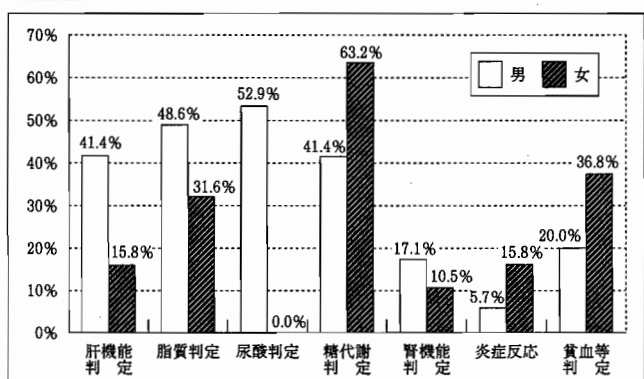
判定区分	男	女	計	有所見率			
				男	女	全体	
1 GOT判定	正常範囲	125	49	174	19.4%	0.0%	14.7%
	経過観察	15		15			
	要再検査	13		13			
	要精密検査	2		2			
2 GPT判定	正常範囲	81	48	129	47.7%	2.0%	36.8%
	経過観察	17		17			
	要再検査	35	1	36			
	要精密検査	22		22			
3 CHE判定	正常範囲	138	48	186	11.0%	2.0%	8.8%
	経過観察	15		15			
	要再検査	2	1	3			
	要精密検査			0			
4 GGTP判定	正常範囲	129	49	178	16.8%	0.0%	12.7%
	経過観察	17		17			
	要再検査	9		9			
	要精密検査			0			
5 TG判定	正常範囲	123	40	163	20.6%	18.4%	20.1%
	経過観察	13	7	20			
	要再検査	13	2	15			
	要精密検査	6		6			
6 T-CHO判定	正常範囲	108	39	147	30.0%	20.4%	27.9%
	経過観察	31	7	38			
	要再検査	16	3	19			
	要精密検査			0			
7 HDLコレステロール判定	正常範囲	123	42	165	20.6%	14.3%	19.1%
	経過観察			0			
	要再検査	32	7	39			
	要精密検査			0			
8 LDLコレステロール判定	正常範囲	119	41	160	23.2%	14.3%	21.1%
	経過観察	29	6	35			
	要再検査	7	1	8			
	要精密検査	(未検1)		0			
9 尿酸判定	正常範囲	71	45	116	54.2%	8.2%	43.1%
	経過観察	49	1	50			
	要再検査	35	3	38			
	要精密検査			0			
10 BS判定	正常範囲	152	49	201	1.9%	0.0%	1.5%
	経過観察			0			
	要再検査	3		3			
	要精密検査			0			
11 HOMAR判定	正常範囲	63	27	90	59.4%	44.9%	55.9%
	経過観察			0			
	要再検査	92	22	114			
	要精密検査			0			
12 ナトリウム判定	正常範囲	155	49	204	0.0%	0.0%	0.0%
	経過観察			0			
	要再検査			0			
	要精密検査			0			
13 カリウム判定	正常範囲	130	40	170	16.1%	18.4%	16.7%
	経過観察	24	9	33			
	要再検査	1		1			
	要精密検査			0			
14 クロール判定	正常範囲	154	49	203	0.6%	0.0%	0.5%
	経過観察	1		1			
	要再検査			0			
	要精密検査			0			
15 BUN判定	正常範囲	152	48	200	1.9%	2.0%	2.0%
	経過観察			0			
	要再検査	3	1	4			
	要精密検査			0			
16 クレアチニン判定	正常範囲	154	49	203	0.6%	0.0%	0.5%
	経過観察			0			
	要再検査	1		1			
	要精密検査			0			
17 WBC判定	正常範囲	143	41	184	7.7%	16.3%	9.8%
	経過観察	6	6	12			
	要再検査	6	2	8			
	要精密検査			0			
18 RBC判定	正常範囲	142	45	187	8.4%	8.2%	8.3%
	経過観察	13	4	17			
	要再検査			0			
	要精密検査			0			
19 ヘモグロブリン判定	正常範囲	138	48	186	11.0%	2.0%	8.8%
	経過観察	17	1	18			
	要再検査			0			
	要精密検査			0			
20 ヘマト判定	正常範囲	152	48	200	1.9%	2.0%	2.0%
	経過観察	3	1	4			
	要再検査			0			
	要精密検査			0			
21 PLT判定	正常範囲	148	42	190	4.5%	14.3%	6.9%
	経過観察	6	7	13			
	要再検査	1		1			
	要精密検査			0			

区分	男	%	女	%	総計	%/204	
							男
1-4 肝機能判定	なし	74	47.7%	47	95.9%	121	59.3%
	所見あり	81	52.3%	2	4.1%	83	40.7%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
5-8 脂質判定	なし	68	43.9%	30	61.2%	98	48.0%
	所見あり	87	56.1%	19	38.8%	106	52.0%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
9 尿酸判定	なし	71	45.8%	45	91.8%	116	56.9%
	所見あり	84	54.2%	4	8.2%	88	43.1%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
10-11 糖代謝判定	なし	63	40.6%	27	55.1%	90	44.1%
	所見あり	92	59.4%	22	44.9%	114	55.9%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
12-16 腎機能判定	なし	126	81.3%	39	79.6%	165	80.9%
	所見あり	29	18.7%	10	20.4%	39	19.1%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
17 炎症反応	なし	143	92.3%	41	83.7%	184	90.2%
	所見あり	12	7.7%	8	16.3%	20	9.8%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%
18-21 貧血等判定	なし	123	79.4%	40	81.6%	163	79.9%
	所見あり	32	20.6%	9	18.4%	41	20.1%
	総計	155	100.0%	49	100.0%	204	100.0%



2回目血液検査

区分	男	%	女	%	総計	%/89	
							男
1-4 肝機能判定	なし	41	58.6%	16	84.2%	55	61.8%
	所見あり	29	41.4%	3	15.8%	32	36.0%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
5-8 脂質判定	なし	36	51.4%	13	68.4%	49	55.1%
	所見あり	34	48.6%	6	31.6%	40	44.9%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
9 尿酸判定	なし	33	47.1%	19	100.0%	52	58.4%
	所見あり	37	52.9%	0	0.0%	37	41.6%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
10-11 糖代謝判定	なし	41	58.6%	7	36.8%	48	53.9%
	所見あり	29	41.4%	12	63.2%	41	46.1%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
12-16 腎機能判定	なし	58	82.9%	17	89.5%	75	84.3%
	所見あり	12	17.1%	2	10.5%	14	15.7%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
17 炎症反応	なし	66	94.3%	16	84.2%	82	92.1%
	所見あり	4	5.7%	3	16.8%	7	7.9%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%
18-21 貧血等判定	なし	56	80.0%	12	63.2%	68	76.4%
	所見あり	14	20.0%	7	36.8%	21	23.6%
	総計	70	100.0%	19	100.0%	89	100.0%



身体計測 (BMI16.5以下) やせ

全学のやせ対象者と%			対 象 数				全 体 総 計			
身 分	学 部 名	対 象 数			対 象 数			全 体 総 計		
		男 a	女 b	計 c	男 a/d %	女 b/e %	計 c/f %	男 d	女 e	計 f
学 部	教 育 学 部	2	18	20	0.6%	2.4%		337	759	
	地 域 学 部		3	3	0.0%	1.3%		164	239	
	医 学 部	1	5	6	0.4%	1.5%		246	323	
	工学部 (昼間)	16	8	24	0.9%	3.3%		1,722	246	
	工学部 (夜間主)			0	0.0%	0.0%		208	18	
	農 学 部	3	6	9	0.8%	1.4%		356	432	
学 部 計		22	40	62	0.7%	2.0%	1.2%	3,033	2,017	5,050
医 短	医療技術短期大学部		5	5	0.0%	5.8%		3	86	
医 短 計		0	5	5	0.0%	5.8%	5.6%	3	86	89
院	教育学研究科	1	1		3.4%	2.9%		29	35	
	地域科学研究科		1		0.0%	5.6%		10	18	
	医学研究科		1		0.0%	5.0%		48	20	
	医学研究科 (博士前期課程)				0.0%	0.0%		9	1	
	医学研究科 (博士後期課程)				0.0%	0.0%		6	1	
	工学研究科	1			0.2%	0.0%		420	26	
	工学研究科 (博士後期課程)		1		0.0%	11.1%		47	9	
	農学研究科				0.0%	0.0%		98	51	
	連合農学研究科				0.0%	0.0%		42	14	
	連合獣医学研究科				0.0%	0.0%		11	3	
院 計		2	4	6	0.3%	2.2%	0.7%	730	178	908
農業別科	農業別科	0	0	0	0.0%			1	0	1
合 計		24	49	73	0.6%	2.1%	1.2%	3,767	2,281	6,048

13年度からの経過観察者

- 14年度も対象者 9名
- 経過観察者として対象とした (BMI 16.5を越える) 3名
- 定期健康診断で体重チェックで終了 4名
- 定期健康診断・BMI健診を未検 1名
- 休学中 1名
- 計 18名

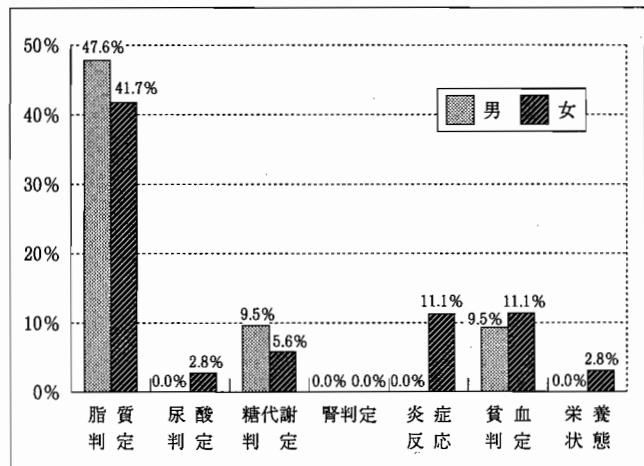
対象者と受診者			14年度健康診断からの対象数 (a)			前年の異常なし (放置可) (b)			前年からの経過観察 (c)			14年度対象者 d (a+b+c)			受診者数 e (e/d 79.2%)		男24名 (96.0%) 女33名 (70.2%)		計
身 分	学 部 名	14年度健康診断からの対象数 (a)			前年の異常なし (放置可) (b)			前年からの経過観察 (c)			14年度対象者 d (a+b+c)			受診者数 e (e/d 79.2%)		男24名 (96.0%) 女33名 (70.2%)			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	今年度対象者	経過観察者	今年度対象者	経過観察者		
学 部	教 育 学 部	2	18	20		1	1				2	17	19	2		17		19	
	地 域 学 部		3	3					1	1	0	4	4	1		2	1	4	
	医 学 部	1	5	6							1	5	6	2		1		3	
	工学部 (昼間)	16	8	24	1		1	2	2	2	17	8	25	12	2	5		19	
	工学部 (夜間主)			0							0	0	0					0	
	農 学 部	3	6	9		1	1				3	5	8	3		4		7	
学 部 計		22	40	62				2	1	3	24	41	65	20	2	29	1	52	
医 短	医療技術短期大学部		5	5		1	1				0	4	4			2		2	
医 短 計		0	5	5				0	0	0	0	5	5	0	0	2	0	2	
院	教育学研究科	1	1								1	1	2	1				1	
	地域科学研究科		1								0	1	1			1		1	
	医学研究科		1								0	1	1					0	
	医学研究科 (博士前期課程)										0	0	0					0	
	医学研究科 (博士後期課程)										0	0	0					0	
	工学研究科	1									1	0	1	1				1	
	工学研究科 (博士後期課程)		1								0	1	1					0	
	農学研究科										0	0	0					0	
	連合農学研究科										0	0	0					0	
	連合獣医学研究科										0	0	0					0	
院 計		2	4	6	0	0	0	0	0	0	2	4	6	2	0	1	0	3	
農業別科	農業別科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計		24	49	73	1	3	4	2	1	3	25	47	72	22	2	32	1	57	

平成14年度やせ血液検査項目集計

有所見率は判定区分経過観察・再検査の合計である。

判定区分	男	女	計	有所見率		
				男	女	全体
TG判定	正常範囲	17	31	48		
	経過観察	4	5	9	19.0%	13.9%
	再検査	0	0	0		15.8%
T-CHO判定	正常範囲	14	27	41		
	経過観察	6	8	14	33.3%	25.0%
	再検査	1	1	2		28.1%
HDLコレステロール判定	正常範囲	20	34	54		
	経過観察	2	2	4	4.8%	5.6%
	再検査	1	1	2		5.3%
LDLコレステロール判定	正常範囲	17	31	48		
	経過観察	4	5	9	19.0%	13.9%
	再検査	0	0	0		15.8%
SUA判定	正常範囲	21	35	56		
	経過観察	1	1	2	0.0%	2.8%
	再検査	0	0	0		1.8%
BS判定	正常範囲	21	36	57		
	経過観察	0	0	0	0.0%	0.0%
	再検査	0	0	0		0.0%
HOMAR判定	正常範囲	19	35	54		
	経過観察	0	0	0	9.5%	2.8%
	再検査	2	1	3		5.3%
BUN判定	正常範囲	21	36	57		
	経過観察	0	0	0	9.5%	2.8%
	再検査	2	1	3		5.3%
WBC判定	正常範囲	21	32	53		
	経過観察	3	3	6	0.0%	11.1%
	再検査	1	1	2		7.0%
RBC判定	正常範囲	19	35	54		
	経過観察	2	2	4	9.5%	2.8%
	再検査	1	1	2		5.3%
ヘモグロビン判定	正常範囲	20	33	53		
	経過観察	1	3	4	4.8%	8.3%
	再検査	0	0	0		7.0%
ヘマト判定	正常範囲	21	34	55		
	経過観察	2	2	4	0.0%	5.6%
	再検査	0	0	0		3.5%
PLT判定	正常範囲	21	35	56		
	経過観察	1	1	2	0.0%	2.8%
	再検査	0	0	0		1.8%
TP判定	正常範囲	21	36	57		
	経過観察	0	0	0	0.0%	0.0%
	再検査	0	0	0		0.0%
S.アルブ判定	正常範囲	21	35	56		
	経過観察	1	1	2	0.0%	2.8%
	再検査	0	0	0		1.8%
総計	21	36	57			-

判定区分	男	女	計	有所見率		
				男	女	全体
脂質判定	正常範囲	11	21	32		
	経過観察	8	14	22	47.6%	41.7%
	再検査	2	1	3		43.9%
尿酸判定	正常範囲	21	35	56		
	経過観察	1	1	2	0.0%	2.8%
	再検査	0	0	0		1.8%
糖代謝判定	正常範囲	19	34	53		
	経過観察	1	1	2	9.5%	5.6%
	再検査	2	1	3		7.0%
腎判定	正常範囲	21	36	57		
	経過観察	0	0	0	0.0%	0.0%
	再検査	0	0	0		0.0%
炎症判定	正常範囲	21	32	53		
	経過観察	3	3	6	0.0%	11.1%
	再検査	1	1	2		7.0%
貧血判定	正常範囲	19	32	51		
	経過観察	2	3	5	9.5%	11.1%
	再検査	1	1	2		10.5%
栄養状態	正常範囲	21	35	56		
	経過観察	1	1	2	0.0%	2.8%
	再検査	0	0	0		1.8%
総計	21	36	57			-



14年度やせ健康診断男女別有所見率

総合判定区分

1回目判定結果				2回目判定結果				15年度対応				
1回目区分	男	女	計	2回目区分	男	女	計	区分	男	女	計	%
6月後再検	3	12	15	放置		2	2	要観察 (2回目未受診者含)	10	18	28	49.1%
				未受診	2	3	5					
				要観察	1	7	8	ECGのみ経観	0	3	3	5.3%
要観察(体重のみ)	1	6	7	放置	1	6	7					
要観察(12カ月後)	7	8	15					放置	11	15	26	45.6%
放置	10	10	20									
1回目計	21	36	57	2回目計	4	18	22	総計	21	36	57	100.0%

3. 復学者健康診断

1. 対 象 平成14年4月1日～10月31日まで休学していた学部学生53名。
2. 方 法 1回目：学務係より、すべての対象者に受診勧奨し、受診希望者は事前に健康診断の予約をとる。健診項目は、定期健康診断と同様の項目で実施する。内科診察は、センター医師のみ。胸部レントゲンは、医療機関に委託し、直接撮影を実施。（読影は、センター医師が実施）
- 2回目：再度、未受診者に自宅へ個別通知で受診勧奨を行う。健診項目は、定期健康診断と同様の項目で実施する（胸部レントゲンを除く）。

3. 健診日程

	健 診 日	時 間	場 所
1 回 目	平成14年9月30日（月）～10月4日（金）	AM9：00～12：00	保健管理センター
2 回 目	平成14年11月13日（水）・20日（水）	PM1：00～6：30	
	平成14年11月14日（木）・21日（木）	PM2：00～4：30	

4. 受診者 1回目6名、2回目1名、合計7名
（退学者20名、休学者11名、定期健康診断受診済2名で、未受診者13名）
5. 受診結果 異常なし7名（内1名、休学理由が精神関連疾患だったが、特に問題なし）
6. ま と め かねてより年度途中の復学者の健康管理については課題となっていたが、今年度より、10月復学者について健康診断を実施することになった。今年度は、学部学生のみを対象に8月末に学務係より、受診勧奨した。結果、6名受診した。
- 学生相談室員会議（10/30）にて結果報告したところ、復学者の健康問題は重要な課題であり、今後継続実施が必要であるとの認識から、再度日程を調整し実施することとなった。学務係と未受診者に個別通知したところ、退学者20名、休学者11名いることがわかった。2回目実施の結果、1名が受診した。
- 今年度は、合計7名受診し、未受診者は13名となった。今後復学者の健康状況を継続把握して行きたい。

4. 外国人留学生特別健康診断

1) 平成14年度 外国人留学生特別健康診断の実施概要

- (1) 対 象 岐阜大学に所属している外国人留学生全員298名（平成14年10月1日現在の留学生在籍者数）
- (2) 方 法 すべての対象者に個別通知で受診勧奨し、健診希望者は原則的に事前申込みとした。日本語、英語、中国語で案内文を出し、留学生に理解が得やすいように工夫している。
- (3) 健診日程

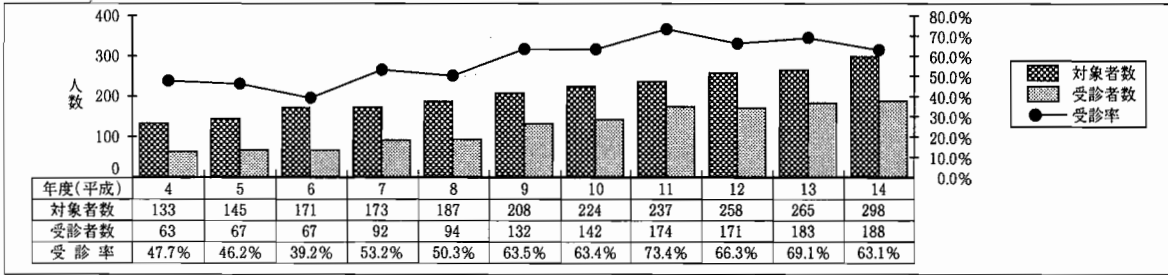
健 診 日	時 間	実 施 場 所
H14年11月12日（火）	AM 8：45～11：00	保健管理センター
H14年11月15日（金）	AM 8：45～11：00	

(4) 健診内容

身長・体重・体内脂肪測定	受 診 者 全 員
血圧測定	
視力測定	
尿 検 査（蛋白・糖・潜血）	
内科診察	
血液検査（血算一式、血液像、総蛋白、ALB、GOT、GPT、γ-GTP、LDH、ALP、アミラーゼ、クレアチニン、尿酸、尿素窒素、血糖、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、血清鉄、総ビリルビン、コリンエステラーゼ、インスリン、CRP、 HIV抗体、梅毒、Hbs抗原、HCV抗体、リパーゼ、アミラーゼアイソザイム、ヘモグロビンA1c)	総ビリルビン1.2以上 直接ビリルビン 追加 間接ビリルビン HIV抗体、梅毒は希望者のみ測定 HBs抗原、HCV抗体は新規在籍者及び未測定者 に実施 アミラーゼ160以上にリパーゼ、アミラーゼアイソザイムを測定 ヘモグロビンA1cは血糖110以上に測定
胸部レントゲン撮影（直接撮影検診車依頼）	春季健康診断受診者は省略可
心電図検査	診察所見による該当者のみ

- (5) 事後指導 血液検査の結果も含め保健管理センター医師により、健診結果の総合判定し、健診結果は個別通知した。検査結果の説明や保健指導、再検査、医療機関の紹介など個々に応じた事後指導を実施した。
- (6) 受診状況 対象者数と受診者数は年々増加している。日本語研修生の受診率は良く、学部留学生の受診状況が悪い。

2) 実施結果



留学生健診年次推移

学部別受診率

学部	在籍身分	対象者数	受診者数	受診率
教育学部 教育学研究科	学部生	1	1	71.1%
	大学院生	5	2	
	研究生	28	23	
	外国人特別聴講生	4	1	
地域科学部 地域科学研究科	学部生	10	3	51.7%
	大学院生	13	9	
	研究生	3	3	
	外国人特別聴講生	3	0	
医学部 医学研究科	学部生	4	1	72.2%
	大学院生	29	22	
	研究生	3	3	
工学部A 工学研究科(前期) 工学研究科(後期)	学部生	30	4	53.4%
	大学院生	57	40	
	研究生	14	10	
	外国人特別聴講生	2	1	
農学部 農学研究科	学部生	1	0	81.3%
	大学院生	16	13	
	研究生	14	13	
	科目等履修生	1	0	
連合農学研究科	大学院生	37	24	64.9%
連合獣医学研究科	大学院生	10	6	60.0%
留学センター	日本語研修生	8	8	69.2%
	日本語・日本文化研修生	5	1	
合計		298	188	63.1%

*配置大学53名除く

在籍身分別受診率内訳

在籍身分	対象者数	受診者数	受診率
学部生	46	9	19.6%
大学院生	167	116	69.5%
研究生	62	52	83.9%
外国人特別聴講生	9	2	22.2%
科目等履修生	1	0	0.0%
日本語研修生	8	8	100.0%
日本語・日本文化研修生	5	1	20.0%

受診者性別・平均年齢

	人数	平均年齢
男	120	31.1歳
女	68	30.5歳
全体	188	30.9歳

区別別受診率

区分	対象者数	受診者数	受診率
国費	81	59	72.8%
私費	200	127	63.5%
政府派遣・県費	17	2	11.8%
総計	298	188	63.1%

検査年月日	予約者数	当日健診受診者数	受診率	胸部Xp受診者数	胸部Xp受診率
2002.11.12	127	114	89.8%	92	80.7%
2002.11.15	71	74	104.2%	55	74.3%
計	198	188	94.9%	147	78.2%

一次検診D判定内訳

血圧高値	5
BMI異常	9
ウイルス性肝炎 ・HBs抗原陽性 ・HCV抗体陽性	3
肝機能異常	7
脂質異常	11
腎・尿路系異常	10
尿酸高値	3
糖代謝異常	4
内分泌系異常	4
貧血など末梢血液異常	5

…糖尿病、1人入院

一次検診(基準値判定) 188名中

A	正常範囲	5	2.7%
B	要観察	16	8.5%
C	要再検査	94	50.0%
D	要医療・精密検査	73	38.8%

一次検診(医師判定) 188名中

A	正常範囲	13	6.9%
B-1	要観察(放置可)	49	26.1%
B-2	要観察(次年度健診)	46	24.5%
C	要再検査	61	32.4%
D	要医療・精密検査	19	10.1%

一次検診医師判定内訳

学部	在籍身分	A(人)	A判定中(%)	B-1(人)	B-1判定中(%)	B-2(人)	B-2判定中(%)	C(人)	C判定中(%)	D(人)	D判定中(%)	総計(人)
教育学部 教育学研究科	学部学生					1						27
	研究生	2	30.8%	3	8.2%	10	26.1%	4	8.2%	2	10.5%	
	特別聴講生			1								
	大学院生	2										
外国人特別聴講生												
地域科学部 地域科学研究科	学部学生					3						15
	研究生	1	7.7%		12.2%		10.9%	2	3.3%		5.3%	
医学部 医学研究科	学部学生			6		2				1		26
	研究生	2	15.4%	1	18.4%	1	8.7%	1	16.4%		5.3%	
工学部 工学研究科(前期) 工学研究科(後期)	学部学生			7		3		9		1		55
	研究生	2	15.4%	1	30.6%	1	23.9%	6	34.4%		31.6%	
	特別聴講生	1										
	大学院生	1				6				11		
外国人特別聴講生				4				6				2
農学部 農学研究科	学部学生			1		2		4		5		26
	研究生	1	0.0%		12.2%	1	13.0%		13.1%		31.6%	
留学センター	日研生			1								9
	日本語研修生		0.0%	3	8.2%	1	2.2%	3	4.9%	1	5.3%	
連合農学研究科	大学院生	4	30.8%	4	8.2%	7	15.2%	8	13.1%	1	5.3%	24
連合獣医学研究科	大学院生		0.0%	1	2.0%		0.0%	4	6.6%	1	5.3%	6
総計		13	6.9%	49	26.1%	46	24.5%	61	32.4%	19	10.1%	188

事後指導・再検査結果(一次検診(医師判定)BCD判定175名の学生の追跡結果)

A	B-1	B-2	C	D	事後指導未	計
異常なし	要経過観察(放置可)	要経過観察(次年度健診)	医療機関紹介 再検査未	医療機関紹介 医療機関治療中		
6	48	84	1	19	1	175

D判定内訳

心室性期外収縮	B-2	1
B型肝炎キャリア	・B-2	3
	・6ヶ月後Hpへ	1
	・医療機関治療中	1
慢性腎不全	医療機関治療中	1
糖尿病	医療機関治療中	1
貧血	医療機関検査中(GIF)	1
紹介状返信未		6

3) 生活習慣 (ライフスタイル) 調査

調査対象 平成14年11月に留学生健康診断を受診した学生188名
回収数 188名 (回収率100%)

表1 回答者内訳

在籍身分	学部生	大学院生	研究生等	計
人数	9	116	63	188
%	4.8%	61.7%	33.5%	100.0%

表2 年齢性別構成

年齢区分	~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	計
男	2	11	32	47	26	2	1	121
女	1	8	21	20	17			67
人数	3	19	53	67	43	2	1	188
%	1.6%	10.1%	28.2%	35.6%	22.9%	1.1%	0.5%	100.0%

表3 来日在籍年数

	1年未満	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
来日年数	55	36	24	29	20	12	4	0	4	3	1
%	29.3%	19.1%	12.8%	15.4%	10.6%	6.4%	2.1%	0.0%	2.1%	1.6%	0.5%
在籍年数	66	42	29	24	11	12	3	1			
%	35.1%	22.3%	15.4%	12.8%	5.9%	6.4%	1.6%	0.5%			

表4 n=188

世帯構成	単身	夫婦のみ	夫婦と子	その他					
	98 52.1%	34 18.1%	52 27.7%	4 2.1%					
住居形態	国際交流会館	賃貸アパート	その他						
	59 31.4%	102 54.3%	27 14.4%						
アルバイト	していない	している	無回答						
	116 61.7%	57 30.3%	15 8.0%						
平日睡眠時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	12時間	無回答	
	4 2.1%	33 17.6%	74 39.4%	62 33.0%	3 1.6%	3 1.6%	1 0.5%	8 4.3%	
休日睡眠時間	4時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	無回答
	1 0.5%	13 6.9%	40 21.3%	72 38.3%	35 18.6%	13 6.9%	1 0.5%	1 0.5%	12 6.4%
朝食	食べる	時々食べる	食べない	無回答					
	129 68.6%	44 23.4%	13 6.9%	2 1.1%					
昼食	食べる	時々食べる	無回答						
	181 96.3%	6 3.2%	1 0.5%						
夕食	食べる	時々食べる	無回答						
	178 94.7%	9 4.8%	1 0.5%						
食事の内容	母国料理	日本風	無回答						
	125 66.5%	55 29.3%	8 4.3%						
外食	毎日	週4~5日	週2~3日	週1日以下	しない	無回答			
	4 2.1%	31 16.5%	6 3.2%	80 42.6%	57 30.3%	10 5.3%			
食品の内容	毎日	週4~5日	週2~3日	週1日以下	食べない	無回答			
	70 37.2%	43 22.9%	54 28.7%	13 6.9%		8 4.3%			
魚	毎日	週4~5日	週2~3日	週1日以下	食べない	無回答			
	17 9.0%	26 13.8%	71 37.8%	60 31.9%	5 2.7%	9 4.8%			
野菜	毎日	週4~5日	週2~3日	週1日以下	食べない	無回答			
	128 68.1%	26 13.8%	23 12.2%	2 1.1%	1 0.5%	8 4.3%			
香辛料 (日本食と比べ)	多い	同量	あまり使わない	無回答					
	74 39.4%	54 28.7%	52 27.7%	8 4.3%					
塩分量 (日本食と比べ)	多い	同量	少ない	無回答					
	61 32.4%	96 51.1%	21 11.2%	10 5.3%					

日本人留学生...平成14年度定期健康診断問診票より、日本人大学院生を比較対照とした

表5 交流活動への参加

世帯構成	参加なし	男	女	参加あり	男	女	参加率
単身 (n=91)	35	26	9	56	28	28	61.5%
夫婦のみ (n=34)	11	8	3	23	19	4	67.6%
夫婦と子 (n=51)	19	14	5	32	20	12	62.7%
その他 (n=4)	1		1	3	1	2	75.0%
計	66	48	18	114	68	46	63.3%

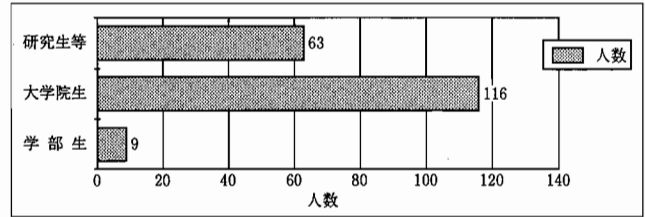
表6 運動習慣

	運動習慣あり	運動習慣なし
男 (n=102)	61 : 59.8%	41 : 40.2%
女 (n=62)	25 : 40.3%	37 : 59.7%
計	86 : 52.4%	78 : 47.6%

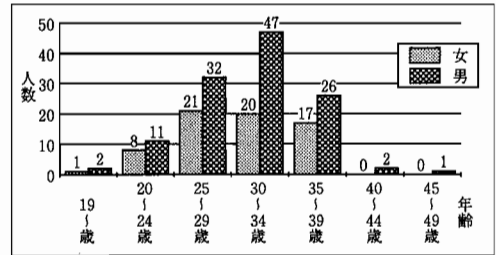
表7 アルコール摂取状況

	毎日	週2~3日	週1日以下	飲まない	無回答
男 (n=121)	5 : 4.1%	10 : 8.3%	37 : 30.6%	64 : 52.9%	5 : 4.1%
女 (n=67)		1 : 1.5%	16 : 23.9%	48 : 71.6%	2 : 3.0%

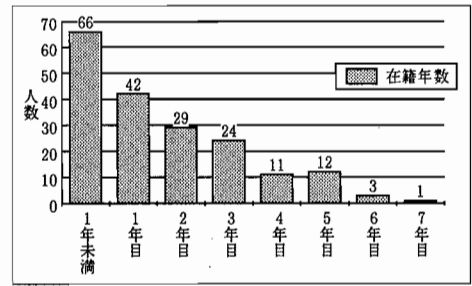
* 日本人学生「飲まない」男24.1% 女32.1%



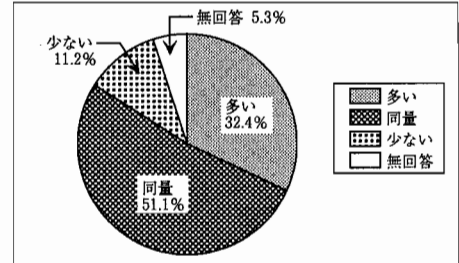
在籍身分内訳



年齢性別構成



在籍年数



塩分量

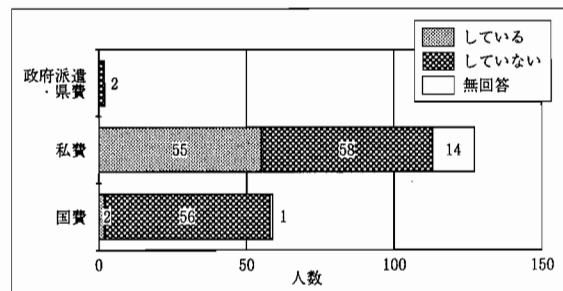
表8 喫煙状況

	吸う	吸わない	中止した	無回答
男 (n=121)	26 : 21.5%	76 : 62.8%	7 : 5.8%	12 : 9.9%
女 (n=67)	0 : 0.0%	65 : 97.0%	0 : 0.0%	2 : 3.0%

* 日本人学生 喫煙率 男26.8% 女6.0%

表9 留学形態別アルバイト状況

	している	していない	無回答
国費	2	56	1
私費	55	58	14
政府派遣・県費		2	
計	57	116	15



留学形態別アルバイト状況

5. 放射線取扱者特別健康診断 血、尿、便

放射線取扱者特別健康診断 (学生) 4年

4月	対象者 132名	実施結果			検査結果					事後措置結果 (d+e)			
		終了者 健診で 済	4月 受診者	未受診 者	a 正 常 範囲	b 要 観察	c 6月後 再検査	d 再検査	e 要医療	放置可	要観察	要医療	未受診
教育学部	1		1		1								
地域科学部	0												
工学部	45		42	3	29	12		1			1		
農学部	23		23		18	4	1						
教育研究科	0												
医学研究科	2		2		1	1							
工学研究科	59	5	53	1	39	11	3						
農学研究科	1		1			1							
連合農学研究科	1		1		1								
連合獣医学研究科	0												
計	132	5	123	4	89	29	4	1	0	1	0	0	0

未受診率 3.0%

10月	対象者 11名		実施結果		検査結果					事後措置結果 (d+e)			
	新規	4月 事後	受診者	未受診 者	a 正 常 範囲	b 要 観察	c 6月後 再検査	d 再検査	e 要医療	放置可	要観察	要医療	未受診
教育学部	1		1		1								
地域科学部	0												
工学部	3		3		2	1							
農学部	0	1		1									
教育研究科	0												
医学研究科	0												
工学研究科	2	4	6		2	4							
農学研究科	0												
連合農学研究科	0												
連合獣医学研究科	0												
計	6	5	10	1	5	5	0	0	0	0	0	0	0

未受診率 9.1%

1月	対象者 94名		実施結果			検査結果					事後措置結果 (d+e)			
	終了者	経過 観察者	受診者	検査 中止	未受診 者	a 正 常 範囲	b 要 観察	c 6月後 再検査	d 再検査	e 要医療	放置可	要観察	要医療	未受診
教育学部	1		1											
地域科学部														
工学部	39	1	38	2			6		2		1	1		
農学部	10	4	10	3	1		2		1			1		
教育研究科														
医学研究科		1	1											
工学研究科	29	7	35	1			5		1		1			
農学研究科		1	1											
連合農学研究科	1													
連合獣医学研究科					1									
計	80	14	86	6	2	0	13	0	4	0	2	2	0	0

未受診率 2.1%

* 経過観察者で終了時健康診断対象者は「修了者」を含む
* 「検査中止」は一年間放射線を取り扱わなかった学生

アイソトープ取扱者特別健康診断（学生）4年生

4 月	対象者 107名	実施結果			検査結果					事後措置結果(d+e)			
		終了者 健診で 済	4 月 受診者	未受診 者	a 正 常 囲	b 要 観 察	c 6 月 後 再 検 査	d 再 検 査	e 要 医 療	放 置 可	要 観 察	要 医 療	未 受 診
教 育 学 部	3	1	2		2								
地 域 科 学 部	3		3										
工 学 部	13	1 (総機関検査)	8	4	2	6							
農 学 部	53		53		42	8	1	2				2	
教 育 研 究 科	0												
医 学 研 究 科	0												
工 学 研 究 科	23	1	19	3	18			1		1			
農 学 研 究 科	2		2					1					1 (10月に検査)
連 合 農 学 研 究 科	6		6		4	1		1		1			
連 合 獣 医 学 研 究 科	4		3	1			1						
計	107	3	96	8	74	15	2	6	0	2	0	2	1

未受診率 7.5%

10 月	対象者 19名		実施結果		検査結果					事後措置結果(d+e)			
	新 規	4 月 事 後	受診者	未受診 者	a 正 常 囲	b 要 観 察	c 6 月 後 再 検 査	d 再 検 査	e 要 医 療	放 置 可	要 観 察	要 医 療	未 受 診
教 育 学 部	2		2		1	1							
地 域 科 学 部	0												
工 学 部	2		2		2								
農 学 部	10	1	11		8	2		1			1		
教 育 研 究 科	0												
医 学 研 究 科	1		1		1								
工 学 研 究 科	0												
農 学 研 究 科	0	3	2	1	2								
連 合 農 学 研 究 科	0												
連 合 獣 医 学 研 究 科	0												
計	15	4	18	1	14	3	0	1	0	0	1	0	0

未受診率 5.3%

(事後該当者1名は対象外となり除く)

1 月	対象者 54名		実施結果			検査結果					事後措置結果(d+e)			
	終了者	経 過 観 察 者	受診者	検 査 中 止	未受診 者	a 正 常 囲	b 要 観 察	c 6 月 後 再 検 査	d 再 検 査	e 要 医 療	放 置 可	要 観 察	要 医 療	未 受 診
教 育 学 部	2	1	3			3								
地 域 科 学 部														
工 学 部	7	1	6	1	1	6								
農 学 部	13	6	19			15	3		1		1			
教 育 研 究 科														
医 学 研 究 科														
工 学 研 究 科	15	2	17			15	2							
農 学 研 究 科	5		5			4	1							
連 合 農 学 研 究 科	1	1	2			2								
連 合 獣 医 学 研 究 科														
計	43	11	52	1	1	45	6	0	1	0	1	0	0	0

未受診率 1.9%

*経過観察者で終了時健康診断対象者は「修了者」を含む
*「検査中止」は一年間放射線を取り扱わなかった学生

6. 新入学生健康調査面接とフォローアップ状況

新入生健康調査面接実施結果

1) 面接実施数

新入生 95.20%

学 部	対 象 数 a	実 施 数 b	後日面接 c	計 b+c	% b+c/a	そ の 他
教育学部	284	282	0	282	99.3%	
医学部	161	159	1	160	99.4%	1
工学部(昼)	550	474	37	511	92.9%	(101休学生)
工学部(夜)	44	24	10	34	77.3%	
農学部	196	176	9	185	94.4%	
農業別科	1	1	0	1	100.0%	
地域科学部	112	109	1	101	98.2%	
総 計	1,348	1,225	58	1,283	95.2%	

編入生 97.6%

編入生全体	対 象 数	実 施 数	後日面接	計	%
	82	78	2	80	97.6%

2) フォローアップ状況

入学時健康調査面接時に相談希望のあった学生は、その場で後日の面接時間を決め実施した。UPI 高得点者や、「死にたくなる」等深刻な項目にチェックのあった者、チェックした項目を総合的に判断して一度ゆっくり話を聞いたほうが良いと判断した者、不調や気になることを記した者、面接官の先生方のコメント等を鑑み、要再面接者46名をスクリーニングした。これらの学生に対し夏休み前より手紙による呼び出し（2回）、電話による呼び出し（複数回）を行い、話を伺い必要な学生は面接へと移行した。

要再面接者と判断した46名

学 部	男	女
教育学部	3	10
医学部	1	5
工学部(昼)	12	3
工学部(夜)	0	0
農学部	1	7
地域科学	3	1
計	20	26

結 果

話を伺うことができた者	36名
連絡が取れない、もしくは未来院者	10名
通院中(精神科)	1名
休学中	1名
複数回面接を行った者	2名
内 継続中	1名

7. 国家資格授与認可医療診察

国家試験を受験する学生を対象に精神科医師による面接を行い、国家試験用の診断書を発行した。

日 時：平成15年3月

場 所：保健管理センター

受診者数：医療技術短期大学部 看護学科 89名

農学部 獣医学科 21名

合 計 110名

面接結果：全員国家試験用診断書発行

8. 入学志願者（前・後期日程）に係る健康状況の確認について

		確 認 依 頼 数	書 類 審 査			高 校 等 へ の 問 い 合 わ せ				精 密 検 査	備 考	
			就学に 支障なし	要精密 検 査	入学後 の管理	小 計	内 科	視 力	その他			小 計
教 育 学 部	前期	1			1	1					0	
	後期	1			1	1						
地 域 科 学 部	前期	0									0	
	後期	0										
医 学 部	前期	0									0	
	後期	0										
工 学 部	昼 間	5			5	5					0	
	後期	0										
夜 間 主	前期	0									0	
	後期	0										
農 学 部	前期	0									0	
	後期	0										
合 計	前期	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	
	後期	0	0	0	1	1	0	0	0	0		

*私費外国人留学生については、該当者なし。

*延べ数である。

9. 各種行事（岐大祭・入試等）救護

(1) 一般診療

利用者数

*右数字は、医療機関紹介数

	11 月		1 月		合 計	
内 科 的 処 置			1		1	
外 科 的 処 置	7				7	
整 形 外 科 的 処 置	1				1	
眼 科 的 処 置					0	
耳 鼻 科 的 処 置					0	
皮 膚 科 的 処 置					0	
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置					0	
精 神 神 経 科 的 処 置					0	
泌 尿 器 科 的 処 置					0	
婦 人 科 的 処 置					0	
そ の 他					0	
合 計	8	0	1	0	9	0

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 面			1		1	
精 神 面					0	
そ の 他					0	
小 計	0	0	1	0	1	0

B 救急処置

創 部 処 置	8				8	
投 薬	1		1		2	
ベ ッ ト 休 養					0	
そ の 他					0	
小 計	9	0	1	0	10	0

C 検査、診察

尿 検 査					0	
血 圧 測 定					0	
心 電 図 検 査					0	
血 液 検 査					0	
診 察	1				1	
ホルター血圧検査					0	
ライフコーダー					0	
紹介状発行					0	
そ の 他					0	
小 計	1		0		1	

A + B + C 延 べ 件 数	10		2		12	
----------------------	----	--	---	--	----	--

10. 疾病分類別要管理者内訳

疾病大分類	病名	学 部		院		医 短		総 計					
		要管理者		要管理者		要管理者		要管理者 N			要管理率 対1000		
		男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
感染症及び寄生虫症	伝染性単核球症		1					0	1	1	0.0	0.4	0.2
新生物	精巣腫瘍	1						1	0	1	0.3	0.0	0.2
	その他			2				2	0	2	0.5	0.0	0.3
血液および造血器の疾病	鉄欠乏性貧血		12		2		1	0	15	15	0.0	6.6	2.5
	その他							0	0	0	0.0	0.0	0.0
内分泌・代謝疾患	甲状腺障害		17					0	17	17	0.0	7.5	2.8
	糖尿病(尿糖要管理者含)	4	1	1				5	1	6	1.3	0.4	1.0
	高脂血症(高脂血症要管理者含)		1					0	1	1	0.0	0.4	0.2
	肥満(肥満検診要管理者含)	118	40	36	2	1	6	155	48	203	41.2	21.0	33.6
	やせ(やせ検診要管理者含)	10	17				1	10	18	28	2.7	7.9	4.6
精神および行動の障害	うつ病	1					1	1	1	2	0.3	0.4	0.3
	その他			1				1	0	1	0.3	0.0	0.2
神経系の疾患	てんかん	1		1				2	0	2	0.5	0.0	0.3
	その他		1					0	1	1	0.0	0.4	0.2
眼の疾患	網膜剥離				1			0	1	1	0.0	0.4	0.2
耳および乳様突起の疾患	聴力障害	2	1					2	1	3	0.5	0.4	0.5
	その他	1						1	0	1	0.3	0.0	0.2
循環器系の疾患	高血圧性疾患(血圧要管理者含)	53	2	14		1		68	2	70	18.1	0.9	11.6
	低血圧							0	0	0	0.0	0.0	0.0
	虚血性心疾患	3						3	0	3	0.8	0.0	0.5
	心肥大	1	1					1	1	2	0.3	0.4	0.3
	伝導障害	3	1	1				4	1	5	1.1	0.4	0.8
	不整脈	13	11	3	1		1	16	13	29	4.2	5.7	4.8
その他	30	16	4	0		1	34	17	51	9.0	7.5	8.4	
呼吸器系の疾患	気管支喘息	3						3	0	3	0.8	0.0	0.5
	自然気胸							0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他(胸部X線要管理者含)	4		3				7	0	7	1.9	0.0	1.2
皮膚及び皮下組織の疾患	アトピー性皮膚炎	9	3	2	2			11	5	16	2.9	2.2	2.6
消化器系の疾患	肝疾患	1						1	0	1	0.3	0.0	0.2
	その他		1	1				1	1	2	0.3	0.4	0.3
筋骨格系及び結合組織の疾患	全身性結合組織障害	1	1					1	1	2	0.3	0.4	0.3
	脊柱障害(側弯要管理者含)	3	2	2	2			5	4	9	1.3	1.8	1.5
	その他	1	1					1	1	2	0.3	0.4	0.3
泌尿器系の疾患	慢性腎炎	2	1		1			2	2	4	0.5	0.9	0.7
	腎不全	1						1	0	1	0.3	0.0	0.2
	尿管結石	1						1	0	1	0.3	0.0	0.2
	尿路系その他の疾患	2	5	1	1		0	3	6	9	0.8	2.6	1.5
	女性性器の非炎症性障害		2					0	2	2	0.0	0.9	0.3
その他(蛋白尿・尿潜血要管理者含)	61	43	17	5			78	48	126	20.7	21.0	20.8	
妊娠、分娩及び産褥	妊娠中				1			0	1	1	0.0	0.4	0.2
先天奇形	循環器系の先天奇形	5	3	1	1			6	4	10	1.6	1.8	1.7
異常検査所見で他に分類されないもの	リンパ節腫脹	1					1	1	1	2	0.3	0.4	0.3
	その他	3			1			3	1	4	0.8	0.4	0.7
総 計		342	185	93	21	2	12	437	218	655	116.0	95.6	108.3
※要管理率(要管理者/受診者数) 受診者数=		3,033	2,017	730	178	3	86	3,766	2,281	6,047			

II 平成14年度 職員の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画
2. 一般定期健康診断
3. 特別定期健康診断等

Ⅱ 平成14年度 職員の健康管理状況の報告

1. 健康管理業務計画

区分	対象者	検査項目等	実施期日		
			柳戸地区	司地区	
一般定期健康診断	教職員全員	身体測定(身長・体重・視力・体脂肪) 内科検診 胸部エックス線間接撮影 血圧検査 尿中の蛋白、糖及び潜血反応の検査	7月22日 7月23日 7月24日	身体測定等 5月21日・22日 胸部エックス線間接撮影 5月21日・22日, 6月6日・7日	
	35歳及び40歳以上	肝機能検査 血清総コレステロール検査 HDLコレステロール検査 中性脂肪検査 貧血検査 血糖検査 心電図検査	13:00~15:30	5月14日・15日 10月16日・17日	
	40歳以上	喀痰細胞診	7月22日~24日	7月	
	40歳以上 (妊娠中の女子職員を除く。)	胃の検査	11月11日 11月12日	5月14日 5月15日	
	40歳以上	便潜血反応検査	7月22日~24日	7月	
	再検	再検者及び精検者	胸部エックス線直接撮影 上記に係る二次検診	8月上旬	7月中旬
	特別定期健康診断	放射線取扱者	皮膚の検査、問診(3か月ごと) 血液の検査(6か月ごと)	4・7・10・1月 4月15日・16日 11月18日~22日	4・7・10・1月 5月14日・15日 11月下旬
病原体汚染業務従事者		自覚症状等の検査 病原体による疾病に特有な症状の検査 病原体の検査	4月15日・16日 11月18日~22日	5月14日・15日 11月	
特定有害物質取扱者		自覚症状等の検査 口腔及び皮膚の検査 血液及び尿の検査 肺臓の検査、肺活量の検査等	4月15日・16日 11月18日~22日	5月14日・15日 11月	
理学療法士		自覚症状及び皮膚等の検査 上肢・頸部及び背部の機能検査	—	6月 12月	
夜勤者		自覚症状等の検査 血圧及び尿の検査	—	6月 12月	
給食等関係者		赤痢菌属・サルモネラ菌属・病原大腸菌O157検査	該当月の中旬	毎月中旬	
		寄生虫卵検査	該当月の中旬	4月・10月中旬	
		自覚症状及び皮膚等の検査 腰部の機能検査	—	6月 12月	
自動車運転手		自覚症状等の検査、眼の検査 聴器の検査、平衡機能の検査 胃腸の検査、血圧検査 上肢・頸部及び腰部の機能検査	5月 11月	6月 12月	
その他		35歳以上の女子職員	子宮癌検診	11月1日~15日	11月1日~15日
	VDT作業従事者	自覚症状等の検査、眼の検査 上肢・頸部及び背部の機能検査	11月21日	12月	

(注) 流域圏科学研究センター高山試験地、教育学部附属学校職員及び農学部附属演習林職員については、関係医療機関において別途実施する。

2. 一般定期健康診断

※人事院様式459号定期健康診断等報告書に基づく

機関名	岐阜大学	職員数	1,586人	うち40才以上	954人
				36歳～39才	161人
				35才	35人

項目	対象者数	受診実人員	受診延人員	要精密検査数	精密検査実施数	要経過観察数	経過観察実施数	指導区分(医療の面)		
								要医療	要観察	
肺	肺がん胸部エックス線検査	954	434	434						
	結核胸部エックス線検査	420	420	420						
	結核胸部エックス線検査	1,586	854	854	3	3			1	
喀痰細胞診		196	84	84						
		17	17	17						
循環器	血圧測定	1,586	856	856	58	36	50	44	43	21
	血糖検査	989	506	506	21	11	17	16		
		482	482	482	3	1	4	4	13	10
	尿検査(蛋白)	1,586	851	851	10	6	13	11		
		598	58	58						
	尿検査(糖)	988	957	957	28	13	18	18	2	3
		989	202	202	5	1	8	3		
	心電図検査	89	89	89	1	1	8	3		
		989	506	506	50	25	19	17		
	血清総コレステロール検査	482	482	482	20	6	11	9	47	16
989		506	506	26	8	26	25			
HDLコレステロール検査	482	482	482	14	3	9	8			
	989	506	506	51	27	37	36			
中性脂肪検査	482	482	482	22	5	19	17	13	26	
	989	506	506	8		4	3			
貧血検査	482	482	482	20	9	3	2	13	12	
	954	77	77	8	5					
胃	エックス線間接撮影									
		2	2	2					1	
肝臓	肝機能検査	989	506	506	59	18	26	24		
		482	482	482	46	10	11	9	21	57
大腸	便潜血反応検査	954	94	94			3	3		
		27	27	27			3	3		2

(注) 項目の対象者数等の二段書について、上段は該当検査年齢者を、下段はそれ以外の者を外数で示す。

尿検査(糖)対象者の下段は血糖検査受診者総数を、上段は全職員数-下段の数を示す。

項目	対象者数	受診実人員	受診延人員	要精密検査数	精密検査実施数	要経過観察数	経過観察実施数	指導区分(医療の面)		
								要医療	要観察	
臨時の健康診断	子宮がん検診	184人	16人	16人	1人	1人				
	V D T 検診	42	26	26	1	1				
	HBs 抗原抗体検査	709	656	1,228	6	1	3			
	尿酸検査	988	988	988	24	5	28	24	22	10
採用時の健康診断	76	76	76							
非常勤職員の健康診断										
総合的な健康診断	575	366	366	109	101					

(注) 総合的な健康診断の受診に関して記入する。

35歳の受診者 5人
40歳以上の受診者 344人

平成14年度保健指導実施状況

4項目有所見者数	8
精密検査実施数	8
うち保健指導実施数	8

(注) 4項目とは、①肥満度の測定(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))

②血圧測定

③血糖検査

④血中脂質検査(血清総コレステロール検査、中性脂肪検査又はHDLコレステロール検査)

をいい、保健指導は、これら4項目のいずれも有所見である者(指導区分で要医療、要観察とされた者を除く。)に、人事院規則10-4の運用について別表第4第11項の精密検査の結果に基づいて行うこととされている。

3. 特別定期健康診断等

項	目	対象者 数	受診 実人員	受診 延人員	要精密 検査数	精密 検査 実施数	要経過 観察数	経過 観察 実施数	指導区分 (医療の面)	
									要医療	要観察
		人	人	人	人	人	人	人	人	人
特別 定期 健康 診断	規則別表第2の業務									
	有害物質取扱者	41	40	76	3	3	8	8		
	紫外線等にさらされる業務									
	粉じん等にさらされる業務									
	病原体に汚染される業務	709	656	1,228	14	9	8	8		
	チェンソー等取扱業務	4	4	4						
	高熱物体取扱業務									
	低温体取扱業務									
	異常気圧下業務									
	騒音業務									
超音波業務										
規則別表第3の業務	放射線取扱業務	232	226	431	2	2	8	8		
	タイプ等業務									
	理学療法士	2	2	4						
	患者の介護等									
	深夜業務	303	279	537	5	2				
	自動車等運転業務									
	給食業務	20	20	240						
	20	20	40	2	1					
	計器監視業務									
特別定期健康診断を必要とする業務への配置前の健康診断										
特別定期健康診断を必要とする非常勤職員の健康診断		247	221	711	2	1				

Ⅲ 平成14年度保健管理センター業務報告

1. 年間業務報告（関係行事）
2. 保健管理センター利用状況
3. 学生相談室活動状況
4. 保健管理センターの利用状況の推移等

Ⅲ 平成14年度保健管理センター業務報告

1. 年間業務報告（関係行事）

（学 生）

月	学 生 関 係	延日数	実 施 日	その他の行事及び業務
4月	入学式（保健管理センターのオリエンテーション） 新入生健康調査・個別面接 定期健康診断① （問診・身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査、 内科診察、胸部レントゲン間接撮影、血圧測定） 放射線取扱者特別定期健康診断（問診・採血）	1 2 8 2	7 7・8 17・18・19・22・23・24・ 25・26 22・23	一般診療・健康相談（通年） 婦人科相談（通年月1回） 皮膚科相談（通年月1回） 整形外科相談（通年月1回）
5月	定期健康診断① （問診・身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査、 内科診察、胸部レントゲン間接撮影、血圧測定） 定期健康診断の再検査／事後指導 （高脂血症、貧血、肥満、やせ、尿蛋白、尿糖、尿潜 血、心電図、血圧、内科診察） 胸部レントゲン直接撮影 定期健康診断の再検査／事後指導（i） （高脂血症、貧血、肥満、やせ、尿蛋白、尿糖、尿潜 血、心電図、血圧、内科診察）	4 13 8	8・10・14・15 15・16・17・20・21・22・ 23・24・27・28・29・30・ 31 随時 21・22・23・24・28・29・ 30・31	
6月	放射線取扱者特別定期健康診断・再検査／結果説明 定期健康診断の再検査／事後指導（司町）（i） 新入生健康調査（UPI）、事後面接 定期健康診断の再検査／事後指導 （高脂血症、貧血、肥満、やせ、尿蛋白、尿糖、尿潜 血、心電図、血圧、内科診察） 禁煙指導	1 12 20	4 13・14・17・18・19・20・ 21・24・25・26・27・28 6月中毎日 随時	東海地区大学保健管理研究会 （当番校） 6/12
7月	定期健康診断の未受診者② …昨年度の経過観察者呼出検査 肥満・やせ二次検診個別指導	3 5	22・23・24 1・2・3・4・5 随時	岐阜県大学保健管理研究会 （於：朝日大学） 7/14 全国大学保健管理協会 東海・北陸地 方部会研究集会（保看班） 7/24 全国大学保健管理協会 東海・北陸地 方部会研究集会（豊橋技術科学大学） 7/25・26
8・9月	サークルリーダー研修会（国立乗鞍青年の家） 復学者健康診断①	3 5	8/6～8/8 30・10/1～4	岐阜地区（保看班）研究会 9/11
10月	定期健康診断の再検査（ii） （高脂血症、貧血、肥満、やせ、尿蛋白、尿糖、尿潜 血、心電図、血圧、内科診察） 放射線取扱者特別定期健康診断（問診・採血）	9 2	1・2・3・4・21・22・23・ 24・25 30・31	第39回全国大学保健管理研究会 （於：東京大学） 10/16・17 学生相談室員会議 10/30
11月	放射線取扱者特別健康診断（問診・採血）再検査、未受 診者健診 外国人留学生特別健康診断 （問診、血液検査、身体計測、血圧、視力、内科診察、 尿検査） 復学者健康診断② 定期健康診断の再検査・事後指導（司町）（ii）	1 2 2 1	1 12・15 13・14・20・21 6	岐大祭救護 10/31～11/3 岐阜地区（保看班）研究会 11/6 メンタルヘルス研究会 11/21
12月	外国人留学生特別健康診断結果説明、事後指導、再検査 肥満・やせ二次検診個別指導	6 5	9・10・11・12・13・19 16・17・18・19・20 随時	岐阜県大学保健管理研究会 12/7 東海地区大学保健管理研究会 （当番校） 12/11
1月	外国人留学生特別健康診断再検査 （血液・尿検査・心電図・再診察） 放射線取扱者特別定期健康診断 （問診・採血）（卒業予定者）	2	随時 30・31	センター運営委員会 1/8 岐阜地区（保看班）研究会 1/11 エイズ講演会 1/16 大学入試センター試験救護 1/18・19 喫煙の害と禁煙教育講演会 1/28
2月	肥満・やせ二次検診個別指導 外国人留学生特別健康診断 事後指導 新入学志願者健康状況確認		随時	一般選抜入試（前期日程、教育学部実 技試験）救護 2/25・26
3月	H15年3月卒業・修了予定者定期健康診断 （問診・身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査、 内科診察、胸部レントゲン間接撮影、血圧測定） 定期健康診断の再検査／事後指導 獣医師免許申請用健康診断 医療技術短期大学部健康診断（国家試験受験用）	4 6 1 1	4・5・6・20 5・6・7・10・13・14・25 18 18	一般選抜入試（後期日程）救護 3/12 保健管理センター運営委員会 3/27 学生相談室員会議 3/27

(職員)

月	職員関係	延日数	実施日	その他の行事及び業務
4月	特定有害特別健康診断(放射線、病原体、有害物質) (問診・採血・検尿・X線) 特定有害特別健康診断(放射線、病原体、有害物質)事後指導・再検査	2 1	15・16 30	一般診療・健康相談(通年) 婦人科相談(通年月1回) 皮膚科相談(通年月1回) 整形外科相談(通年月1回)
5月	特定有害特別健康診断(放射線、病原体、有害物質)事後指導・再検査 自動車運転、給食関係者特別健康診断(問診等) 特別健康診断未受診者健診	2 2 1	1・2 1・2 16	
6月				
7月	定期健康診断(柳戸地区)① (問診・身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査、内科診察、胸部X-P間接、血圧) 放射線取扱者特別健康診断(問診・皮膚の検査)	3 1	22・23・24	職員生活調査
8月	簡易人間ドック③結果説明・事後指導・再検査(i) 定期健康診断①の事後指導・再検査(i)	20 12	随時(予約) -ドック受診者全員 19~30	
9月	簡易人間ドック③結果説明・事後指導・再検査(i) 定期健康診断(柳戸地区)② -経過観察未検者・2年間未検者等	20 1	随時(予約) -ドック受診者全員 25	
10月	特定有害特別健康診断(放射線、病原体、有害物質) (問診・採血・検尿・X線) 定期健康診断①の再検査(ii)、定健②の再検査(i)	2 3	9・10 28~	
11月	定期健康診断①の再検査(ii)、定健②の再検査(i) 特定有害特別健康診断(放射線、病原体、有害物質)事後指導・再検査 子宮癌検診・胃検診 自動車運転手特別健康診断(問診等) 給食関係者特別健康診断(問診等)	8 5 2 1 1	~13 18~22 11・12(胃検診) 18 18	第1回職員健康診断指導区分判定会議 12/5
12月	定期健康診断①の再検査(iii)、定健②の再検査(ii) VDT作業従事者特別健康診断	10 1	2~13 6	
1月	定健未受診-要観察・要管理者の再検査・事後指導 定期健康診断①の再検未受診者の再検査	14 14	14~31 14~31	
2月				第2回職員健康診断指導区分判定会議 2/13
3月				保健管理センター運営委員会 3/27

2. 保健管理センター利用状況

[学生]

(1) 学生一般診療

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科的処置	60	143	124	116	36	51	102	118	202	135	90	38	1,215
外科的処置	23	65	60	53	14	14	64	47	16	23	15	3	397
整形外科的処置	17	40	39	33	7	0	15	30	15	22	14	7	266
眼科的処置	3	7	5	8	3	4	8	2	3	0	6	1	62
耳鼻科的処置	2	6	6	2	2	0	1	0	0	0	2	0	31
皮膚科的処置	5	18	24	36	3	8	16	12	12	9	2	4	156
歯科口腔外科的処置	0	4	2	4	1	0	1	1	1	0	2	1	18
精神神経科的処置	12	18	24	11	1	5	17	12	22	30	11	7	170
泌尿器科的処置	3	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	11
婦人科的処置	7	11	13	15	3	5	11	10	2	6	8	4	93
その他の他	0	3	8	0	4	0	2	10	1	2	0	4	34
合計	132	317	305	282	75	106	250	247	282	238	153	66	2,453

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

再入生中心

医療機関へ紹介

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面	9	45	37	69	16	20	27	21	19	20	10	4	297
精神面	1	6	8	2	0	3	4	5	17	12	6	3	67
その他の他	1	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5
小計	11	51	46	71	16	23	31	27	36	34	16	7	369

B 救急処置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創部処置	28	83	71	43	18	15	72	61	17	32	21	7	460
投薬	63	185	157	118	32	56	136	139	104	141	95	35	1,260
ベッド休養	8	6	13	7	4	2	4	3	4	3	3	0	57
その他の他	0	0	3	1	0	2	1	2	0	0	0	0	9
小計	99	274	244	169	54	75	213	205	125	176	119	42	1,786

C 検査、診察

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿検査	1	2	3	4	4	2	3	2	7	3	0	0	31
血圧測定	2	0	0	0	3	1	0	0	2	0	1	0	9
心電図検査	0	6	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	11
血液検査(採血依頼含)	0	1	7	0	0	0	3	5	2	3	0	3	24
診察	90	231	215	181	53	81	170	179	248	192	135	54	1,828
ホルター血圧検査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ライフコーダー	4	1	1	5	2	2	4	1	3	1	0	0	24
紹介状発行	6	13	23	17	3	12	15	17	15	13	12	5	151
その他の他	13	62	23	32	11	22	11	44	40	61	30	4	353
小計	117	316	272	239	77	120	206	251	317	273	179	66	2,432

A+B+C 延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	227	641	562	479	147	218	450	483	478	483	314	115	4,587

(2) 学生事後措置

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事後措置実施件数	153	517	556	198	42	108	183	73	279	16	18	0	2,568

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

就活が主に行う

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面	9	55	462	64	17	4	51	58	26	4	5	162	917
精神面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	55	462	64	17	4	51	58	26	4	5	162	917

B 事後措置内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿検査	18	88	382	48	10	12	42	7	27	4	2	189	829
血圧測定	11	132	36	11	5	1	0	1	17	0	0	72	286
心電図検査	5	147	6	28	1	0	0	0	5	0	0	38	230
血液検査	5	214	15	69	0	6	105	2	31	5	6	63	521
診察	32	221	272	97	38	6	55	70	42	5	18	201	1,057
ホルター血圧検査	3	4	12	0	0	0	0	1	2	0	0	11	33
ライフコーダー	0	1	1	1	0	0	0	0	4	0	1	0	8
紹介状発行	7	36	16	5	4	1	0	4	3	1	0	25	102
その他の他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小計	81	845	740	259	58	26	202	85	131	15	27	599	3,068

A+B 延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	90	900	1,202	323	75	30	253	143	157	19	32	761	3,985

(3) その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急薬品貸出	6	2	8	3	1							3	23
証明書発行件数(自動)	429	426	258	316	264	80	73	29	22	63	32	2	1,994
証明書発行枚数(自動)	360	788	384	370	280	95	87	34	24	65	38	3	3,128
証明書発行件数(センター)	169	170	43	80	98	9	10	18	26	57	41	27	648
証明書発行枚数(センター)	272	190	59	120	115	9	12	26	65	116	76	54	1,119

【職員】

(1) 職員一般診療

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科的処置	51	84	50	61	62	78	80	83	108	94	89	103	943
外科的処置		2	6	3	3	3	3	4	6	1	2	6	39
整形外科的処置	3	9	3	5	6	9	13	9	10	8	6	5	86
眼科的処置	2		3		4	1	3	1	1	1	3	1	20
耳鼻科的処置	2					2	2	0	2	1	10	13	30
皮膚科的処置	3		3	5	4	3	4	1	2			4	32
歯科口腔外科的処置		3	1	1			1	0	1	1			5
精神神経科的処置	2			1	1	3		3	4	2	4	1	20
泌尿器科的処置					1	1	3	2	1	1	3	1	12
婦人科的処置						1		0					1
その他			1					1					2
合計	63	98	67	76	81	99	109	103	135	109	117	133	1,190

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面	4	12	3	0	5	2	6	0	3	2	3	6	46
精神面													0
その他													0
小計	4	12	3	0	5	2	6	0	3	2	3	6	46

B 救急処置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創部処置	2	3	6	6	4	5	6	4	7			5	48
投薬	41	65	43	55	59	60	83	79	91	90	93	110	869
ベッド休養				2	2			2	2				8
その他		1			1	2						1	5
小計	43	69	49	63	66	67	89	85	100	90	93	116	930

C 検査、診察

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿検査	2	1	2	1	4	2	1	2	6	1	4	2	28
血圧測定	13	17	7	8	24	17	19	21	24	19	20	14	203
心電図検査	1	1					1	3	3	2	3	1	15
血液検査	15	13	4	8	7	19	13	12	23	10	14	15	153
診察	45	88	55	65	71	80	96	100	117	106	107	114	1,044
ホルター血圧検査	1	2				2	1				2		8
ライフコーダー									2	1	3	2	8
紹介状発行	3	6	5	3	6	4	4	7	2	3	4	4	51
その他		1				1		2					4
小計	80	129	73	85	112	125	135	147	177	142	157	152	1,514

A + B + C 延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	127	210	125	148	183	194	230	232	280	234	253	274	2,490

(2) 職員事後措置

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事後措置件数	1	9	1	3	48	2	88	13	160	17	118	9	209

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面				2	4	4		3	4	1	2		20
精神面													0
その他													0
小計	0	0	0	2	4	4	0	3	4	1	2	0	20

B 事後措置内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿検査					1	12	6	32	3	1			55
血圧測定				2	2	33	3	20	8	2	2		72
心電図検査				3	6	7		4	4	2	1	1	28
血液検査	1	1	1	1	6	12	55	83	18	15	9	1	203
診察	1	9	2	46	82	149	55	147	73	28	22	2	616
ホルター血圧検査						6		2			2		10
ライフコーダー								8	2	3	1		14
紹介状発行	0	1	0	2	13	17	9	13	14	5	3	1	78
その他		1				4				2	1		8
小計	2	12	3	54	110	240	128	309	122	58	41	5	1,084

A + B 延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2	12	3	56	114	244	128	312	126	59	43	5	1,104

(3) その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急薬品貸出	1	2	1	2	7	3	3	1	2	1	1	3	27
証明書発行件数(センター)		1	1	1	1						1	1	6
証明書発行枚数(センター)		1	1	1	3						1	1	8

【非常勤職員】

(1) 非常勤職員一般診療・事後措置

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科 的 処 置	1	8	5	2	2	11	5	3		8	1	8	54
外 科 的 処 置								1				2	3
整 形 外 科 的 処 置		2						1				1	4
眼 科 的 処 置	1	1			1	1							3
耳 鼻 科 的 処 置													0
皮 膚 科 的 処 置			1		1	1					1		4
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置								1					1
精 神 神 経 科 的 処 置													0
泌 尿 器 科 的 処 置													0
婦 人 科 的 処 置				1		1		1	1	1			4
そ の 他													0
合 計	2	0	11	0	6	0	3	0	4	1	13	5	4
	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
													73
													8

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 体 面									2			1	3
精 神 面													0
そ の 他													0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3

B 救急処置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創 部 処 置	2	5	6	2	2	2	1	4	7	8	2	5	46
投 薬				1			1						1
ベ ッ ド 休 養													0
そ の 他													0
小 計	2	5	6	3	2	2	2	4	7	8	5	5	51

C 検査、診察

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿 検 査						4							4
血 圧 測 定		2				2							4
心 電 図 検 査				1									1
血 液 検 査													0
診 察	2	9	6	2	3	12	1	3	8	8	3	5	6
ホルター血圧検査		2											2
ライフコーダー													0
紹 介 状 発 行	0	0	0	0	1	5	0	0	2	0	0	0	8
そ の 他													0
小 計	2	0	13	0	6	0	3	0	4	0	23	0	1
	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	10	0	8
													3
													0
													5
													0
													81
													0

A + B + C 件 数	4	18	12	6	6	25	3	9	17	16	9	10	135
再 掲 健 診 事 後 措 置		2			2	8	1		2				15

【外部からの訪問者】

(1) 外部からの訪問者一般診療

利用者数

* 右数字は、医療機関紹介数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科的処置	1			3	3	3		1	1	1	1	5	19
外科的処置	1			5	1								7
整形外科的処置		1		2	1								3
眼科的処置						1							1
耳鼻科的処置													0
皮膚科的処置													0
歯科口腔外科的処置									1				1
精神神経科的処置													0
泌尿器科的処置													0
婦人科的処置	1												2
その他						1							0
合計	3	0	1	0	0	10	1	4	0	5	0	0	33

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面					2	1				1			4
精神面													0
その他													0
小計	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	4

B 救急処置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創部処置	1	1		5	1								8
投薬	3	1		3	1	5		1	2		1	5	22
ベッド休養				1									1
その他				1	2								3
小計	4	2	0	10	4	5	0	1	2	0	1	5	34

C 検査、診察

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿検査													0
血圧測定													0
心電図検査													0
血液検査													0
診察	1			7	2	4		1	2		1	4	22
ホルター血圧検査													0
ライフコーダー													0
紹介状発行				1								3	4
その他													0
小計	1	0	0	8	2	4	0	1	2	0	1	7	26

A + B + C 延べ件数	5	2	0	18	8	10	0	2	4	1	2	12	64
-------------------	---	---	---	----	---	----	---	---	---	---	---	----	----

3. 学生相談室活動状況 ×290面

1) 学生相談室利用数

i) 保健管理センター

	1年		2年		3年		4年		5年以上		院1年		院2年		計			延面接回数
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
教育学	1	6		4		3		2	1						2	15	17	25
医学	3	2		2					1						4	4	8	14
医短・看護学		1													0	1	1	3
工学(昼)	5	2	2	2	1	2	3						1		12	6	18	52
工学(夜)	1								1						2	0	2	7
農学	2	3	1					2				1		1	3	7	10	35
地域科学	1	1		2			1		1						3	4	7	18
計	13	15	3	10	1	5	4	4	4	0	0	1	1	1	26	37	63	154

ii) 学生相談室員

	男	女	計	延面接回数
教育学	1	4	5	20
医学				
医短		3	3	3
工学(昼)	2		2	72
工学(夜)				
農学	2	1	3	19
地域科学				
計	5	8	13	114

	男	女	計
1年	2	1	3
2年			
3年		5	5
4年	1		1
5年以上			
院1年	2	1	3
院2年			
院3年			
院4年		1	1
計	5	8	13

2) 初回面接時の相談内容(重複あり)

	センター	相談室員
進路の悩み	9	7
対人関係	18	5
学業・勉強	6	3
恋愛・性	0	0
健康面の不安	9	2
心理テスト	1	0
家族友人についての相談	2	0
精神的な問題	52	4
その他	0	0

3) 利用合計・対在籍学生比率（1000人あたり）

	男合計	女合計	男比率	女比率
教 育	3	19	2.3	25
医 学	4	4	20	20
医 短	0	4	0	26
工 学（昼）	14	6	6.6	250
工 学（夜）	2	0	6.2	0
農 学	5	8	11	82
地 域 科 学	3	4	15	15
計	31	45	8.2	20

4) 休・退学の推移

休学・退学の状況（件）

区 分	昭和49年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
留 年	190	397	429	363	469	439
休 学	67	159	178	252	254	244
退学・除籍	39	117	157	160	182	156
事故死・病死	1	0	3	3	2	2
自 殺	0	2	0	0	0	0
計	297	675	767	778	907	841

学生数の推移（人）

区 分	昭和49年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
学 部	3,810	5,962	6,043	5,993	6,006	5,994
大 学 院	189	1,008	1,089	1,236	1,273	1,514
短期大学部	537	244	243	253	174	0
留 学 生	34	216	238	252	255	325
計	4,570	7,430	7,613	7,734	7,708	7,833

（注）平成13年度から医療技術短期大学部募集停止：医学部看護学科に改組

Ⅳ 研究・調査報告

1. 入学時U P I（及び下位分類）とB M I 及びその後の推移について
2. 本学における健康診断時のB M I 推移
3. 肥満健診の波及効果
4. B M I ・ 血圧 ・ 生活習慣における日本人大学生と外国人留学生との比較について

以上1～4は、第40回全国大学保健管理研究集会にて発表（2002年10月・東京）

5. 教職員の生活習慣調査の結果

Ⅳ 研究・調査報告

1. 入学時UPI (及び下位分類) とBMI及びその後の推移について

岐阜大学保健管理センター ○森 正樹・田内 路子・長瀬 江利・本多 恭子
御田村 相模・浅田 修一・後藤 紘司

【目的】

肥満者の生活指導にUPI¹⁾を利用する目的で、BMIとUPIの関係、ならびにその後の指導により体重の減少する群と増加する群のUPIについて検討する。

【方法】

2001年度入学した新入生のUPIおよび下位分類と、入学時BMIおよびその後の推移について以下の検討した。(n=1036)

(Ⅰ) 入学時BMIとUPI全得点および下位分類の関係。

(Ⅱ) 入学時BMIが25以上の者に対し生活指導を実施した²⁾。その1年後BMIの減少群(Δ BMI < -0.5) (n=32)と増加群(Δ BMI > 0.5) (n=8)の二群間のUPI全得点および下位分類得点の関係。

【結果】

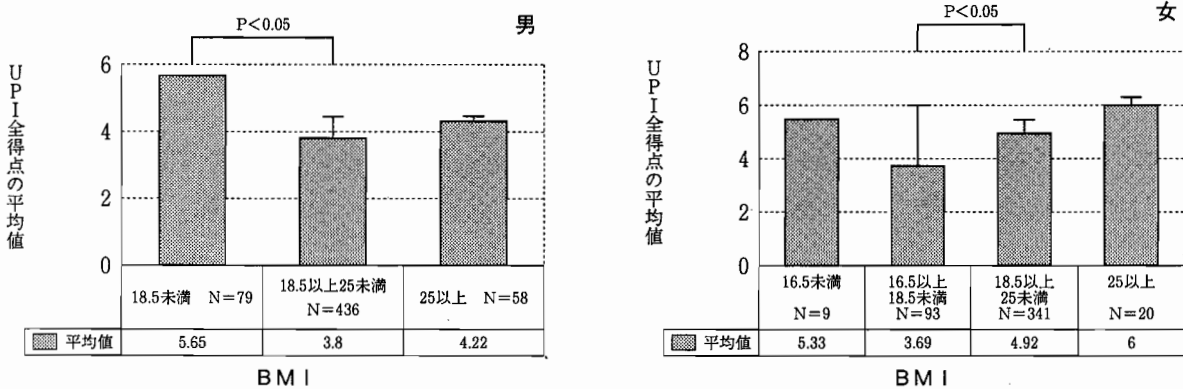


図1. BMIとUPI全得点の平均値

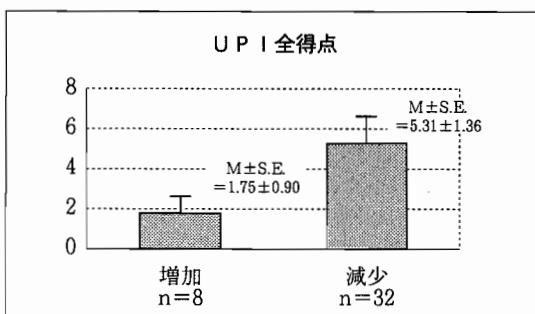


図2-1

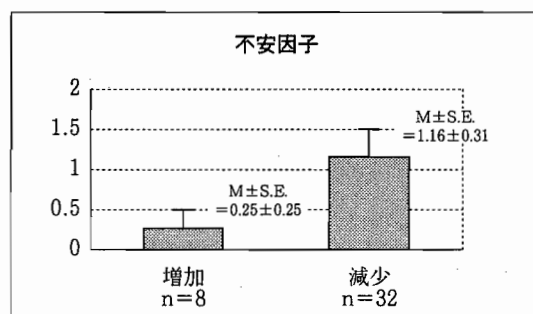


図2-2

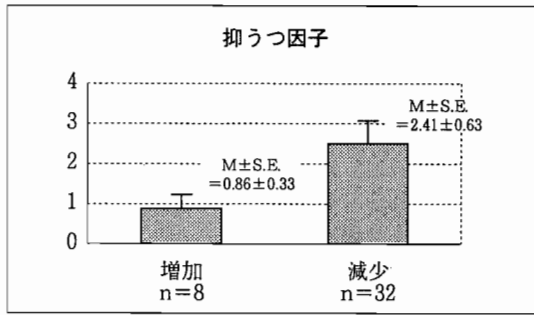


図 2-3

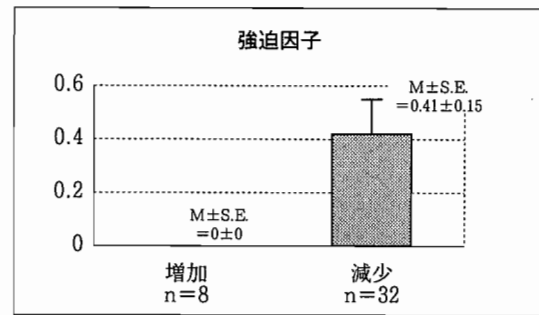


図 2-4

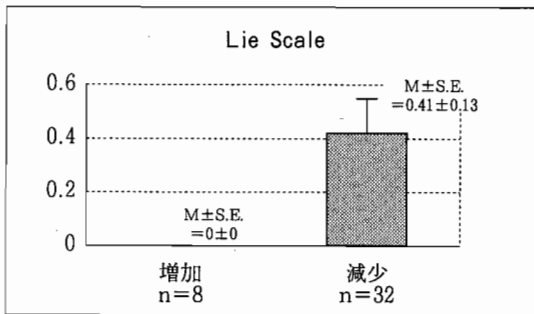


図 2-5

表 1

UPI 全得点	増加	1.75 ± 0.90
	減少	5.31 ± 1.36
抑うつ因子	増加	0.86 ± 0.33
	減少	2.41 ± 0.63
不安因子	増加	0.25 ± 0.25
	減少	1.16 ± 0.31
強迫因子	増加	0 ± 0
	減少	0.41 ± 0.15
Lie Scale	増加	0 ± 0
	減少	0.41 ± 0.13

図 2. BMI の増加した者を減少した者の下位分類項目別比較

(I a) 入学時BMIと全得点では、男子において、入学時BMIが18.5以上25未満の者は、18.5未満の者に比しUPI全得点が有意に低く ($P < 0.05$)、25以上の者に比し低い傾向にあった。女子においては、入学時BMIが16.5以上18.5未満の者(軽度低体重者)が、18.5以上25未満に比しUPI全得点が有意に低く、肥満者 ($BMI > 25$) および、るいそう者 ($BMI < 16.5$) に比し低い傾向にあったが有意差はなかった。(図1) (I b) 入学時BMIと下位分類については、有意な関係はなかった。

(II) 1年後BMIの減少群は、増加群に比し、入学時UPI全得点(図2-1)、抑うつ因子(図2-3)、不安因子(図2-2)、強迫因子(図2-4)、Lie Scale(図2-5)とも、有意に高かった。

【結論】

(I) 男子と女子の間では特徴的な相違が見られた。男子ではBMIが18.5以上25未満の者がUPIの得点が最も低いのにに対し、女子では16.5以上18.5未満の者(軽度低体重者)が最も得点の低い群となり、昨今の特に若年女性における痩せていることを良しとする文化、風潮を反映するものと考えられる。

(II) 入学時BMIが25以上の者に対する生活指導は、効果の表れる群と効果の表れない群には相違があった。入学前の心理状態と食事というひとつのストレスコーピングが結びついていた可能性、入学後の減量を行うに際し効果の表れやすい性格傾向の示唆、等が考察された。

【文献】

- 1) 松原達哉: UPI 学生精神的健康調査, 心理テスト入門(松原達哉編), 145-147, 日本文化科学社, 東京, 1995
- 2) 山本真由美、御田村相模、本多恭子、後藤紘司、高田圭吾: 大学保健管理センターにおける肥満指導の効果判定について, 糖尿病2002, 45 (Supplement 2), S-188

2. 本学における健康診断時のBMI推移

岐阜大学保健管理センター ○御田村 相模・本多 恭子・長瀬 江利・田内 路子
森 正樹・浅田 修一・後藤 絃司

【目的】

食生活の変化とモータリゼーションにより肥満学生の増加が指摘される一方、若者のやせ願望から低体重者の増加も指摘されている。「学生の健康白書2000」¹⁾では、学生のBMIが肥満と羸瘦に両極化する傾向を指摘している。このような背景において、岐阜大学では5年前より肥満学生に対して、2年前より羸瘦学生に対する生活指導およびフォローアップを実施している。この結果が学生のBMIにどのような影響を及ぼしているかを検討した。

【対象及び方法】

「学生の健康白書2000」(平成12年)の結果と平成10年から14年に実施した岐阜大学の定期健康診断を受診した学部生のBMI結果から以下を検討した。

1. 「学生の健康白書2000」のBMI結果と岐阜大学の平成12年度学部生定期健康診断結果を比較した。
2. 平成10年度・12年度・14年度の定期健康結果から岐阜大学のBMIを検討した。
3. 平成10年から14年までのBMI年間変動を、(I)群—低体重(BMI18.5未満)、II群—普通体重(BMI18.5以上25.0未満)、III群(BMI25.0以上)—肥満に分類し比較した。
4. 平成13年度と14年度の両年の定期健康診断を受診した学部生の1年間のBMIの推移の検討

【結果】

(1) 「健康白書」との比較(表1)

岐阜大学は「健康白書」に比べ、男女共に低体重者の割合が高く、肥満者の割合が低かった($p \leq 0.001$)

表1 平成12年健康白書と岐阜大学のBMI分布

区分	学生の健康白書		岐阜大学		
	男	女	男	女	
受診者数	192,730 (62.8%)	114,154 (37.2%)	3,026 (59.3%)	2,073 (40.7%)	
低体重 (18.5未満)	実数 19,530 % 10.13%	20,936 18.3%	374 12.36%	399 19.25%	
普通体重 (18.5~25.0未満)	実数 154,307 % 80.06%	88,000 77.09%	2,373 78.42%	1,599 77.13%	
肥満 (25以上)	実数 18,893 % 9.80%	5,218 4.57%	279 9.22%	75 3.62%	
肥満 (再掲)	肥満(1度) (25~29.9)	実数 15,636 % 8.11%	4,599 4.03%	230 7.60%	60 2.89%
	肥満(2度) (30~34.9)	実数 2,723 % 1.41%	520 0.46%	36 1.19%	13 0.63%
	肥満(3度) (35~39.9)	実数 449 % 0.23%	83 0.07%	9 0.30%	2 0.10%
	肥満(4度) (40以上)	実数 85 % 0.04%	16 0.01%	4 0.13%	0 0.00%

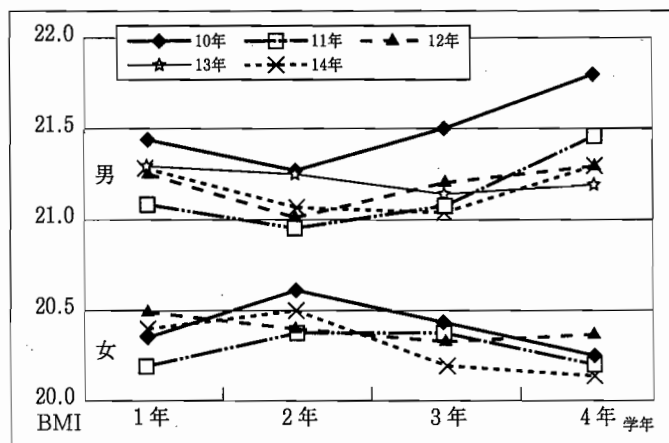


図1 5年間の学年別BMI平均

(2) 5年間の学年別BMIの変動(図1)

男子学生において10年から13年は2年生で減少し3年生以降増加傾向を示したが、14年は新入生のBMIが高く、学年が進んでも増加しなかった。女子学生は、12年を除き2年生で増加傾向を示した。

(3) 平成10年から14年のBMIの年間変動(図2・表2)

1) 男子学生の低体重群のBMIは毎年増加しており、13から14年の増加は 0.38 ± 0.73 (Mean \pm SD) だった。肥満群のBMIは毎年減少しており、13から14年の減少は -0.48 ± 1.92 だった。

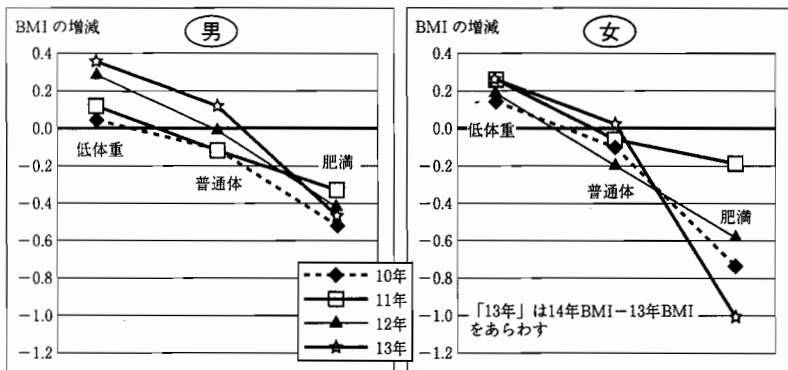


図2 4年間のBMI変動

表2 10~14年度における1年間の肥満度別BMI変化

年 度		10 年		11 年		12 年		13 年	
性別	BMI区分	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
男	低体重	0.04	0.60	0.11	0.61	0.29	0.74	0.36	0.73
	普通体重	-0.11	0.89	-0.12	0.90	0.00	0.87	0.11	0.87
	肥満	-0.51	1.68	-0.33	1.25	-0.41	1.59	-0.48	1.92
女	低体重	0.13	0.79	0.24	0.80	0.18	0.76	0.25	0.85
	普通体重	-0.09	0.89	-0.06	0.96	-0.18	0.87	0.01	0.82
	肥満	-0.72	1.00	-0.18	1.22	-0.56	1.49	-1.00	1.61
BMI区分		10 年		11 年		12 年		13 年 (人)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
低体重		173	221	206	246	238	276	264	320
普通体重		1,390	1,071	1,317	1,077	1,508	1,098	1,522	1,078
肥満		147	32	132	33	169	49	146	58

2) 女子学生の低体重群のBMIは毎年の増加しており、13から14年の増加は 0.25 ± 0.85 だった。肥満群のBMIも毎年減少しており、13から14年の減少は -1.00 ± 1.61 だった。

(4) 13年と14年の両年に健康診断を受診した学生のBMI(図3)

1) 男子学生の低体重群の割合は減少し、普通体重群はBMI増加の方向へシフトした。

2) 女子学生の低体重群と肥満群の割合は減少し、BMI 19~20の割合が増加した。

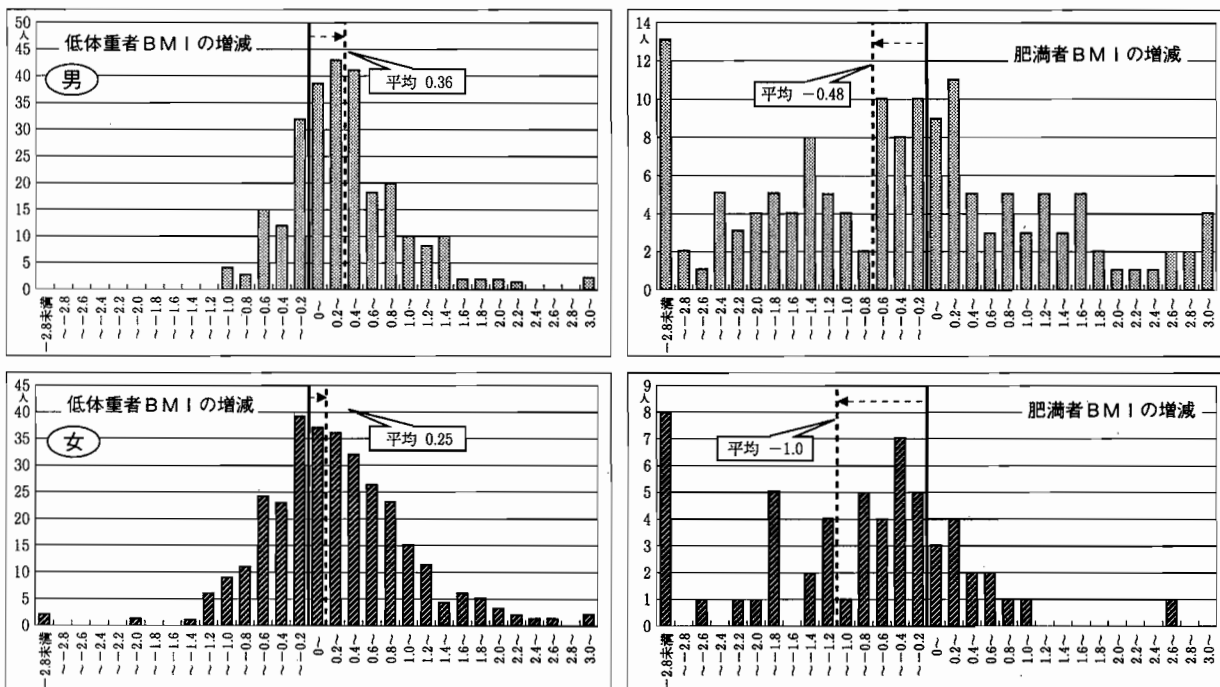


図3 13年度と14年度の両年に健康診断を受診した学生のBMI変化

【考 察】

学生の健康白書や国民栄養の現状²⁾では、男性は肥満とやせが増加していると報告しているが、岐阜大学では男性の肥満者が減少し、さらに肥満者の割合、BMI平均ともに低下していた。すなわち、一般にBMIの両極が示されているのに反し、岐阜大学では平均値に向かうシフトが示された。この理由として、地方にある本学は都市の大学に比し車通学者が多く、また痩身者が好まれる文化もない環境であるなど、BMIを平均へとシフトさせる要因はない。以上のことから、学生のBMIの適正化には肥満者指導とともに羸瘦者指導を併せて行うことの重要性が示されたと思われる。

【結 語】

本学における肥満と羸瘦学生のフォローアップは学生のBMIをより適正に維持することに役立っている。

【引用文献】

- 1) 学生の健康白書作成に関する特別委員会編：学生の健康白書2000，国立大学等保健管理施設協議会，2002.
- 2) 健康栄養情報研究会編：国民栄養の現状－平成12年厚生労働省国民栄養調査結果－，第一出版，59－60，2002.

3. 肥満健診の波及効果

岐阜大学保健管理センター ○御田村 相模・本多 恭子・長瀬 江利・田内 路子・
森 正樹・浅田 修一・後藤 絃司

【目的】

岐阜大学ではBMI 25以上の学生を対象に「肥満」健診を実施している。その健診効果について検証し、今後の保健指導に役立てる。

【対象及び方法】

平成13年度の定期健康診断でBMI 25以上の学生のうち平成14年度の定期健康診断を受診した学生を、I群—肥満健診受診者 (n=126)、II群—肥満健診未受診者 (n=76)、III群—コントロール群 (BMI 25~30未満, n=95) に分類し、(1) 14年度定期健康診断時のBMI結果と各群のBMI推移から検討し、(2) 介入群における年間のBMI変動から最初の指導の効果とその継続について検討した。

岐阜大学の肥満健康診断 (平成13年度)

対 象：定期健康診断でBMI 30以上の全学生と25以上の対象学部学生 (13年度は工学部及び工学部研究科除く)。

周 知 方 法：健康診断時に簡易事後指導面接を実施し、再検査実施要領を周知。

実施時期と方法：前後期に各1回身体計測・血圧測定・血液等の検査、医師による個別結果説明、保健師による生活指導を実施。また、年間継続して身体測定・医師及び保健師による生活指導を実施。

【結果】

1. 3群のBMI変動 (図1・表1)

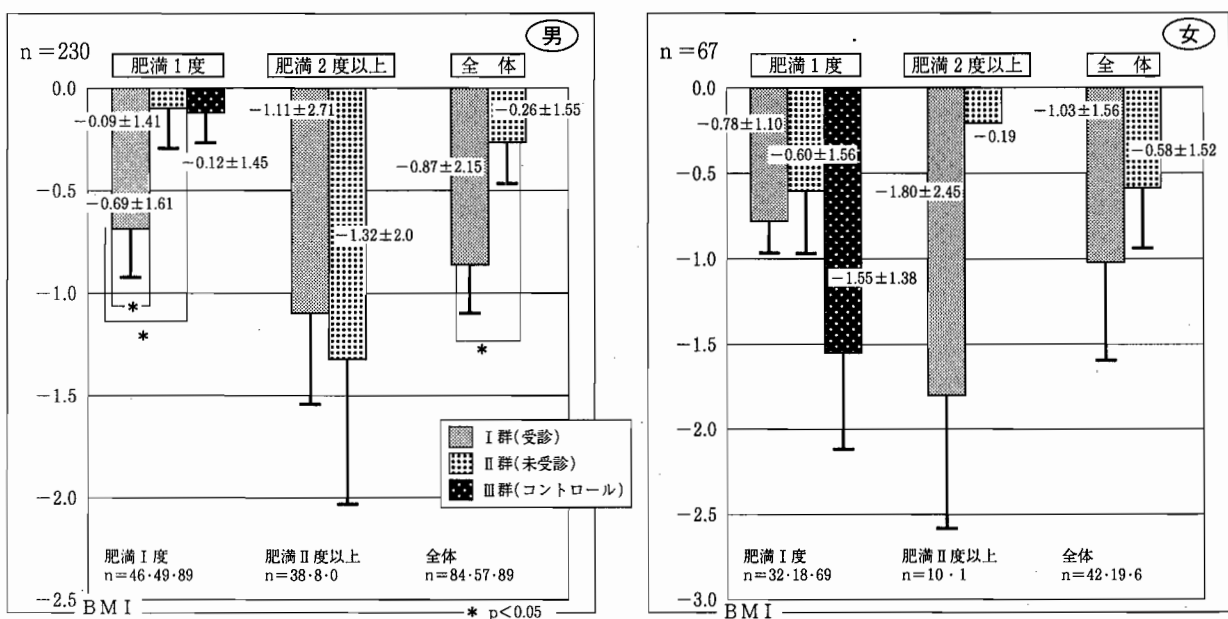


図1 3群のBMI平均と年間変動

表1 3群のBMI変動（増加者と減少者）

区 分		増加(+0.5以上)	±0.5	減少(-0.5以上)	総 計	
I 群 (受診群)	BMI	n	20 15.9%	39 31.0%	67 53.2%	126 100.0%
		変動平均	1.45	0.02	-2.18	-0.92
		標準偏差	0.98	0.28	1.80	1.98
II 群 (未受診群)	BMI	n	18 23.7%	30 39.5%	28 36.8%	76 100.0%
		変動平均	1.50	-0.01	-1.88	-0.34
		標準偏差	0.80	0.27	1.10	1.53
III 群 (コントロール群)	BMI	n	26 27.4%	30 31.6%	39 41.1%	95 100.0%
		変動平均	1.57	0.00	-1.55	-0.21
		標準偏差	0.58	0.09	0.90	2.18
全 体	BMI	n	64 21.5%	99 33.3%	134 45.1%	297 100.0%
		変動平均	1.51	0.01	-1.93	-0.54
		標準偏差	0.83	0.28	1.48	1.75

1) 平成13年と14年に定期健康診断を受診した全学生のBMI変化は 0.07 ± 0.95 (M \pm SD)であった。また、肥満健診受診群の変化は -0.92 ± 1.98 、未受診群 -0.34 ± 1.53 、コントロール群 -0.20 ± 1.47 で受診群のBMI減少は未受診群に対して有意であり、BMI 25~30未満についての3群比較では受診群が未受診群およびコントロール群に比べてBMIの減少が有意であった。

2) 3群のBMI増加 (BMIが+0.5以上) 者は、I群15.9%、II群23.7%、III群27.4%とI群の増加者が少なかったが有意差はみとめなかった。またI群の増加は 1.45 ± 0.98 、II群 1.50 ± 0.80 、III群 1.57 ± 0.58 と3群の増加の程度は近似していた。

2. 介入群 (I群) の年間変動 (表3)

1) 年2回の肥満健診において、2回目を受診した学生のBMIと14年度の定期健康診断時BMIを比較すると、2回目の健診時に減量していた学生のうち77.1%が1年後も減量を継続していたが、不変と増加者の1年後の減量成功率は20%台と低く、有意差を認めた。

2) 2回目の未受診者で1年後に減量していた割合は47.9%だった。

表2 介入群 (I群) の年間変動比較 (BMI増減者数から)

2回目(6カ月後)の受診		14年定期健康診断の結果						計		
		減 少		不 変		増 加				
受 診	78 61.9%	減 少	37	77.1%	10	20.8%	1	2.1%	48	100.0%
		不 変	5	25.0%	8	40.0%	7	35.0%	20	100.0%
		増 加	2	20.0%	4	40.0%	4	40.0%	10	100.0%
未 受 診	48 3.81%		23	47.9%	17	35.4%	8	16.7%	48	100.0%
計	126	100.0%	67	53.2%	39	31.0%	20	15.9%	126	100.0%

【考 察】

男性の肥満I度において、肥満指導の呼びかけに応じた群は応じなかった群とコントロール群に比し減量の程度は有意に大であった。このことは実際に肥満プロトコルに従って減量のコントロールをする必要を示唆した。

一方、肥満II度以上では肥満指導に応じた群と応じなかった群において共に有意に減少しており、且つまったく差を認めなかった。このことは男性の高度肥満者は学内で肥満者にキャンペーン的に呼びか

けるだけでかなりの効果があることを示唆している。

女性は全体的に症例数が少なく有意差はないが、肥満Ⅰ度はコントロール群の減少が大であり、呼びかけに応じなかった群においても減少している。このことは男性の高度肥満者と同じく呼びかけることが体重コントロールの必要性を啓蒙し体重減少に役立つことを示唆している。

足達ら¹⁾は保健所の健康教育における減量指導で4週後と25週後の体重減少における相関係数は0.72と4週後の体重変化が結果を予測する可能性を示唆している。今回の結果では6ヶ月の減量成功者の77%が1年後も減量を継続させており、また2回目の肥満健診を受診しなかった学生の半数が減量に成功していたこととあわせて、初回の事後指導の重要性と有効性を示唆している。今回は学生の自己効力感などの要因分析は実施していないが、今後肥満の生活指導を実施するにはこうした要因を考慮しなければならないことを伺わせた。

【結 語】

本学における肥満学生のフォローアップは学生のBMIをより適正に維持することに役立っている。肥満健診の全学的なキャンペーンを行なうことは個人の指導に役立つのみならず、非参加者にも波及効果があることが示された。

【引用文献】

- 1) 足達淑子, 柴崎忍, 山上敏子: 行動療法を用いた減量指導, 行動療法研究, 11, 4-13, 1985

4. BMI・血圧・生活習慣における日本人大学生と外国人留学生との比較について

岐阜大学保健管理センター ○本多 恭子・御田村 相模・長瀬 江利・田内 路子
浅田 修市・森 正樹・後藤 紘司

【はじめに】

大学生の肥満や血圧は生活習慣と関連があり、生活習慣を是正する教育は重要である。留学生の受入れも年々増加しているが、留学生の場合、風土・生活習慣の異なる異国で自身の健康管理に留意して留学生活を送っていると思われる。外国人留学生と日本人学生の間において、健康診断結果や生活習慣の違いについて比較検討し、健康指導に役立てる目的とした。

【対象及び方法】

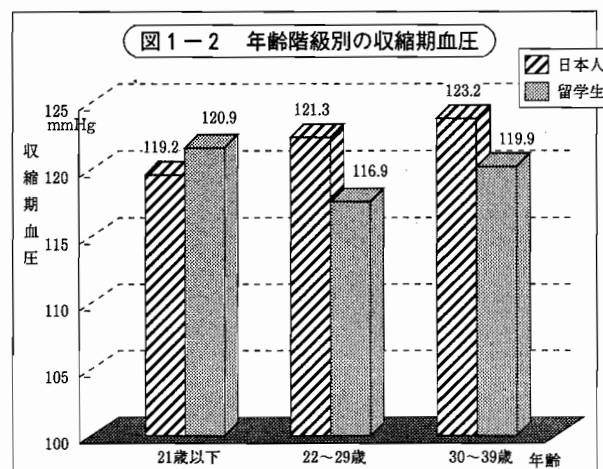
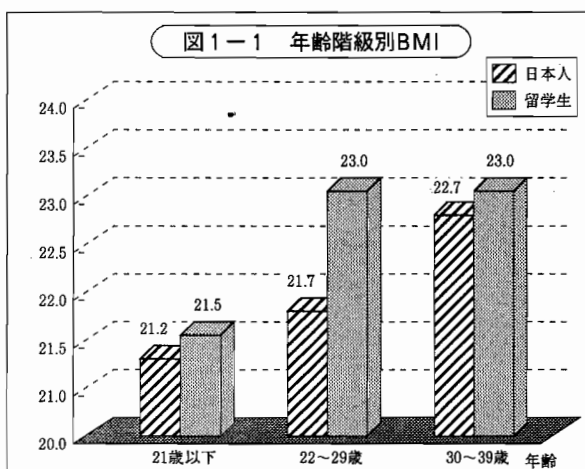
2002年度定期健康診断を受診した男子学生を対象とした。内訳は、日本人学生3,597人（平均年齢21.0±2.5歳）と外国人留学生117人（平均年齢30.0±5.5歳）である。

1. 年齢を「21歳以下」「22～29歳」「30～39歳」の3群に分け、日本人と留学生のBMI及び収縮期血圧を比較した。
2. BMIを「18.5未満」「18.5以上25.0未満」「25.0以上」の3群に分け、日本人と留学生の収縮期血圧を比較した。
3. 健診時の問診票から血圧に関与すると思われる生活習慣¹⁾（アルコール、喫煙、運動、食事）と収縮期血圧との関係を検討した。

【結果】

1. 年齢階級別のBMIと収縮期血圧

BMIはすべての年齢階級で、留学生が高い結果を示した（図1-1）。収縮期血圧は、22歳以上の年齢階級で日本人学生の方が有意に高値を示した（図1-2）。

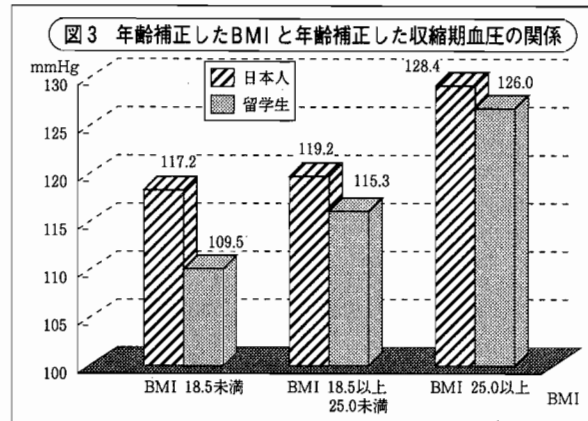
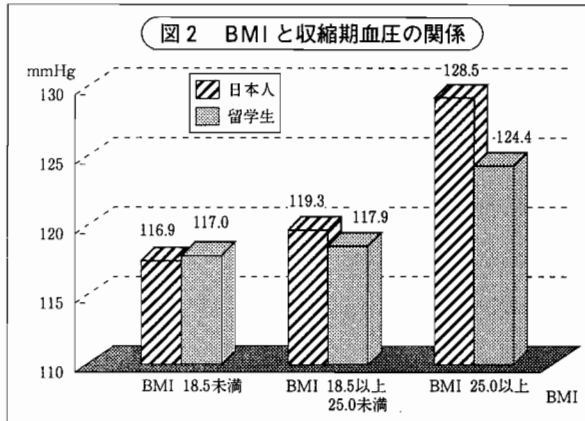


年齢	日本人		留学生		p 値
	N	平均値	N	平均値	
21歳以下	2363	21.2±2.9	14	21.5±1.4	0.2
22～29歳	1176	21.7±3.2	37	23.0±3.2	* p=0.007
30～39歳	58	22.7±3.0	66	23.0±2.2	0.204
計	3597	21.4±3.0	117	22.8±2.5	* p<0.001

年齢	日本人		留学生		p 値
	N	平均値	N	平均値	
21歳以下	2363	119.2±11.1	14	120.9±9.7	0.56
22～29歳	1176	121.3±11.3	37	116.9±11.6	* p=0.017
30～39歳	58	123.2±9.8	66	119.9±10.5	0.09
計	3597	119.2±11.2	117	119.1±10.9	0.45

2. BMI区分と収縮期血圧の関係

BMI別の収縮期血圧は、日本人学生の方が高い傾向を示した(図2)。



BMI	N=	平均年齢		収縮期血圧		p値	
		日本人	留学生	日本人	留学生		
BMI 18.5未満	436	1	20.5	33.0	116.9±11.6	117.0±	
BMI 18.5以上25.0未満	2798	95	21.1	29.7	119.3±10.5	117.9±10.9	0.20
BMI 25.0以上	363	21	21.5	31.5	128.5±12.2	124.4±9.3	0.1
計	3597	117	21.0	30.0	119.9±11.2	119.1±10.9	0.45

補正したBMI	N=	補正した収縮期血圧		p値	
		日本人	留学生		
18.5未満	433	16	117.2±11.6	109.5±10.7	p<0.05
18.5以上25.0未満	2808	92	119.2±10.4	115.3±10.5	p<0.01
25.0以上	356	9	128.4±12.3	126.0±9.9	0.513
計	3597	117	119.9±11.2	115.3±11.0	p<0.01

3. 生活習慣と収縮期血圧

留学生は飲酒習慣は低く、日本人と留学生の比較では「飲まない」群で有意差を認めた(表1)。喫煙状況は、留学生の方が非喫煙者が少なかった。血圧との有意な関係は認められなかった(表2)。留学生の運動習慣は多く、「運動なし」群の日本人は血圧が高値であった(表3)。食事の味付けと血圧の関係は、日本人において「薄味」と「どちらでもない」間に有意差を認めた(表4)。野菜摂取状況は留学生の方がよい傾向にあった(表5)。

【表1】 アルコール摂取状況と血圧の関係

	日本人		留学生		収縮期血圧		p値
	N=	%	N=	%	日本人 平均±SD	留学生 平均±SD	
4回以上/週	185	5.2%	6	6.5%	120.5±11.8	118.8±9.7	0.59
3回以上/週	2,059	58.2%	42	45.7%	119.4±10.6	120.4±10.6	0.5
飲まない	1,292	36.5%	44	47.8%	119.6±10.8	115.7±10.7	p=0.021
計	3,536	100.0%	92	100.0%	119.5±10.7	118.1±10.7	0.21

(χ²=5.84, P=0.054) *p<0.05

【表2】 喫煙状況と血圧の関係

	日本人		留学生		収縮期血圧		p値
	N=	%	N=	%	日本人 平均±SD	留学生 平均±SD	
吸う	702	19.9%	20	21.5%	119.3±10.3	117.9±13.3	0.55
過去に喫煙	275	7.8%	14	15.1%	120.1±11.6	118.0±9.8	0.52
吸わない	2,556	72.3%	59	63.4%	120.1±11.4	118.7±10.9	0.34
計	3,533	100.0%	93	100.0%	119.9±11.2	118.4±11.2	0.21

(χ²=7.13, P=0.05)

【表3】 1週間の運動時間と血圧の関係

	日本人		留学生		収縮期血圧		p値
	N=	%	N=	%	日本人 平均±SD	留学生 平均±SD	
なし	1,799	51.4%	29	35.4%	120.3±11.2	118.8±12.7	0.35
90分未満/週	771	22.0%	29	35.4%	119.7±11.5	119.7±9.3	0.97
90分以上/週	928	26.5%	24	29.3%	119.4±11.0	116.6±10.8	0.29
計	3,498	100.0%	82	100.0%	119.9±11.2	118.4±11.0	0.25

(χ²=10.64, P=0.01) *p<0.05

【表4】 味付けと血圧の関係

	日本人		留学生		収縮期血圧		p値
	N=	%	N=	%	日本人 平均±SD	留学生 平均±SD	
薄い味	689	19.6%	21	22.6%	119.1±11.8	116.8±11.4	0.38
濃い味	999	28.4%	33	35.5%	119.8±11.0	120.2±10.1	0.66
どちらでもない	1,832	52.0%	39	41.9%	120.3±11.0	118.1±11.7	0.23
計	3,520	100.0%	93	100.0%	119.9±11.2	118.5±11.0	0.24

($\chi^2=3.81$, $P=0.149$)

* $p<0.05$

【表5】 野菜摂取と血液の関係

	日本人		留学生		収縮期血圧		p値
	N=	%	N=	%	日本人 平均±SD	留学生 平均±SD	
ほぼ毎日食べる	1,300	37.2%	47	53.4%	120.1±11.5	118.9±9.3	0.69
2～5回/週	2,078	59.5%	40	45.5%	119.9±11.0	117.6±13.4	0.14
1回以下	116	3.3%	1	1.1%	121.5±10.5	129.0±	
計	3,494	100.0%	88	100.0%	120.0±11.2	118.4±11.4	0.21

($\chi^2=10.09$, $P=0.01$)

* $p<0.05$

【考察】

日本人学生と留学生を比較したところ、日本人学生の血圧が高い傾にあった。留学生と日本人で年齢差があるものの、「学生の健康白書2000」を元に両者の年齢を補正した結果、この傾向はよりはっきりした(図3)。なぜ日本人の血圧が高いか、今回遺伝的な要因は検討していないが、留学生は飲酒習慣が低く、運動習慣がよい傾向にあり、野菜摂取状況からも、生活習慣による影響が示唆された。一方で、日本人は自覚しないで食塩摂取量が多いと思われ、意識して食生活を見直したり運動をするなど、健康指導が重要であることが伺えた。

【結語】

本学において、日本人学生の方が留学生より、BMIは低いが、収縮期血圧は高い傾向を示した。その要因として生活習慣の関与が示唆された。

【引用文献】

1) Kaplan NM, Lieberman E. : Clinical Hypertension 7th ed, Baltimore. williams & Wilkins 1998.

5. 教職員の生活習慣調査の結果

岐阜大学保健管理センター

I 生活習慣調査の概要

この調査は、岐阜大学の教職員の生活習慣や健康管理に関する意識や実態を把握し、集団および個人の健康問題を捉えることにより健康づくりに関する取り組みの充実を図ることを目的に実施した。

1. 調査対象 非常勤職員を含む本学教職員全員（計2,070名）
2. 調査期間 14年6月中旬～7月上旬に調査用紙を配布し、各学部で回収後、保健管理センターで結果の集計をした。
3. 調査票回収状況 有効回答数 1,657名（回答率 80.0%）

	対象者数	有効回答数	回答率
本 部	157	121	77.1%
図 書 館	17	17	100.0%
教 育 学 部	190	166	87.4%
地 域 科 学 部	58	42	72.4%
医 学 部	781	651	83.4%
工 学 部	243	201	82.7%
農 学 部	133	120	90.2%
常勤職員小計	1,579	1,318	83.5%
非常勤職員小計	491	339	69.0%
総 計	2,070	1,657	80.0%

4. 回答者（1,657名）の構成内訳

*男 女	*所 属 別	*年 齢 構 成
男 性 950名 (57.3%)	本 部 等 186名 (11.2%)	～ 29歳 404名 (24.4%)
女 性 707名 (42.7%)	図 書 館 28名 (1.7%)	30～39歳 432名 (26.1%)
	教 育 学 部 182名 (11.0%)	40～49歳 390名 (23.5%)
	地 域 科 学 部 48名 (2.9%)	50～59歳 374名 (22.6%)
	医 学 部 856名 (51.7%)	60～69歳 53名 (3.2%)
*雇用形態	工 学 部 212名 (12.8%)	70歳以上 4名 (0.2%)
常勤職員 1,318名 (79.5%)	農 学 部 145名 (8.8%)	
非常勤等 339名 (20.5%)		

II 調査の結果

1. 喫煙について

● 職員の喫煙率は

今回調査の男性喫煙率は28.8%、女性6.6%と、1998年に実施した本学教職員の喫煙率と比較すると、男性が若干上昇し、女性は減少した。

部局別に喫煙率の推移をみると、1998年調査では、男性は部局間での喫煙率に大きな差があったが、今回は部局間の差は縮小した。

	男1998年	男2002年		女1998年	女2002年
本 部	39.8%	28.6%	本 部	0%	4.5%
教育学部	17.5%	31.2%	教育学部	0%	2.3%
地域科学部	30.6%	28.6%	地域科学部	0%	7.7%
医学部	22.3%	30.0%	医学部	9.4%	7.5%
工学部	15.2%	26.0%	工学部	0%	3.2%
農学部	38.5%	27.4%	農学部	0%	10.7%
図書館	55.6%	30.0%	図書館	0%	0%
男性全体	26.1%	28.8%	女性全体	7.6%	6.6%

現在喫煙している321名中203名（63.2%）が「いずれやめたい」と回答。禁煙サポートにも積極的に取り組みたい。

● 年齢別の喫煙率は

男性の場合、年齢階級が若いほど喫煙率が高いことは全国的なほかの調査と同様の傾向である。

	男性	女性
～29歳	36.3%	8.8%
30～39歳	31.2%	2.8%
40～49歳	26.3%	8.2%
50～59歳	29.9%	3.3%
60歳～	14.0%	28.6%
合 計	28.8%	6.6%

● キャンパス内の喫煙に関して（複数回答）

「喫煙場所を整備し、分煙を進めてほしい」48.7%、「キャンパス内は全面禁煙にしてほしい」29.0%、「タバコの自動販売機はなくてもよい」21.5%「今のままでよい」21.5%との意見があった。分煙を進める方向での意見が5割にみられ、キャンパス内全面禁煙への希望が3割。現在喫煙していると回答した321名の意見は、「今のままでよい」が166名と最も多いが、「喫煙場所の整備・分煙促進」が135名と、喫煙者の約半数は分煙に賛同しているといえる。ただし、「全面禁煙」や「自販機撤去」は、非喫煙者の意見がほとんどであり、ノースモーキングキャンパスへの実現目標より、まずはキャンパス内の分煙徹底に取り組む必要があると思われる。

● 周囲での喫煙者に関して

周囲の喫煙者を答えてもらったところ、最も多いのが「職場の同僚」の37%、次に「父親」17.2%「友人」15.4%と続く。職場における受動喫煙の影響を最小限にとどめる為にも分煙化を推進する必要があると思われる。

● 非喫煙者の希望

非喫煙者から喫煙者へは、喫煙場所の遵守や歩きタバコや吸殻のポイ捨て防止等、喫煙マナーに関しての完全の要望が多かった。

● 喫煙者の状況

喫煙者及び前喫煙者の習慣喫煙開始年齢は、男性の場合「20歳」が36.8%と最も高く、「22歳以上」19.7%、「18歳」17.9%と次ぐが、女性は「22歳以上」が34.7%と最も高い。男性の場合は学生時代に喫煙習慣が形成される割合が高いのに反し女性は就職後に喫煙習慣がつく割合が高い。喫煙

の動機にも男女間に差がみられ、「好奇心から」が男性（60.0%）女性（49.5%）とも1位であるが、女性の場合2位に「イライラ解消から」が40.0%にも昇るのに対し男性の2位は「友人の勧め」が23.7%となり、男性の「イライラ解消」の回答は16.8%と少ない。

2. ストレス・休養について

- 最近1ヶ月間にストレスを感じましたか」という問いに対し「大いにある」が31.7%、「多少ある」48.5%、「あまり感じない」15.3%であった。性・年齢階級別に見ると男性30～40歳代、女性20～30歳代で日頃ストレスを感じる割合が高く、30歳代の女性では45.3%が「大いにある」と答えている。ストレスの内容に関しては、男女とも「仕事に関すること」が最も多く、特に20～49歳代の男性で約85%と高率となっている。「ストレスが大きくて逃げ出したいと思ったことがありますか」という問いに対し30.1%が「はい」と回答している。
- 「1ヶ月間の平均残業時間」が「60時間以上」と答えた割合は男性全体で29.4%、特に30歳代の男性は42.3%が「60時間以上」の残業をしている。荷重労働と健診結果等健康状態との関連を検証していく必要がある。
- ニーズに対するフォローアップと今後の課題
健康づくりのための要望の2位が「休養に関する支援」33.7%、3位が「ストレスに関する支援」30.5%と教職員のニーズも高い現状である。ストレスを避けることはできなくとも、ストレスを回避し克服するのに有効な教育的指導やストレスに関するセミナー等の実施計画が今後の課題である。

3. 食生活について

- 「朝食を毎日食べる」20代男性は61.2%、女性は69.2%で最も低率。年齢階級が若いほど朝食の欠食率が高い傾向を示すのは国民栄養調査結果と同様である。間食摂取状況は女性のほうが男性より高率であるが、外食や食品の購入時にカロリー等栄養成分表示を参考にする割合や、栄養のバランスを考えて食事摂取している割合は女性のほうが高い。現在の自分の食生活について「よい」と評価する男性は45.9%、女性は37.2%、「少し問題がある」と感じている割合は男性で41.9%、女性で50.2%。また、自分の食生活を「改善したい」と45.6%が回答しているが、そのうち食事指導を希望するものは13.5%と低率であった。健康づくりのための要望として「食事・栄養に関する支援」を望む割合は20.0%と4位であった。

4. 健康管理について

- 過去1年間に健康診断や人間ドックを受診したと回答した割合は58.1%と低い。14年度柳戸地区教職員の定期健康診断受診数は13年度より約100名増加しており、今後も健診受診率向上に継続して努力したい。
- 現在治療中の病気があるものは、高血圧・高脂血症は40歳代から急増し、40歳以上の男性11.3%が血圧治療中、10.6%が高脂血症治療中と回答している。糖尿病治療中は50歳代から増加している。2次予防として健康診断結果からの事後指導の充実を進め職員全体の健康レベルの向上を目指した

い。

- 自分に適した体重を維持するために何か努力をしていると答えた割合は31.4%。また、日頃から健康の維持・増進のために意識的に体を動かすなどの運動を「いつも心がけている」割合は16.9%、「時々心がけている」55.0%。健康的な生活習慣に「すでに改めている」割合が10.2%、「改めたいと思う」回答が52.5%などの結果から、生活習慣改善の為の具体的な行動アドバイスを通して、数年後に同一質問項目で行動変容を評価していきたい。

5. 健康づくりへの支援・要望

- 最も要望が多かったのは「運動に関すること」の35.8%、現在1日20分以上の運動を行っている割合は23.9%である。余暇に運動することが体に良いとわかっているにもかかわらず余暇時間を確保できない生活を送っている勤労者は多いといわれている。職域で運動に関する支援をどのように展開していくか、関係各部と調整していきたい。医学部においては、休養やストレスに関する支援のニーズが高いことも重視すべきである。「2 ストレス・休養について」の項でも述べたが、ストレス回避の手段や対応についてのセミナー等の計画を図りたい。

V 教育・広報活動

1. エイズ講演会
2. タバコに関する講演会
3. 保健管理センター利用案内
4. 広報「岐大ひろば」への掲載

V 教育・広報活動

1. エイズ講演会

学生・教職員を対象にH I Vの現状、なぜエイズが問題なのか等、エイズの理解と予防のための講演会を開催した。

日 時 平成15年1月16日(木)
場 所 岐阜大学小講堂(附属図書館)
講 師 岐阜大学医学部 免疫アレルギー内分沁学講座 鶴見 寿氏
演 題 「エイズについて」
参加者 約271人

2. タバコに関する講演会

学生・教職員を対象に、禁煙の啓蒙を図るために喫煙に関する講演会を開催した。参加した学生・教職員は、喫煙者は発ガン率が高くなること、受動喫煙の影響ならびに禁煙の方法について、熱心に聴講した。

日 時 平成15年1月28日(火)
場 所 岐阜大学小講堂(附属図書館)
講 師 岐阜女子大学 教授 飯田真美氏
演 題 「タバコについて」
講 師 保健管理センター所長 後藤紘司氏
演 題 「煙草の害について」
参加者 約231人

3. 保健管理センター利用案内

保健管理センター利用案内

14年度

～ 明るく健康な学生生活のために ～

相談

身体面・精神面・その他誰に相談してよいかわからないような問題・悩み事の相談に応じます。相談内容の秘密は守られますので安心して相談してください。
整形外科・産婦人科・皮膚科の専門医による相談日も毎月1回あります。

救急処置

救急薬品を常備し、急病・怪我などの応急処置をしています。応急処置はできますが、長期治療はできません。休養ベッドもありますので、気分が悪い時は休むこともできます。

健康診断

全学生を対象として4～5月に実施される定期健康診断や特別・臨時の健康診断を実施しています。必ず毎年受診して、自分の健康をチェックしましょう。
なお、健康診断を受けていないと就職や進学等に必要な健康診断証明書の発行はできません。

その他

サークルの合宿・遠征等に必要な救急薬品の貸し出しや、エイズ・タバコ等健康に関する知識の啓蒙活動をします。

利用するには

受付時間 月・火・木・金曜日 9:00～16:30

水曜日 9:00～18:30(但し授業日に限る)

方法 保健管理センターに直接来所して、申し込んでください。センターにこられない場合は、直通電話(058)293-2174による相談も受け付けます。

保健師・看護師は常時相談に応じますが、医師による相談・診察は上記の時間帯になります。

健康相談・診察

▶ 柳戸地区(担当医師)

平成14年

曜日	診療科	午前	午後
月	内科 精神神経科	森正樹	浅田修市 三輪佳行 森正樹 (14年6月より)
火	内科 精神神経科	浅田修市 森正樹	大野康 森正樹
水	内科 精神神経科	後藤紘司	石澤正剛 後藤紘司
木	内科 精神神経科	後藤紘司 森正樹	高田信幸 浅田修市
金	内科 精神神経科	後藤紘司	浅田修市

都合により診療担当医師は変更になる場合があります

月1回担当医師

整形外科 第1木曜日 9時～12時
青木隆明医師

産婦人科 第3火曜日 9時～12時
田上慶子医師

皮膚科 第2火曜日 9時～12時
永井美貴医師

▶ 司地区(担当医師)

白鳥義宗医師(第1内科) - 6月まで、

村田一知朗医師(第2内科) - 7月から

*詳細は保健管理センターに申し込んでください。

お知らせ

病状によっては医療機関を紹介しますので、家族と離れて生活する場合は保険証の「遠隔地被扶養者証」を必ず手元に用意しておいてください。

保健管理センターからの連絡は、各学部の掲示板で行います。

4. 広報「岐大ひろば」への掲載

(1) 2002年10月 vol.39

保健管理センターから

いわゆる“自律神経失調症”について

保健管理センター 森 正樹

「ストレスの時代」「心の時代」と言われて久しくなります。これは学生にもあてはまります。社会人より自由である反面、“主体性”と言いますが、多くの事を自分で決定し行動していくことが求められます。「若気の至り」という言葉がありますが、学生は良く言えば“純粋”、“一途”、悪く言えば“周囲が見えていない”、“バランス感覚の欠如”の傾向があるように思います。そういった中で、なんとなく体の調子が悪いという学生が増えていきます。

人間は本来「すこやかに生きる機能」が備わっており、それをひとりで無意識に行うものの一つが自律神経と言えるでしょう。自律神経は体の内部からの情報や、外部からの刺激に反応しながら自動的に働きます。が、現代という慌ただしい時代を、人間としてより良く生きたいという欲求が、その働きに不調を起こさせます。それが“自律神経失調症”と言えると思います。

自律神経には、交感神経と副交感神経があり、交感神経は緊張、活動型、副交感神経は休息、体力回復型の神経です。私たちの生物としての内部環境と外部環境は、時々刻々と変化していきます。その変化に対応していくために、この2系統の神経が絶妙なバランスをもって働くことにより、各臓器の機能が調節されています。このバランスが極端に片方に傾き一方が過剰に働く時、“すこやかな”状態から離れ“異変”が起きます。例えば、交感神経の緊張が続いて抹消の血管の収縮が持続すると、血行不良になると同時に代謝が障害され、肩こり、筋緊張型頭痛が起きます。副交感神経が強く働きすぎると気管支の筋肉が収縮し、息苦しさ、喘息様発作が起きます(図1)。

この外部環境(人間関係、勉強、仕事の量あるいは質的变化、人生における様々な出来事など)にうまく適応している間は良いのですが、適応しようとするあまりそれが「可適応」となり、過度のストレスとなって体の内部の調節が乱れてくることがあります。心と体の相関は実に密接です。思い出してみてください。昔、運動会の“かけっこ”で「ヨーイ」と声がかかった時、好きな人に初めて話しかけようとした時の心と体の変化をみなさんも経験していることと思います。いわば、それに似た状態が長く続くことによって、脳から自律神経にいたる調節機能が不調を起こすのです(図2)。

ある統計によると、最近の7年間で、全国の医療機関で「自律神経失調症」と診断された件数は1.6倍に、処方件数は11倍になっていると言われています。

“自律神経失調症”(欧米にはこの言葉はありません)は、現在の暫定的な定義としては、「検査をしてもその症状を裏付ける異常所見が見出されず、また器質的に(解剖学的に、広い意味で目に見える形として)病変が無いのに、自律神経機能の障害によって様々な体の不定愁訴(少数のみということもあります)を訴える状態」とされています。自律神経失調症には非常に個人差があり、ある人は頭痛、ある人は吐き気、ある人は下痢というように多様です。これは個人個人によってストレスを受けやすい部分、ストレスの影響が出やすい部分が違うからだとも言われています。

ただ気を付けなければならないのは「自律神経失調症」という病名は、時に隠れみのの役目として使われるということです。最近増えている「うつ病」や「神経症」という病名は、患者さんやその家族の方に敬遠されるために、またこのような“こころの病”(ただし最近はこの疾患も、主に脳内の物質の変化として説明しようとする動きが、世界的に急速に進んでいます。

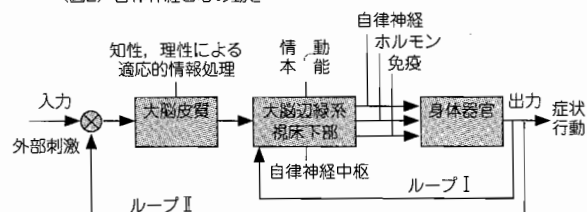
しかし、まだまだある方向からほんの一面を見ているに過ぎないという印象は拭ききれません)に対して社会の偏見がまだあるため、実は「うつ病」や「神経症」であっても「自律神経失調症」としておくことがあります。この場合は医者、患者双方に暗黙の了解がなされていますが、実際には「うつ病」、「神経症」であるのに診断しきれずに「自律神経失調症」としている場合もあるので注意が必要です。

次に治療ですが、もちろん薬剤によって行われる場合もあります。しかし、病気の根本というより病状をとるために行う対症療法になりがちです。それ程“重症”でない、もしくは服薬したくないという場合、私は自律訓練法をお勧めしています。保健管理センターにて指導のもと練習することも当然可能ですが、本を購入し自分で練習することでマスターできるものです(例えば、「自立調節法」佐々木雄二(日本自律訓練学会会長)著、青春出版社刊、800円)。ただ、医療機関を訪れること無く自己判断することは危険性がありますので、長く症状が続く場合などは診察を受けて必要ならば検査をすることは肝要です。自律訓練法(名前はいかついイメージですが)は一言でいえば、リラクセス練習法、“インスタントな禅”と言う人もいます。“副作用”はありませんし、道具、お金も要りません。ただしマスターするのに1ヶ月ほど継続して行うことが必要です。この激動の時代、同時代を生きる者として、みなさんのすこやかな心と体を願っています。

(図1) 効果器官ごとの交感、副交感神経の役割(宇尾野、一部改変)

交感神経刺激	効果器官	副交感神経刺激
拡大	瞳孔	縮小
突出	眼球	陥没
促進	汗腺	不変
収縮(鳥肌が立つ)	立毛筋	不変
収縮、弛緩	骨格筋	不変
促進	精神活動	不変
促進	基礎代謝	不変
収縮、心拍数増加	心筋	弛緩、心拍数減少
拡張	冠動脈	収縮
上昇	血圧	下降
抑制	気管支	収縮
促進	呼吸運動	抑制
抑制	食道、胃、腸運動	促進
濃度増加	唾液腺	分泌量の増加
抑制	消化液の分泌	促進
弛緩(閉尿)	膀胱	収縮(排尿)
射精	陰茎	勃起
収縮	子宮	弛緩
促進	下垂体、甲状腺、副腎の分泌の遊離	抑制
促進	排卵	不変
増加	白血球数	減少
促進	血液凝固	不変
上昇	血糖、血中脂質	不変

(図2) 自律神経と心の動き



運動習慣のすすめ

保健管理センター 御田村 相模

大学生時代は事故などを除けば人生の中で体力に恵まれ、健康障害とは無縁の世代のように思えます。しかし、コンビニ弁当を食べ、車で通学し、清涼飲料水を飲む姿からは将来の健康障害を危惧してしまいます。「何を、どれだけ、誰と、どこで、どのようにして食べるか」は下宿生とか自宅通学生の区別なく、誰もが日々繰り返している食選択ですが、その選択が将来の健康と大きくかかわっています。このほか「運動」「休養」など、私たちが日々の生活で選択している行為は健康生活を維持してゆくことができるか否かの重要な選択であり、健康生活の基本課題なのです。

今回は「肥満予防」をキーワードに「食」と「運動」について提案します。

1. 適正体重と内臓脂肪

現在最も一般的に用いられている肥満の目安は、BMI (body mass index) (表1) で22を理想的な値としています。この値は統計的にみた場合最も病気にかかる率が低く平均寿命も長いとされます。しかし、見かけは“適正”であっても脂肪の割合が多い「隠れ肥満」のように糖代謝や脂質代謝異常を起こしやすい余分な内臓脂肪の蓄積には注意しなければなりません。

脂肪細胞は飢餓状態が続いた場合に備えてのエネルギー貯蔵庫として重要ですが、最近の研究で種々(レプチン・PAI-1・TNF-α)のアディポサイトカイン(生理活性物質)の分泌器官であることがあきらかにされてきて、生活習慣病の予防には体脂肪を適正にすることが重要だと考えられています。適正体重の目指すところは余分な体脂肪を蓄積せず、将来の生活習慣病を予防することにあります。

表1 BMIによる肥満の判定

BMI(日本肥満学会 1993)		BMI(日本肥満学会 1999)	
	やせ	18.5未満	低体重
19.8未満	やせ	18.5以上25未満	普通体重
19.8以上26.4未満	普通	25以上30未満	肥満1度
24.2以上26.4未満	過体重	30以上35未満	肥満2度
26.4以上	肥満	35以上40未満	肥満3度
		40以上	肥満4度

BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)
標準体重(健康体重) = 身長(m)の二乗 × 22

2. 運動習慣

運動は減量と体重の維持を容易にします。

体重の維持のためには摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスを保つように食生活を是正すればよいわけです。しかし減食ばかりに終始していると体脂肪のほかに骨・筋肉などの減少を引き起こします。その結果、加齢や筋肉の減少に伴う基礎代謝(安静時に必要なエネルギー量)の低下が消費

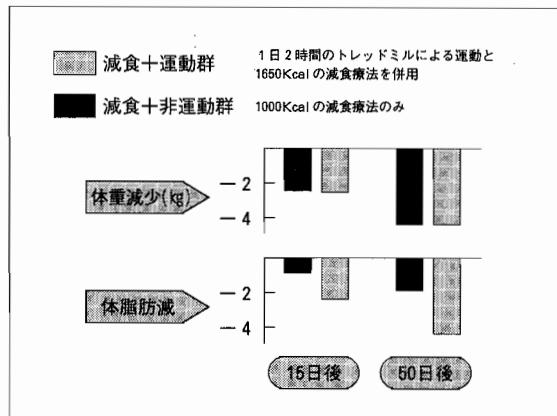


図1 減食による減量と運動、非運動による効果比較
(鈴木横次郎ほか: 肥満治療のための運動と栄養の処方に関する研究. 体育科学5: 355-359, 1987) (筆者一部改変)

エネルギーを減少させ、摂取エネルギーは同じでも太りやすくなってゆきます。

筋肉は脂肪組織と比較して基礎代謝に要するエネルギーが大きく、筋肉量を維持・増加させることは基礎代謝を高め太りにくい体をつくり出します。私たちが運動を開始すると、エネルギー源として血液中の糖分や、筋肉や肝臓に蓄えられているグリコーゲンという糖質が最初に消費され、その後ゆっくりと脂肪が燃えてきます。

内臓脂肪は皮下脂肪に比べて運動により減少しやすく、運動は、内臓脂肪の余分な蓄積による代謝障害を予防改善します(図1)。

3. 日常生活における運動

前述のような目的で行う運動は、歩くことに代表されるエアロビクス(有酸素運動)と、押す・引くなどの基本動作を繰り返し筋肉に負荷をかける静的運動を組み合わせるのが望ましいとされます。学生時代は人生の中で筋力を高めるのに最も効果が期待できる年齢であることから、体育実技授業やサークル活動に参加し、積極的な筋力・体力づくりを目指して下さい。しかし、運動の効果は3日目にはなくなると報告されており、健康づくりのための運動は日常生活において無理なく継続できるスタイルで取り入れることも大切な要件です。「座るよりは立つ」「乗るより歩く」といったライフスタイルを実践することから始めてみてよいでしょう。若いから、体力があるからといっても運動は不可欠です。日常生活の中で運動(動く)習慣を身につけ、生涯にわたる健康づくり・体力づくりの基礎固めをしよう。(運動の詳細はセンターから配布した「キャンパスライフの健康管理」を参照)

大学時代は一人一人が将来に向けて個性ある生活習慣を形成して行く第2のスタートです。あなたはどんな生活習慣を選択しますか?

Ⅵ 保健管理センター規則等

1. 岐阜大学保健管理センター規則
2. 岐阜大学保健管理センター運営委員会規則
3. 岐阜大学保健管理センター学生相談室細則
4. 岐阜大学健康管理機構略図
5. 保健管理センター学生相談室員・学校医
6. 保健管理センター関係委員会及び関係職員
7. 建物平面図・位置図

Ⅵ 保健管理センター規則等

1. 岐阜大学保健管理センター規則 (昭和49年7月16日 岐阜大学規則第14号)

(趣旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター(以下「保健管理センター」という。)は、岐阜大学(岐阜大学医療技術短期大学部(以下「医療技術短期大学部」という。))を含む。以下「本学」という。)における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- 三 健康相談に応ずること。
- 四 救急処置を行うこと。
- 五 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- 六 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
- 七 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
- 八 その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 専任の教官
- 三 技術職員
- 四 事務職員

(分室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(学生相談室)

第5条 保健管理センターに、学生のカウンセリングを行うため、学生相談室を置く。

2 学生相談室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長の職務)

第6条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

(所長等の選考)

第7条 所長及び専任の教官の選考については、別に定める。

(審議機関)

第8条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会を置く。

(事務)

第9条 保健管理センターに関する事務は、学生部厚生課において処理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和49年7月16日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については総務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課において、それぞれ処理するものとする。

附 則

この規則は、昭和55年12月18日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2. 岐阜大学保健管理センター運営委員会規則 (平成12年3月31日 岐阜大学規則第14条)

(趣 旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学医療技術短期大学部（以下「医療技術短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項及び岐阜大学保健管理センター（以下「センター」という。）に関する事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 センター所長
- 二 副学長（教学担当）
- 三 センターの専任の教官
- 四 各学部及び医療技術短期大学部のうちから選出された教官 各1人
- 五 総務部長及び学生部長
- 六 その他委員会が必要と認める者

2 前項第4号及び第6号に規定する委員は、学長が委嘱する。

(任期)

第3条 前条第1項第4号及び第6号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、及び教育公務員特例法の規定によりその権限に属させられた事項を行う。

- 一 保健管理の基本方針に関すること。
- 二 環境衛生の維持改善に関すること。
- 三 センター所長候補者の選考に関すること。
- 四 センターの教育又は研究に関する重要事項
- 五 センターの予算及び決算に関すること。
- 六 センターの業務計画に関すること。
- 七 その他保健管理及びセンターの管理運営に関する重要事項

2 教育公務員特例法の規定によりその権限に属させられた事項又は前項第3号について審議する場合には、第2条第1項第5号及び第6号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 4 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の三分の二以上の出席をもって成立する。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。ただし、教育公務員特例法の規定によりその権限に属させられた事項及び第4条第1項第3号に掲げる事項については、出席委員の三分の二以上をもって決するものとする。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学生部厚生課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 岐阜大学保健管理委員会規則（昭和49年岐阜大学規則第13号）は、廃止する。

3. 岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岐阜大学保健管理センター規則第5条第2項の規定に基づき、岐阜大学保健管理センター学生相談室（以下「学生相談室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(業 務)

第2条 学生相談室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 心身の悩みに関する個人相談に応ずること。
- 二 相談・助言及び指導に必要な資料を備えること。
- 三 相談・助言及び指導の調査、研究を行うこと。

(組 織)

第3条 学生相談室に次の職員を置く。

- 一 室長
- 二 学生相談室員

2 室長は、保健管理センター所長をもって充てる。

3 学生相談室員は、保健管理センターの専任教官及び保健管理センター所長が推薦する者をもって充てる。

4 前項に規定する保健管理センター所長が推薦する学生相談室員は、学長が委嘱する。

(秘密の厳守)

第4条 相談内容については、秘密を厳守する。

(学生相談室会議)

第5条 室長は、相談・助言及び指導に関し必要なときは、学生相談室員を招集し、学生相談室会議を主宰することができる。

2 室長は、学生相談室会議の議長となる。

3 室長に事故があるときは、室長があらかじめ指名する者が議長を代理する。

4 室長が必要と認めるときは、学生相談室会議に学生相談室員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

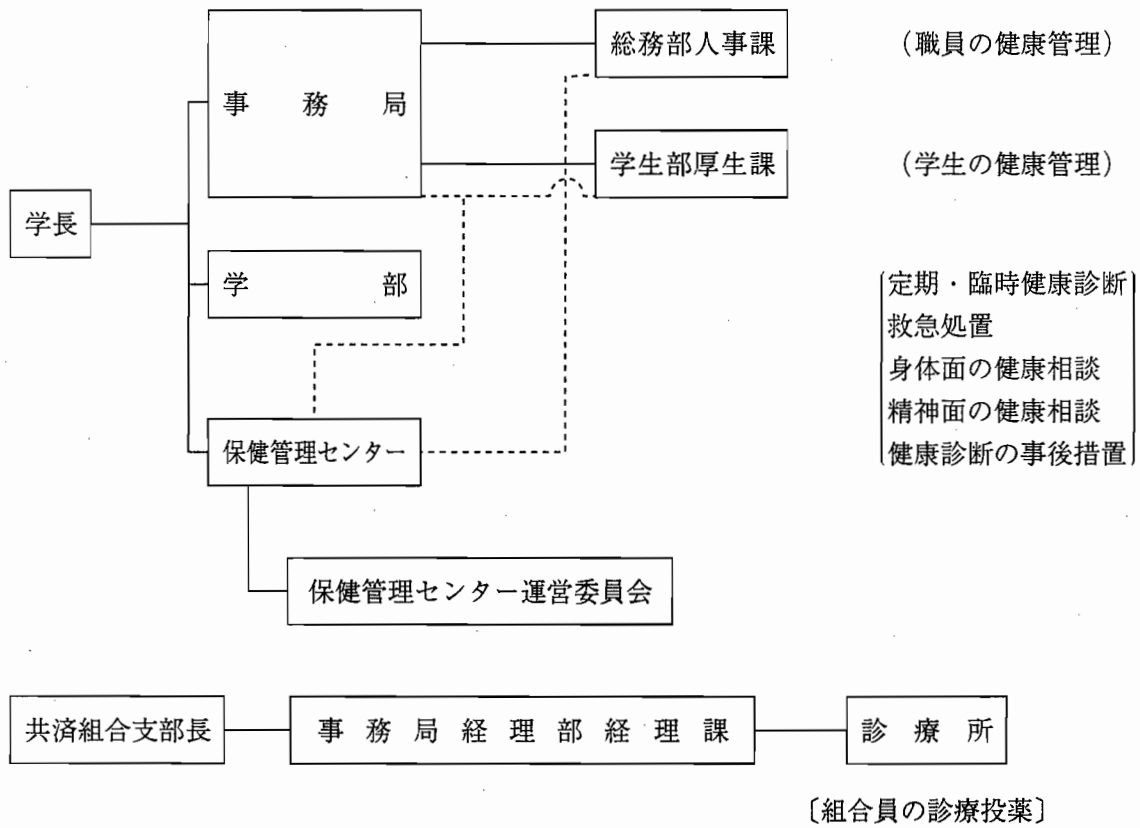
(事 務)

第6条 学生相談室の事務は、学生部厚生課において処理する。

附 則

この細則は、平成9年4月1日から施行する。

4. 岐阜大学健康管理機構略図



5. 保健管理センター学生相談室員・学校医

平成14年度 学生相談室員

所 属	氏 名	専 攻	備 考
保健管理センター ☎ 293-2174 (代表)	後 藤 紘 司	内科学	
	浅 田 修 市	放射線医学	
	森 正 樹*	精神医学、メンタルヘルス	
教 育 学 部	馬 路 泰 蔵	食物学	
	大 井 修 三	実験心理学	
	杉 森 弘 幸	体育実技	
	橋 良 治	教育心理学	
	鈴 木 壯	体育・臨床心理学	
	伊 藤 宗 親	臨床心理学	
地 域 科 学 部	白 檉 久*	地域社会学	
	橋 本 永 貢子*	中国語学、社会言語学	
工 学 部	大久保 恒 夫*	コロイド界面化学	
	松 本 忠 博*	メカトロニクス・ソフトウェア工学	
農 学 部	荒 井 聡*	農業経済学	
	杉 山 誠*	獣医公衆衛生学、ウイルス学	
医 学 部	白 鳥 義 宗	内科学 (消化器)	司地区担当
	宮 崎 青 爾	内科学 (高血圧・内分泌)	
	小 出 浩 之	精神医学	司地区担当
	丹 羽 伸 也	児童青年期精神医学	〃
	吉 田 優*	精神医学	〃

*は新規相談室員

平成14年度 学 校 医

所属及び職名	診療科名	氏 名	備 考
平野病院 院長	内 科	高 田 信 幸	
附属病院 助手	第 3 内 科	石 澤 正 剛	
附属病院 助手	第 2 内 科	大 野 康	
附属病院 医員	第 1 内 科	三 輪 佳 行	
医 学 部 助手	第 2 内 科	村 田 一知朗	司地区担当
附属病院 助手	皮 膚 科	佐 藤 美 貴	
附属病院 医員	産 婦 人 科	田 上 慶 子	
岐阜中央病院整形外科 医師	整 形 外 科	青 木 隆 明	

6. 保健管理センター関係委員会及び関係職員

○保健管理センター運営委員会委員

部 局	役 職	氏 名	任 期
保健管理センター	所 長	後 藤 紘 司	
副学長 (教学担当)	委 員	古 田 喜 彦	
保健管理センター	助 手	〃	浅 田 修 市
〃	助 手	〃	森 正 樹
教 育 学 部	助 教 授	〃	尾 高 広 昭 (平成14年4月1日～ 平成15年3月31日)
地 域 科 学 部	教 授	〃	長 谷 川 典 彦
医 学 部	教 授	〃	犬 塚 貴
工 学 部	教 授	〃	伊 藤 昭
農 学 部	教 授	〃	北 川 均
医 療 技 術 短 期 大 学 部	講 師	〃	樋 口 京 子
総 務 部 長	〃	〃	國 守 勝 巳
学 生 部 長	〃	〃	関 聖 一

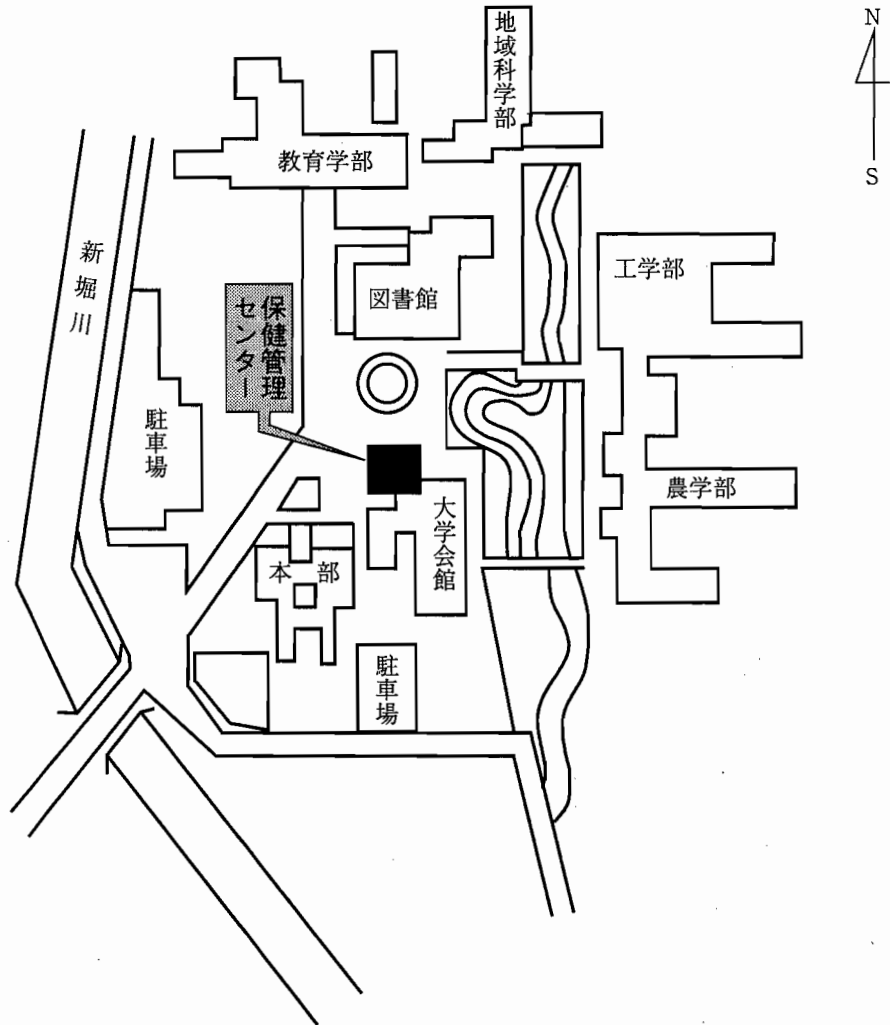
○保健管理センター

所 長 (併)	教 授	後 藤 紘 司
医 師	助 手	浅 田 修 市
〃	〃	森 正 樹
	保 健 師	御 田 村 相 模
	〃	本 多 恭 子
	〃	長 瀬 江 利
	技 術 補 佐 員	田 内 路 子

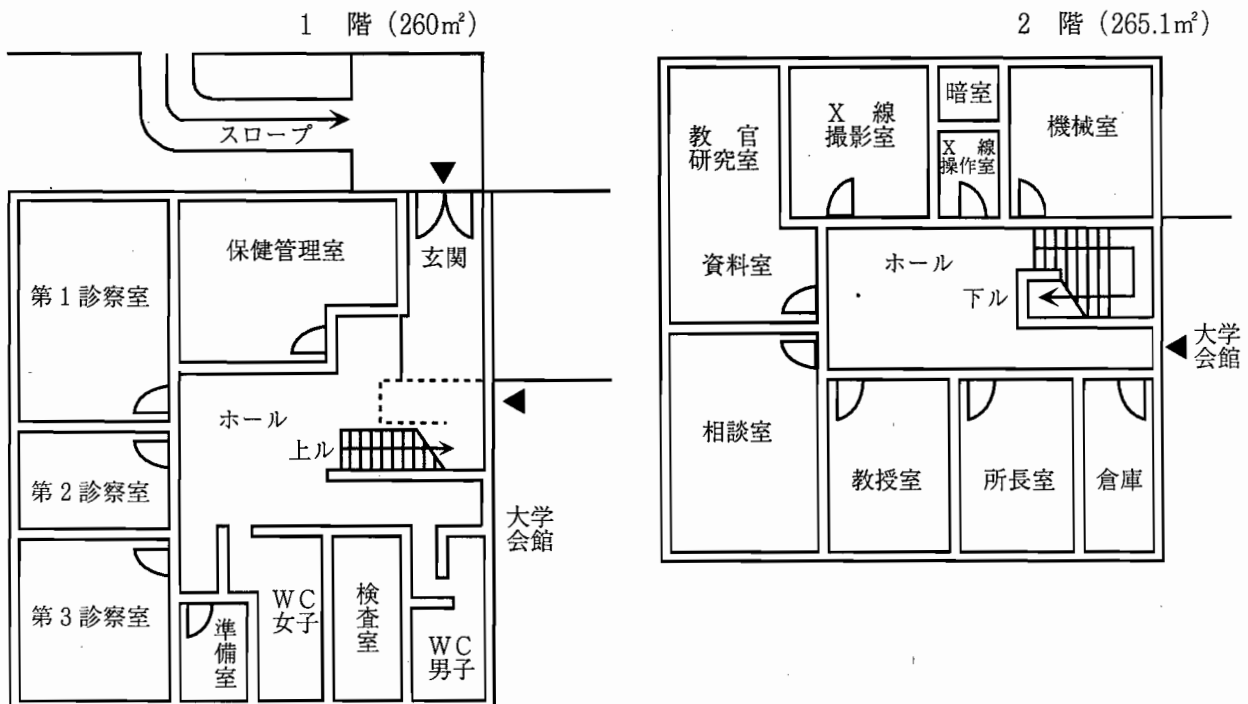
○保健管理センターに関する事務担当課 (学生部厚生課)

厚 生 課 長	森 廣 美
厚 生 係 長	松 村 規 義

7. 保健管理センター位置図



保健管理センター平面図



岐阜大学保健管理センター年報 第27号

平成15年9月 発行

編集
発行 岐阜大学保健管理センター

岐阜市柳戸1の1

TEL <058> 293-2174
(ダイヤルイン)

FAX <058> 293-2177